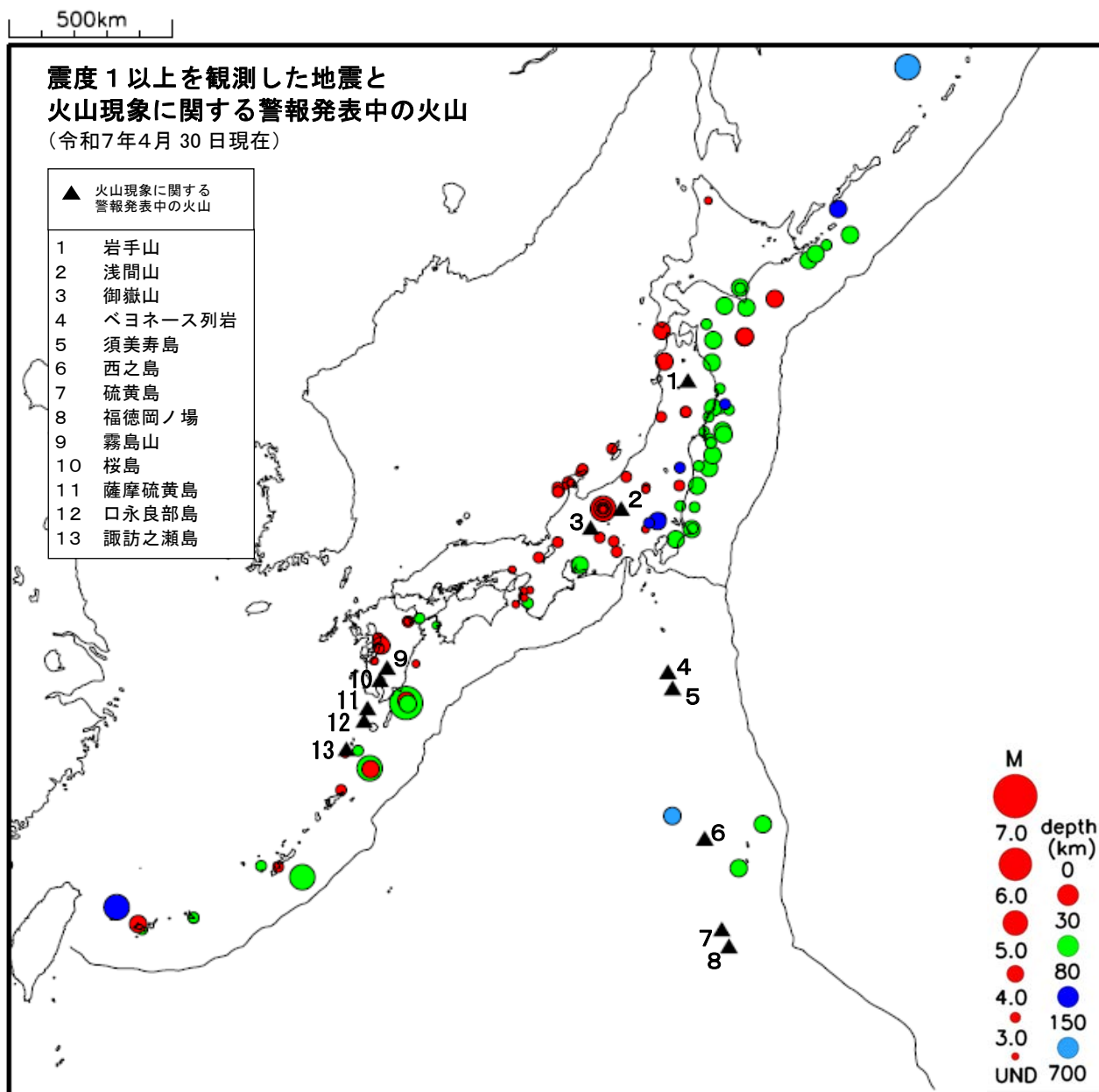


令和7年4月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

April 2025



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和7年4月30日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、7政令指定都市。

注** 令和7年4月30日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。なお、CMT解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁CMT 解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目 次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	8
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	10
近畿・中国・四国地方の地震活動	15
九州地方の地震活動	16
沖縄地方の地震活動	19
その他の地域の地震活動	21
● 南海トラフ周辺の地殻活動	22
● 日本の主な火山活動	25
北海道地方の火山活動	37
東北地方の火山活動	39
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	41
近畿・中国・四国地方の火山活動	45
九州地方の火山活動	46
沖縄地方の火山活動	50
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	51
● 世界の主な地震	53
● 世界の主な火山活動	56
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	57
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	78
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	79
4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	80
5. 緊急地震速報の提供状況	82

● 日本及びその周辺での主な地震活動

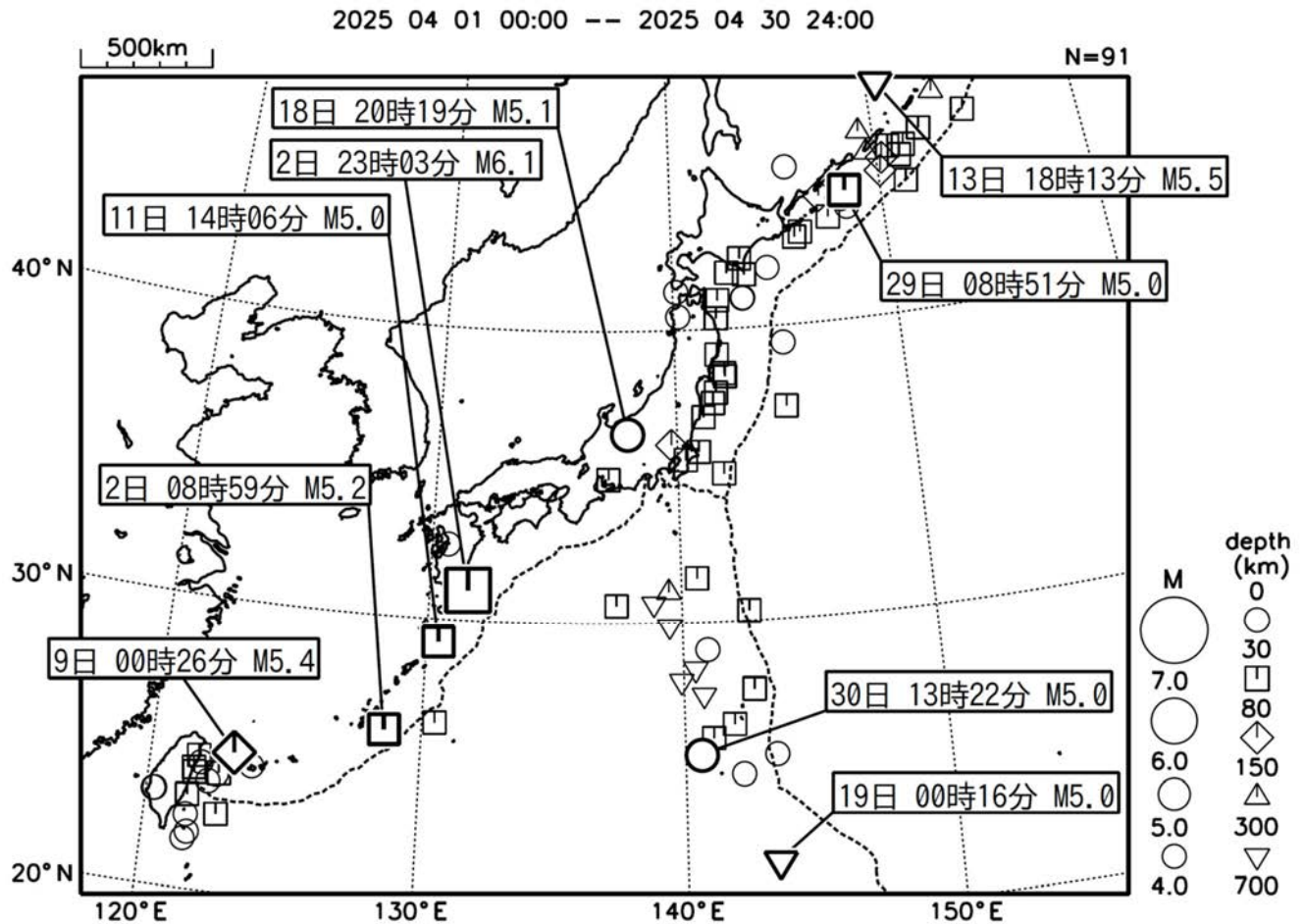


図1 令和7年4月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。）

18日20時19分に長野県北部の深さ13kmでM5.1の地震が発生し、長野県大町市、小川村、筑北村で震度5弱を観測したほか、中部地方と関東地方で震度4～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、緊急地震速報（警報）を発表した。

令和7年（2025年）4月に日本国内で震度4以上を観測した地震は5回（3月は3回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は91回（3月は79回）であった（図1）。

4月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。4月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震はなかった（3月は震度5弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和7年4月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	4 2 23 3	大隅半島東方沖	6.1	6.0	M・S・	4：宮崎県 宮崎市松橋＊ 鹿児島県 鹿屋市新栄町 など2県13地点 長周期地震動階級1を観測	4、17
2	4 5 4 15	北海道南西沖（注7）	4.1	—	・・S・	4：北海道 福島町福島＊	4、7
3	4 8 19 26	愛知県西部	4.6	4.3	・・・・	3：愛知県 豊田市保見町＊ 東海市加木屋町＊ など1県8地点	13
4	4 9 0 26	与那国島近海	5.4	5.4	・・・・	3：沖縄県 石垣市平久保 竹富町上原小学校	20
5	4 18 20 19	長野県北部	5.1	4.9	・・S・	5弱：長野県 大町市八坂＊ 小川村高府＊ など1県4地点 緊急地震速報(警報)発表 4月18日から30日までに震度1以上を観測した地震が65回（震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：3回、震度2：13回、震度1：46回）（注8）	4、14
	4 18 23 39	長野県北部	4.5	—	・・S・	4：長野県 松川村役場＊ 小川村高府＊	5、14
	4 19 1 2	長野県北部	4.3	—	・・S・	4：長野県 大町市役所 松川村役場＊ など1県3地点	5、14
6		「令和6年能登半島地震」の地震活動			・・・・	「令和6年能登半島地震」の地震活動 4月中に震度1以上を観測した地震が12回 （震度2：2回、震度1：10回）	11、12
7		大分県中部の地震活動			・・・・	大分県中部の地震活動 4月中に震度1以上を観測した地震が13回 （震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回）	18

- （注1）主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- （注2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- （注3）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- （注4）M_w欄の「—」はM_wが求められていないことを示す。
- （注5）M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- （注6）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- （注7）情報発表に用いた震央地名は「津軽海峡」である。
- （注8）表中の地震回数には、18日23時39分の地震（最大震度4）及び19日01時02分の地震を含み、18日20時19分の地震の欄にまとめて記載している。

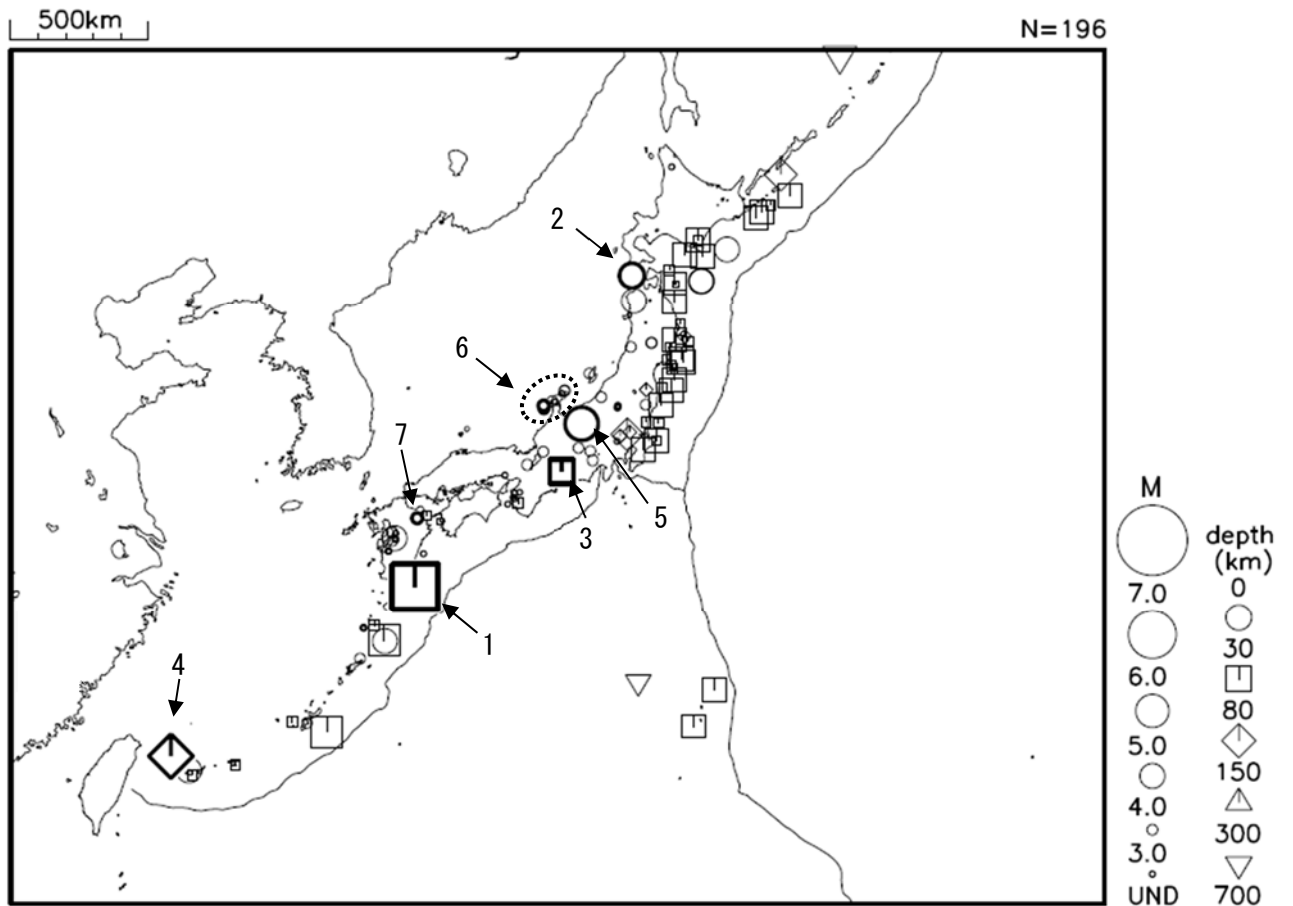


図2 令和7年4月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

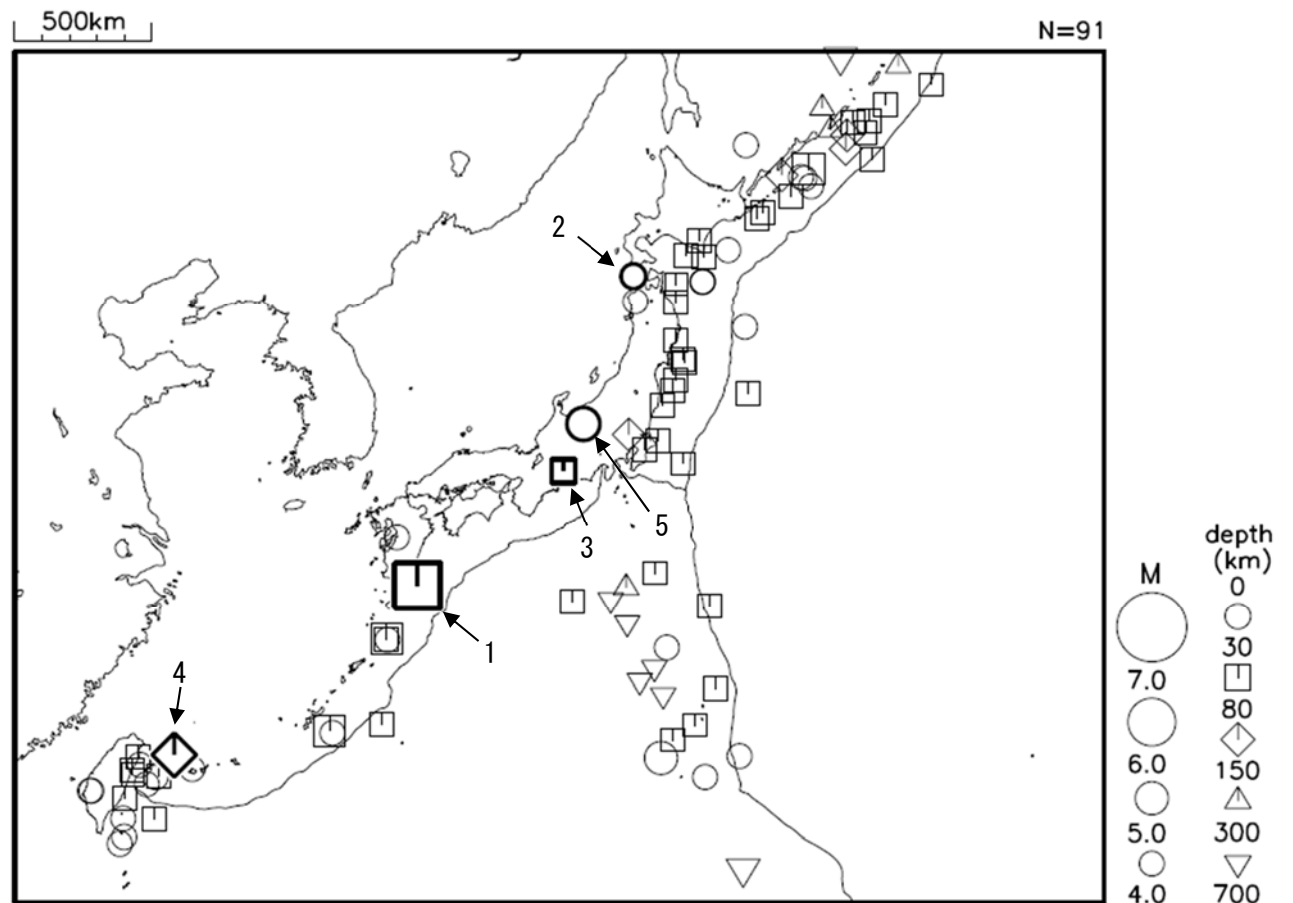
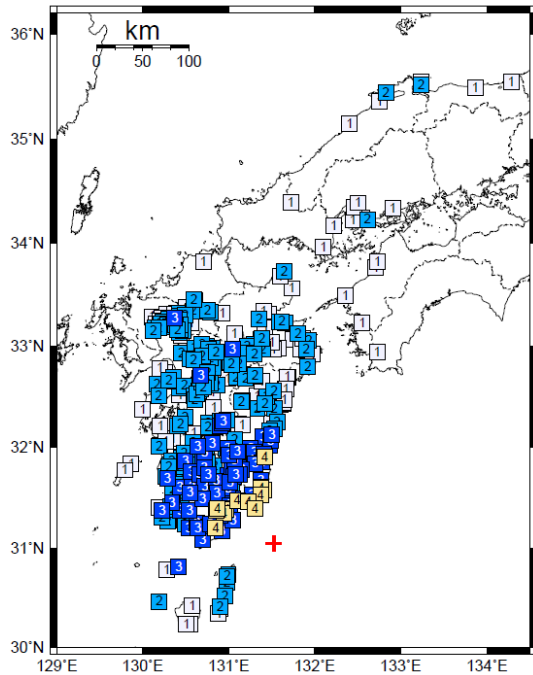
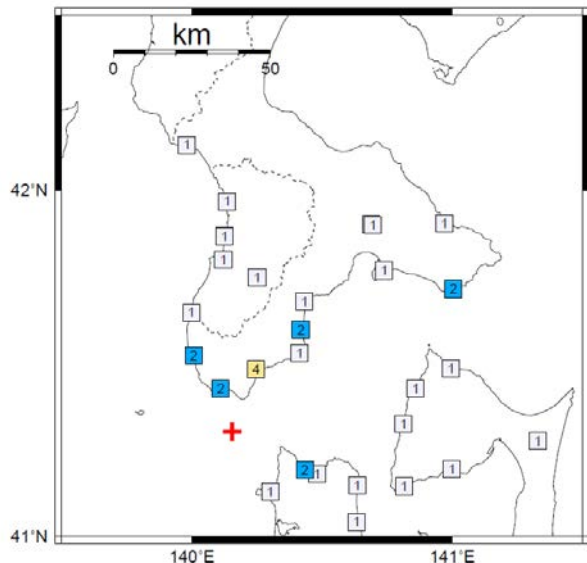


図3 令和7年4月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

1 4月2日 23時03分 大隅半島東方沖
(M6.1、深さ36km、最大震度4)

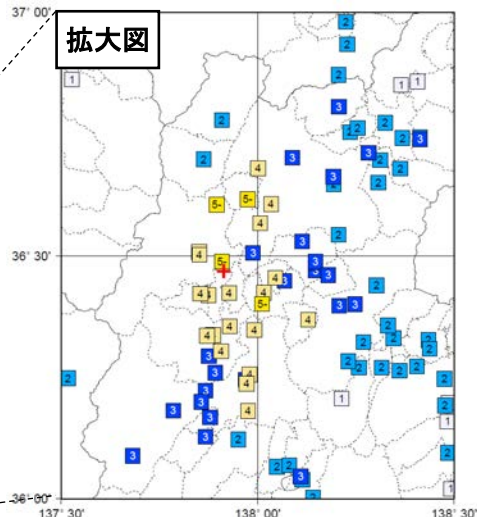
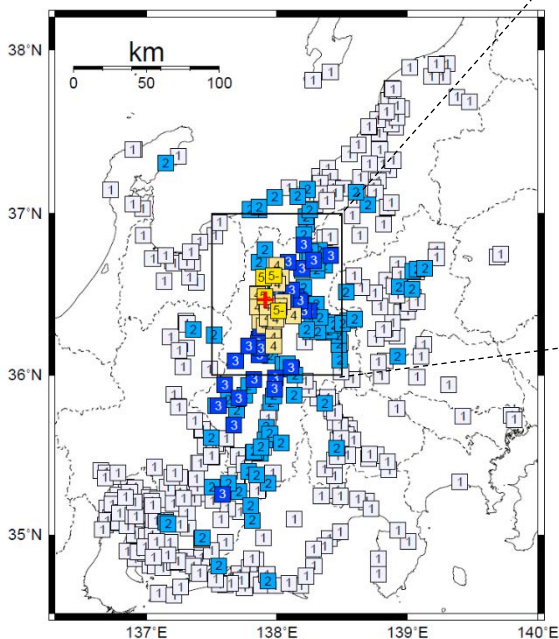


2 4月5日 04時15分 北海道南西沖 (注)
(M4.1、深さ10km、最大震度4)

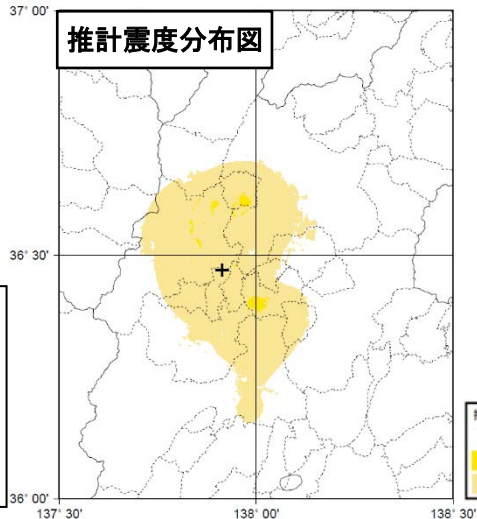


(注) 情報発表に用いた震央地名は「津軽海峡」である。

5 4月18日 20時19分 長野県北部
(M5.1、深さ13km、最大震度5弱)



推計震度分布図



※本推計震度分布図は、地震発生当日に作成されたものである。



<推計震度分布図について>

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。

このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

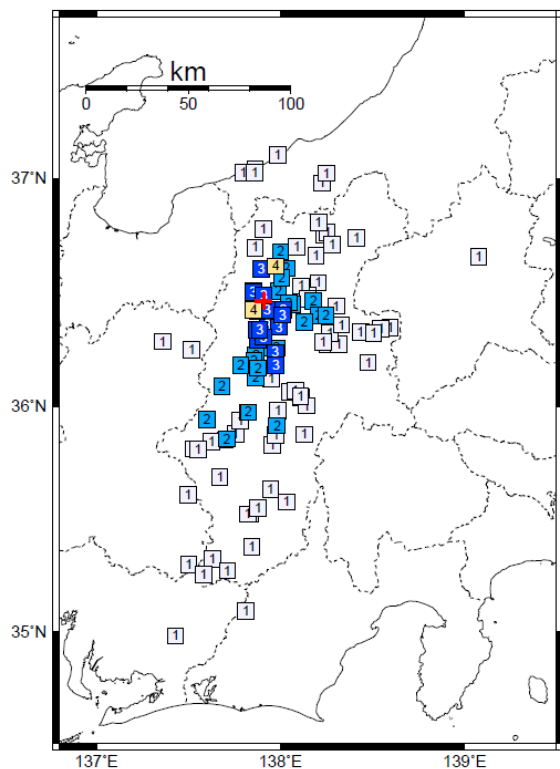
図4 震度分布図（続く）

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印又は黒の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

5 4月18日23時39分 長野県北部
(M4.5、深さ13km、最大震度4)



5 4月19日01時02分 長野県北部
(M4.3、深さ12km、最大震度4)

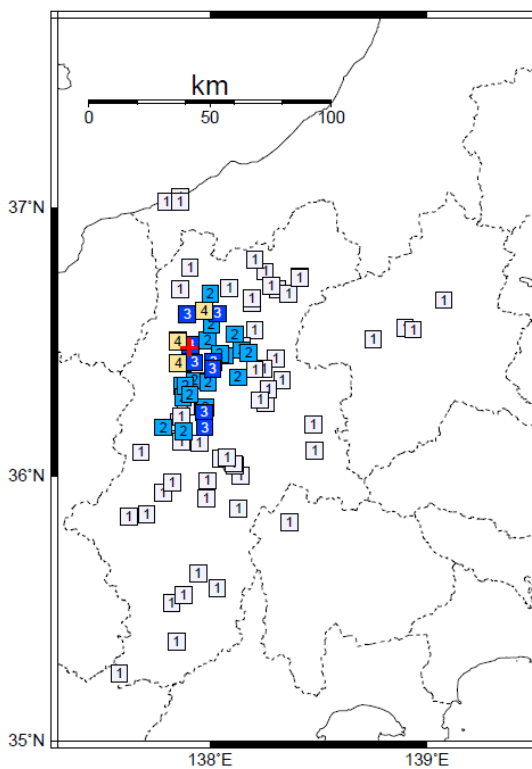


図4 震度分布図（続き）

（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

震度分布図 凡例	
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

○北海道地方の地震活動

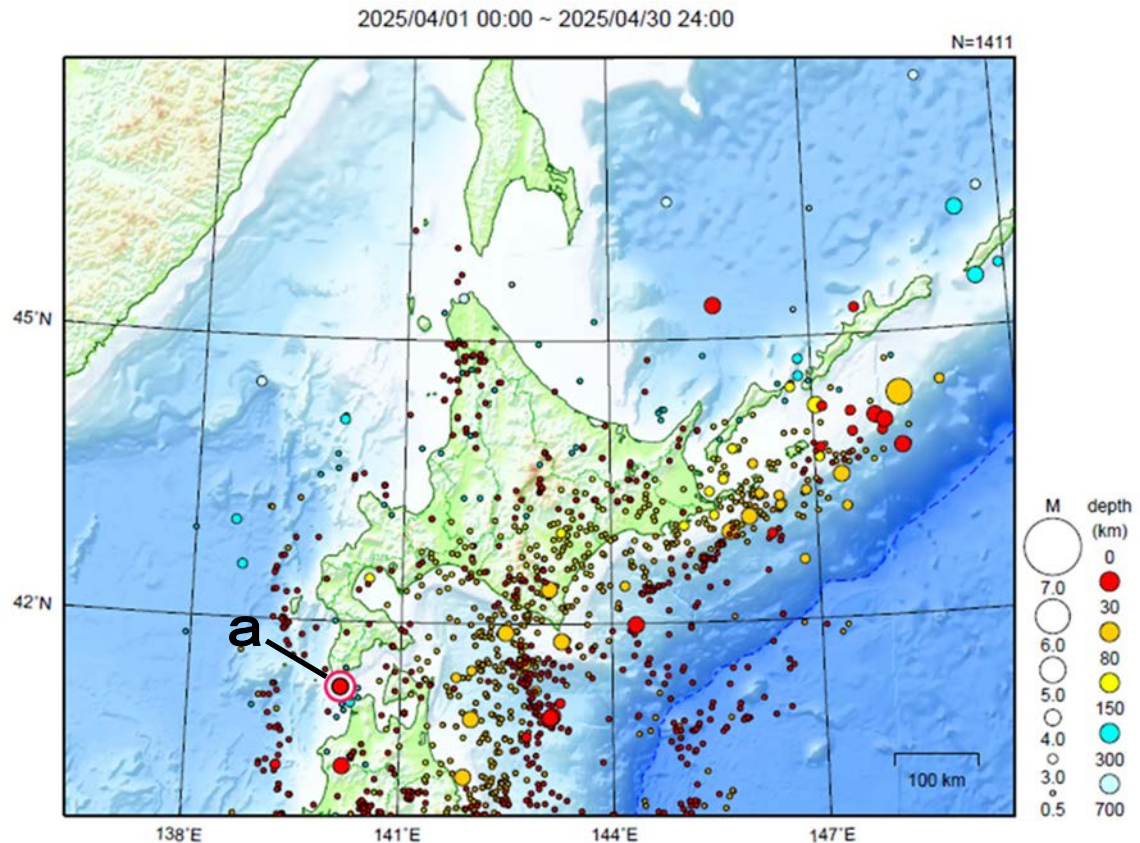


図5 北海道地方の震央分布図（2025年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

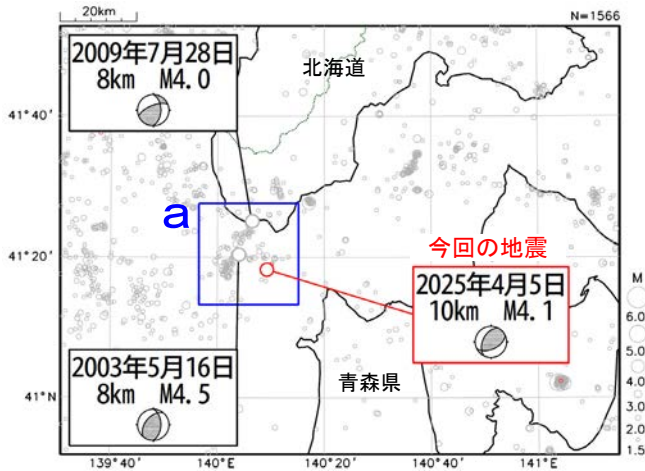
4月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は19回（3月は20回）であった。
4月中の主な地震活動は次のとおりである。

- a 5日04時15分に北海道南西沖の深さ10kmでM4.1の地震が発生し、北海道福島町で震度4を観測したほか、北海道渡島・檜山地方と青森県で震度2～1を観測した（p. 4、7参照）。
情報発表に用いた震央地名は〔津軽海峡〕である。

4月5日 北海道南西沖の地震

情報発表に用いた震央地名は「津軽海峡」である。

震央分布図
(2001年10月1日～2025年4月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$)
2025年4月の地震を赤色で表示

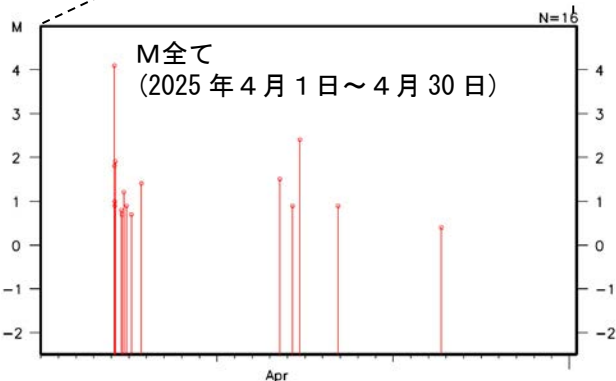
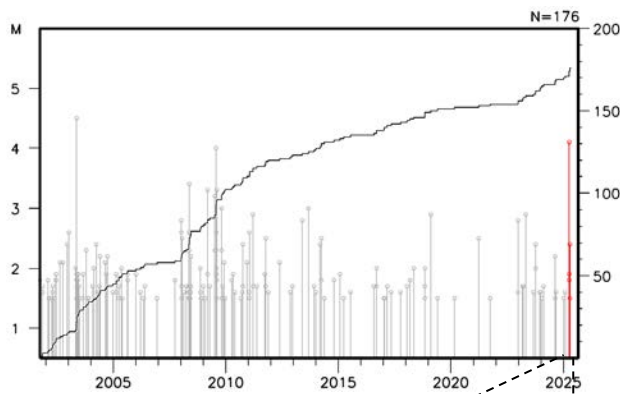


2025年4月5日04時15分に北海道南西沖の深さ10kmで $M4.1$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構は北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

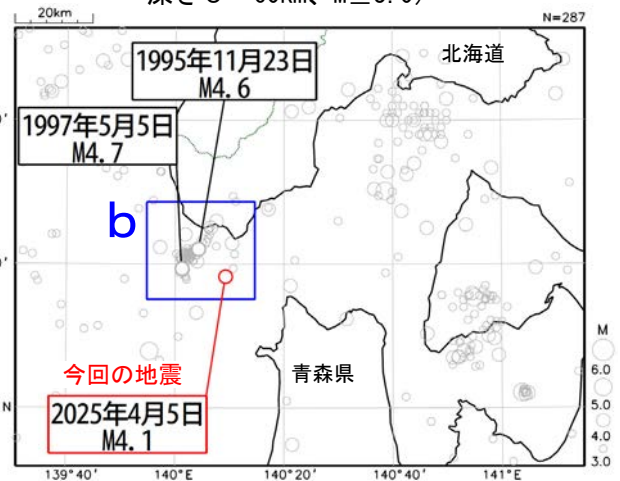
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、 $M3.0$ 以上の地震が時々発生しており、最大規模は2003年5月16日に発生した $M4.5$ （最大震度3）の地震である。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域b）では、1995年10月から1997年5月にかけて地震活動が活発になり、1997年5月5日の $M4.7$ の地震（最大震度3）など、震度1以上を観測した地震が多数発生した。

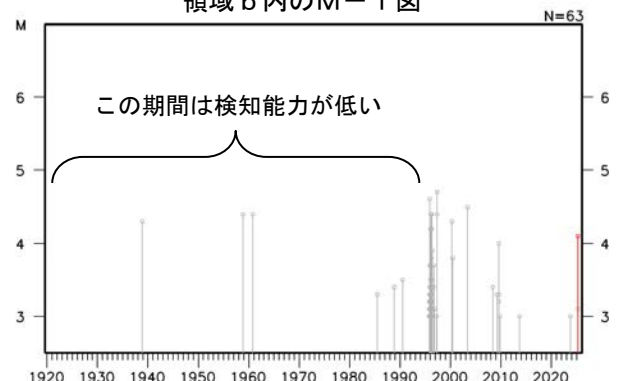
領域a内のM－T図及び回数積算図
(2001年10月1日～2025年4月30日)



震央分布図
(1919年1月1日～2025年4月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 3.0$)



領域b内のM－T図



○東北地方の地震活動

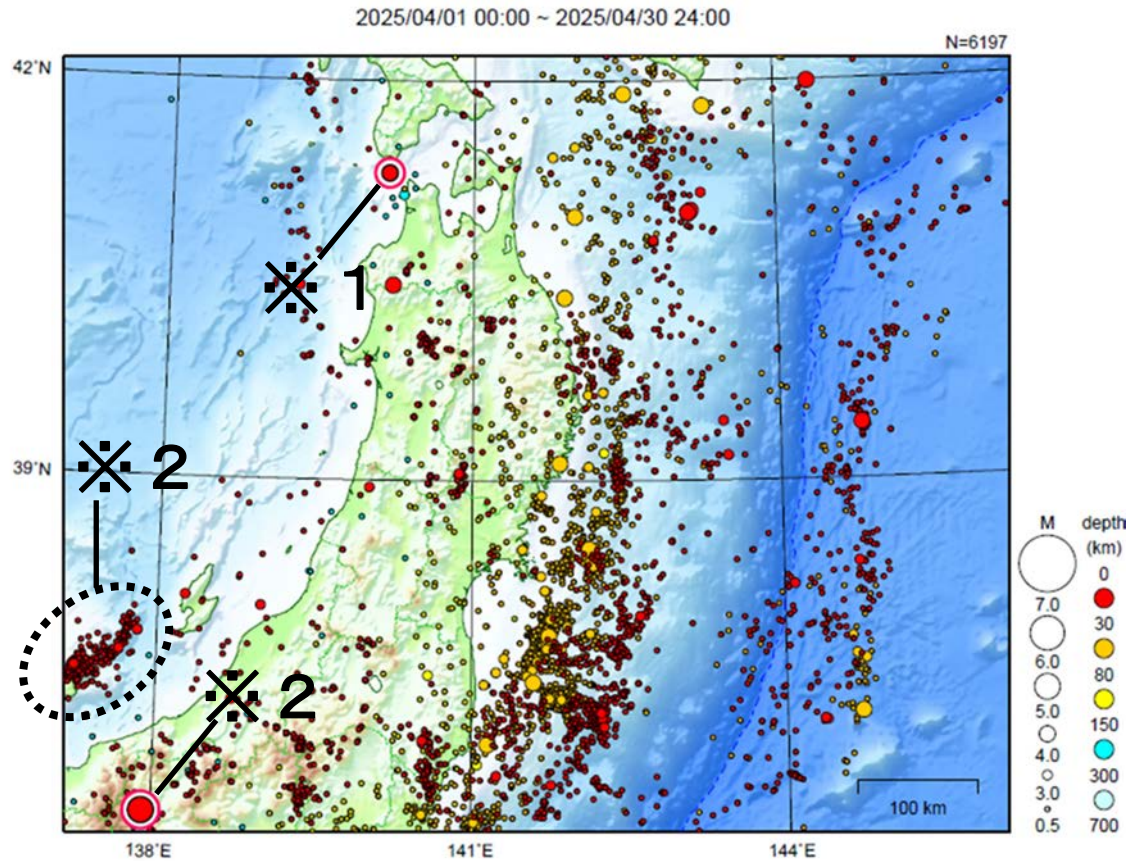


図6 東北地方の震央分布図（2025年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

4月に東北地方で震度1以上を観測した地震は38回（3月は31回）であった。
4月中、特に目立った活動はなかった。

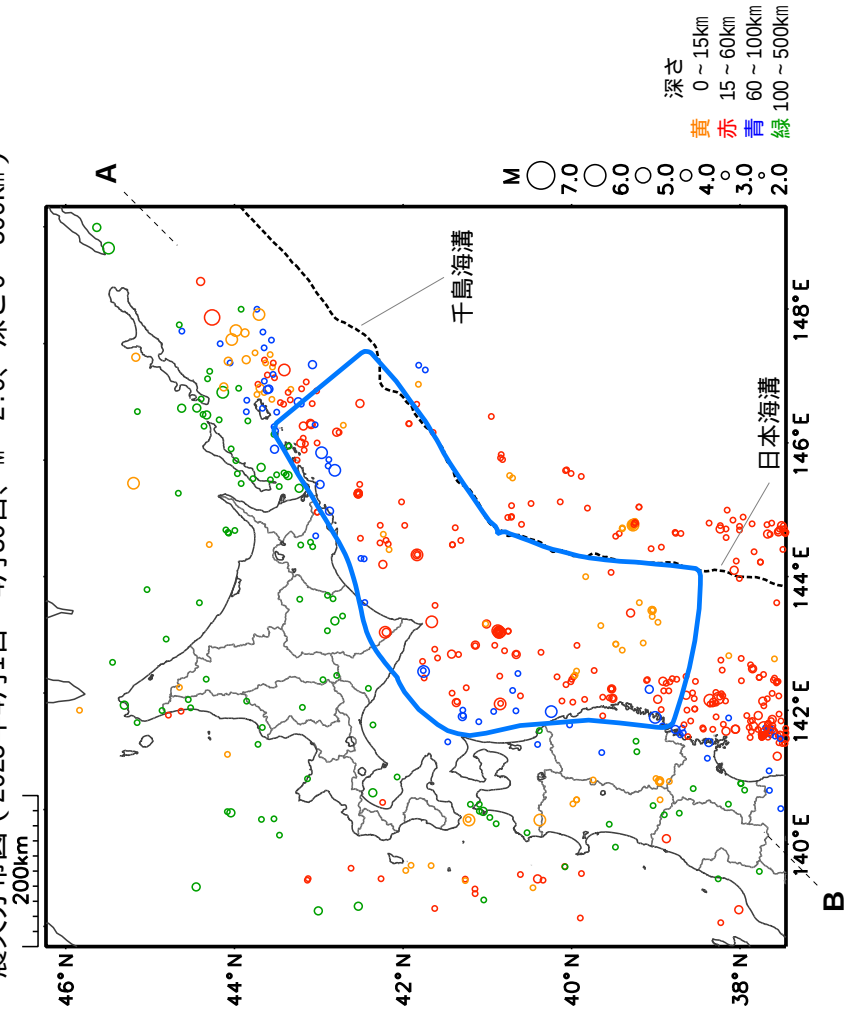
※1 北海道地方の地震活動を参照（p. 4、6、7 参照）。

※2 関東・中部地方の地震活動を参照（p. 4、5、10～12、14 参照）。

最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2025年4月1日～4月30日

震央分布図（2025年4月1日～4月30日、M 2.0、深さ0～500km）



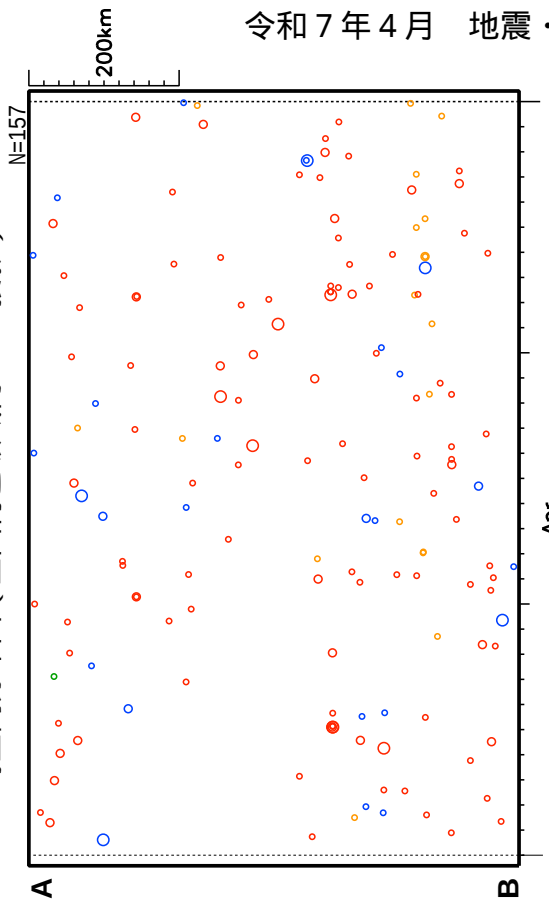
青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

[主な地震活動]

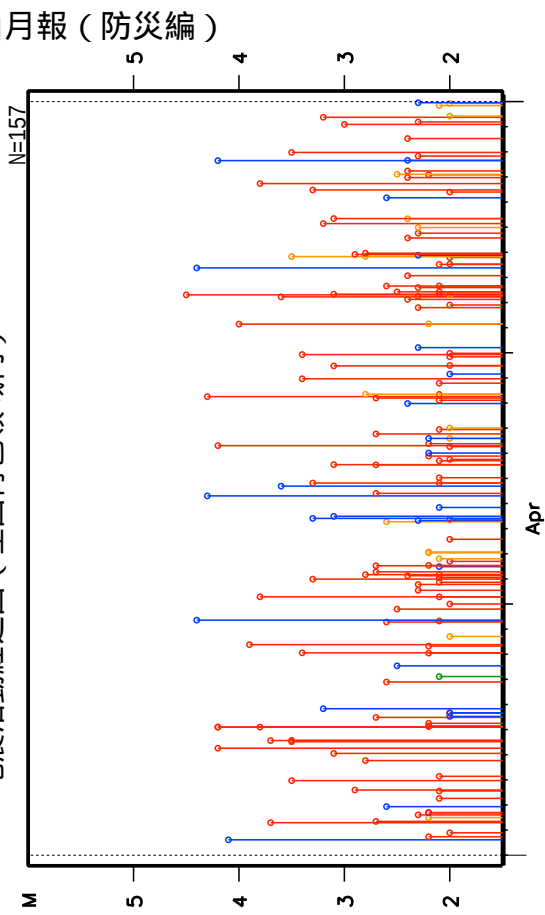
- ・ 上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5つ）
- ・ 近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

- 特に目立った活動はありませんでした -

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



○関東・中部地方の地震活動

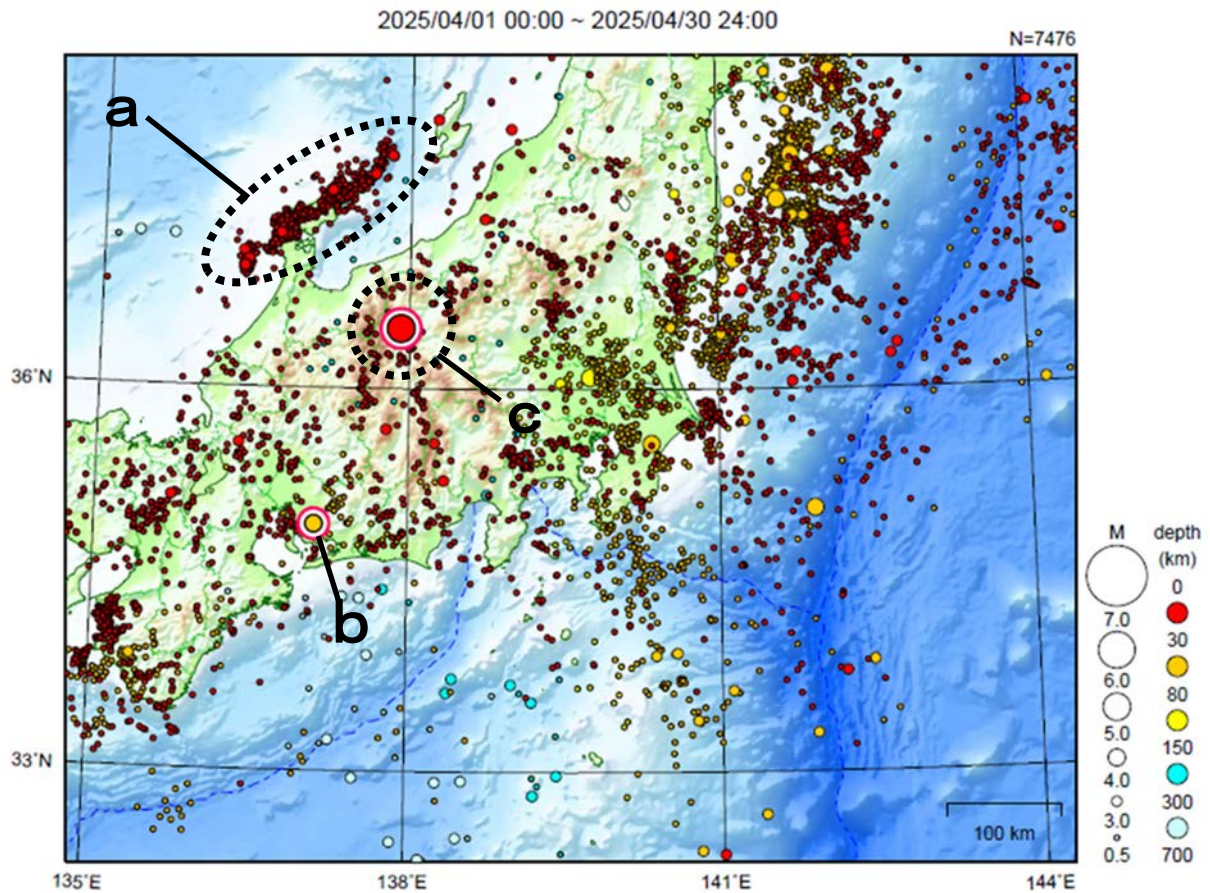


図 7 関東・中部地方の震央分布図（2025 年 4 月 1 日～4 月 30 日、M≥0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

〔概況〕

4 月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度 1 以上を観測した地震は 100 回（3 月は 46 回）であった。

4 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 「令和 6 年能登半島地震」の地震活動域では、4 月中に震度 1 以上を観測した地震が 12 回（震度 2：2 回、震度 1：10 回）発生した。このうち最大規模の地震は、15 日 22 時 14 分に石川県西方沖の深さ 11km で発生した M3.9 の地震で、石川県で震度 1 を観測した（p. 11、12 参照）。
- b 8 日 19 時 26 分に愛知県西部の深さ 36km で M4.6 の地震が発生し、愛知県で震度 3 を観測したほか、東海・甲信・近畿地方及び福井県で震度 2～1 を観測した。（p. 13 参照）。
- c 18 日 20 時 19 分に長野県北部の深さ 13km で M5.1 の地震が発生し、長野県大町市、小川村及び筑北村で震度 5 弱を観測したほか、中部地方と関東地方で震度 4～1 を観測した。また、同日 23 時 39 分に長野県北部の深さ 13km で M4.5 の地震が発生し、長野県松川村及び小川村で震度 4 を観測したほか、中部地方と群馬県で震度 3～1 を観測した。さらに、19 日 01 時 02 分に長野県北部の深さ 12km で M4.3 の地震が発生し、長野県大町市、松川村及び小川村で震度 4 を観測したほか、長野県、新潟県、群馬県、山梨県で震度 3～1 を観測した。長野県北部では、4 月 18 日から 30 日までに、これらの地震を含めて震度 1 以上を観測した地震が 65 回（震度 5 弱：1 回、震度 4：2 回、震度 3：3 回、震度 2：13 回、震度 1：46 回）発生した。（p. 4、5、14 参照）。

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2025年4月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

震源のプロット

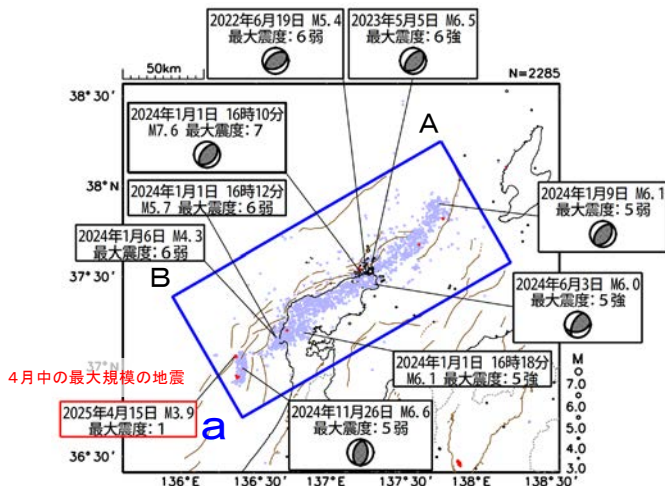
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～2025年3月31日

赤色 2025年4月1日～30日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び4月中の最大規模の地震

図中の発震機構はCMT解



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

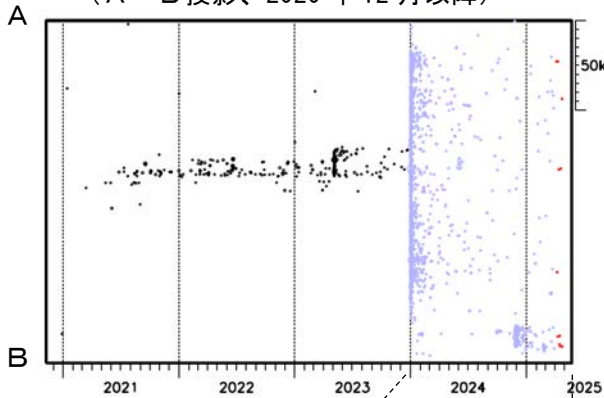
能登半島では2020年12月から地震活動が活発になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震（最大震度6強）が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ の地震（最大震度7）が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東－南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

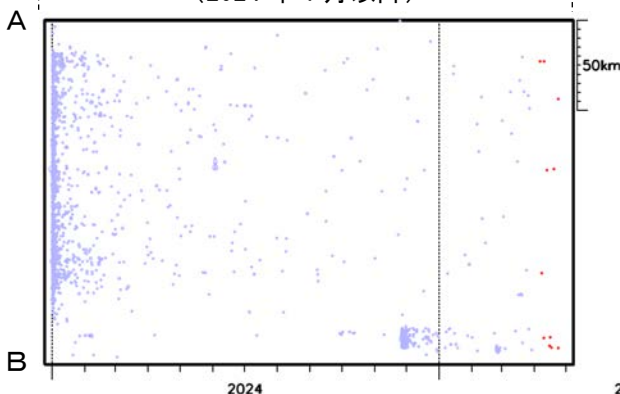
地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的に緩やかに減少してきているが、 $M7.6$ の地震後の地震活動域の西端の石川県西方沖で、2024年11月26日に $M6.6$ の地震（最大震度5弱）が発生し、4月中に震度1以上を観測した地震が12回（このうち、石川県西方沖の $M6.6$ の地震活動域で6回）発生するなど活発な状態が続いている。なお、4月中の最大規模の地震は、15日22時14分に石川県西方沖の深さ11kmで発生した $M3.9$ の地震（最大震度1）である。

領域a内の時空間分布図

(A-B投影、2020年12月以降)

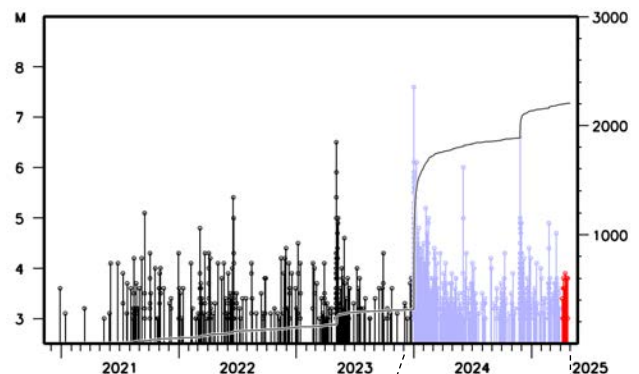


(2024年1月以降)

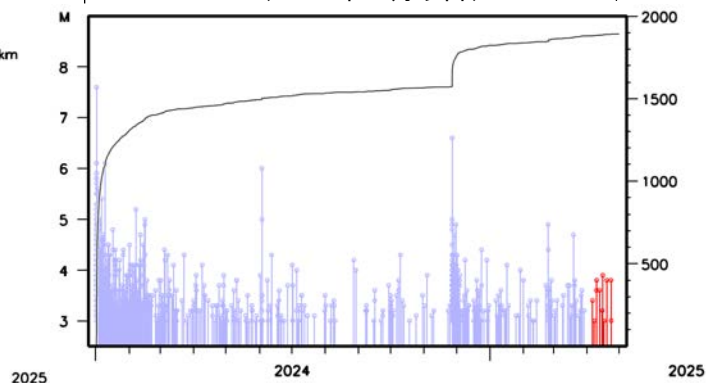


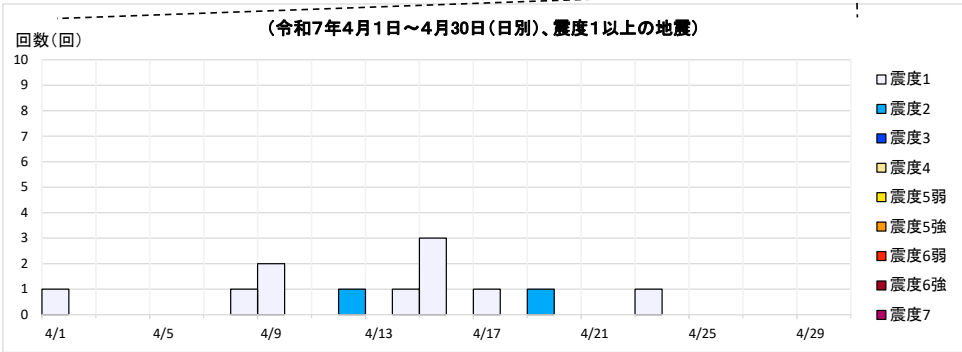
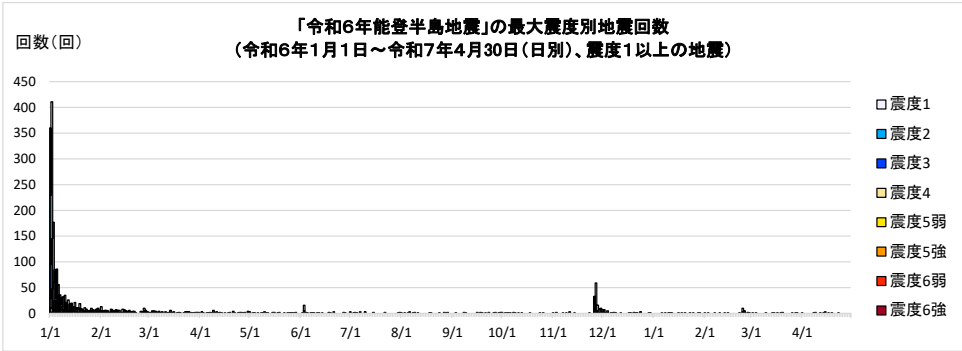
領域a内のM-T図及び回数積算図

(2020年12月以降)

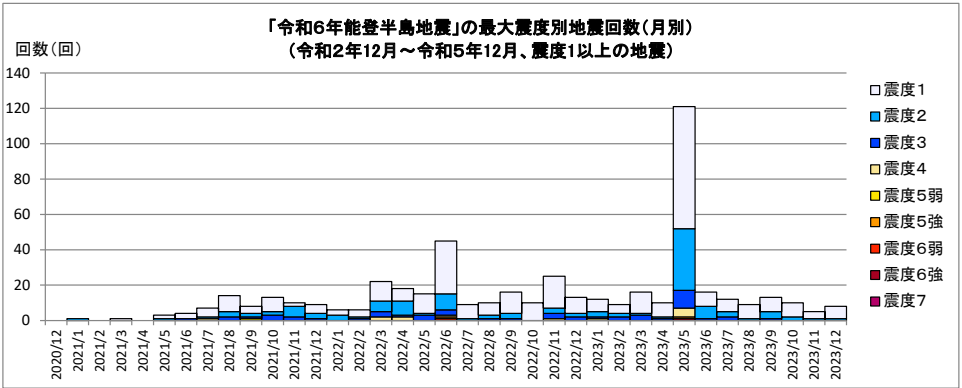


(2024年1月以降)





【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

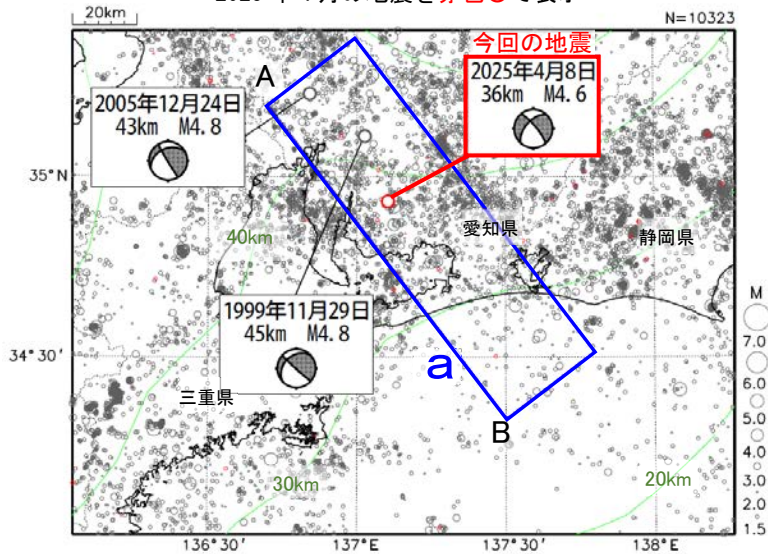
年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	70	70		
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265		
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回	
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0		506		

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208	
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278	
2024/4/1 -30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323	
2024/5/1 -31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351	
2024/6/1 -30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386	
2024/7/1-31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406	
2024/8/1-31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424	
2024/9/1-30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442	
2024/10/1-31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456	
2024/11/1-30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592	
2024/12/1-31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629	
2025/1/1-31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641	
2025/2/1-28	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	2666	
2025/3/1-31	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12	2678	
2025/4/1-30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2690	
総計(2020/12/1～2025/4/30)	1690	667	244	64	9	11	3	1	1		2690	

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

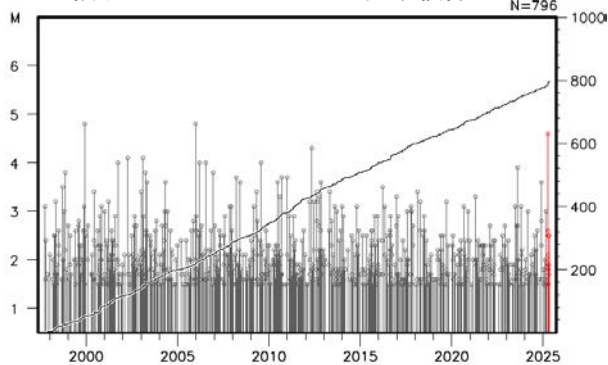
4月8日 愛知県西部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2025年4月30日
深さ0～60km、 $M \geq 1.5$)
2025年4月の地震を赤色○で表示

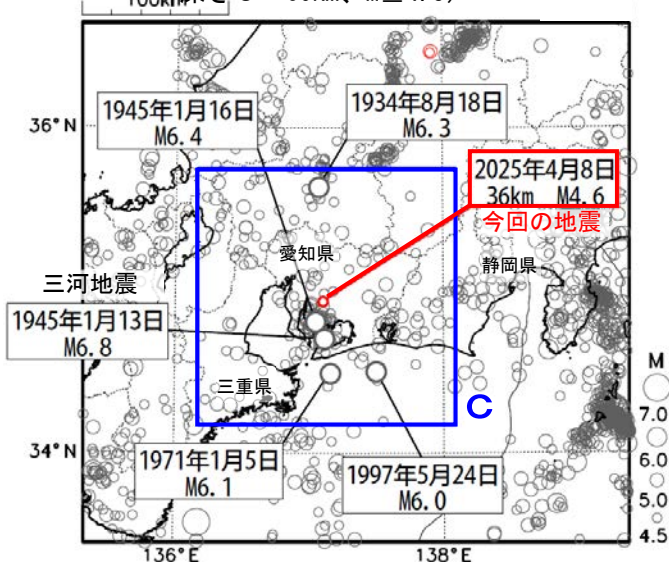


緑色の線はBaba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2025年4月30日、
深さ0～60km、 $M \geq 4.5$)

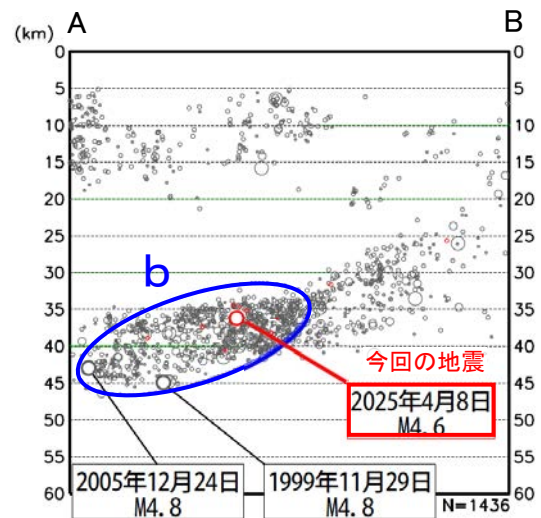


2025年4月8日19時26分に愛知県西部の深さ36kmでM4.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構が東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

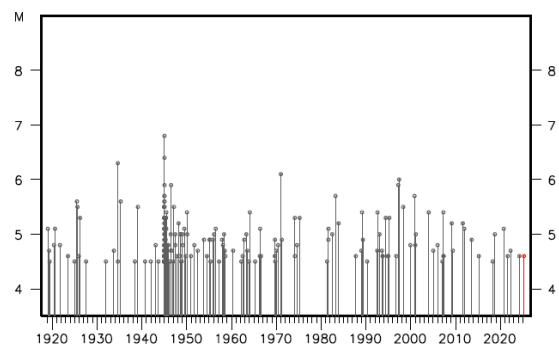
1997年10月以降の活動をみると、今回の震源付近（領域b）では、M4.5以上の地震が今回の地震を含めて3回発生している。1999年11月29日にはM4.8の地震（最大震度4）が、2005年12月24日にはM4.8の地震（最大震度4）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域c）ではM6程度の地震が時々発生している。1945年1月13日にはM6.8の地震（三河地震）が発生し、死者1,961人、重傷896人、住家全壊5,539棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

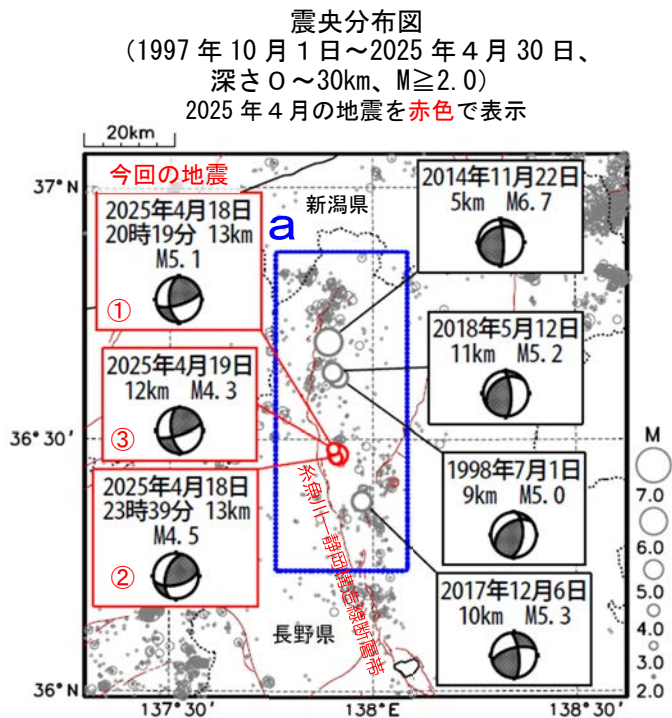
領域a内の断面図（A-B投影）



領域c内のM-T図



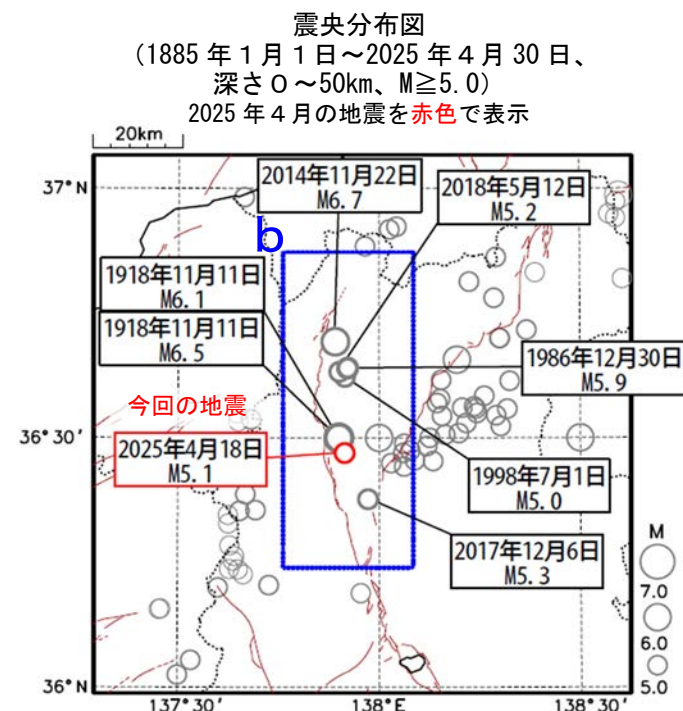
4月18日 長野県北部の地震



2025年4月18日20時19分に長野県北部の深さ13kmでM5.1の地震（最大震度5弱、図中①）が、同日の23時39分にはほぼ同じ場所の深さ13kmでM4.5の地震（最大震度4、図中②）が、19日にはほぼ同じ場所の深さ12kmでM4.3の地震（最大震度4、図中③）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。発震機構は、①と③は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、②は北西－南東方向に圧力軸を持つ型である。これらの地震の震央付近では、①の地震が発生する前から地震活動がみられ、4月18日から30日までに震度1以上を観測した地震が65回（震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：3回、震度2：13回、震度1：46回）発生した。

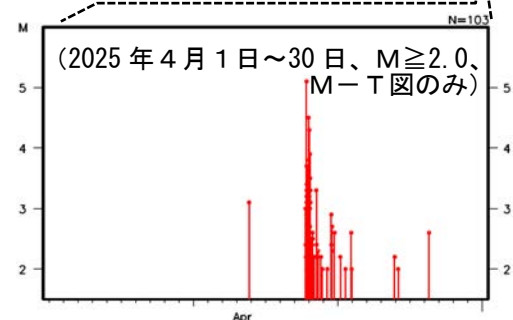
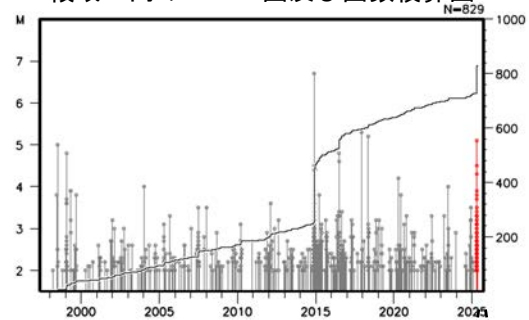
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2014年11月22日にはM6.7の地震（最大震度6弱）が発生し、負傷者46人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。このうち、1918年11月11日にはM6.1とM6.5の地震が発生し、家屋全倒6棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

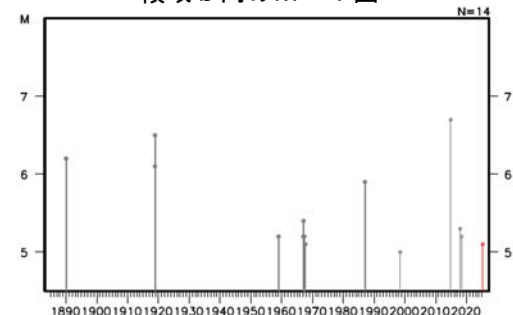


図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津(2001)、宇津(1982, 1985)による※)

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



※宇津徳治（1982）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56、401-463。

宇津徳治（1985）：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加）、震研彙報、60、639-642。

茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表、「地震の事典」第2版、朝倉書店、657pp。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

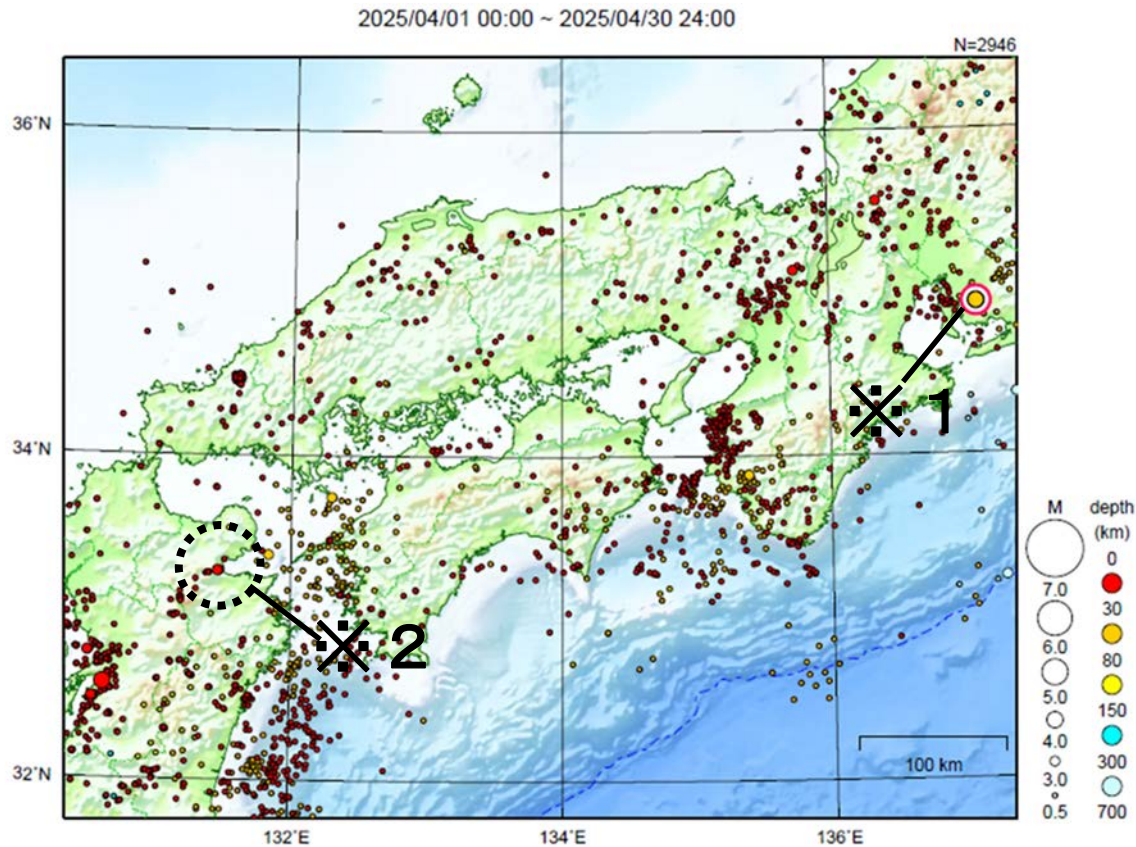


図 8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2025 年 4 月 1 日～4 月 30 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

[概況]

4 月に近畿・中国・四国地方で震度 1 以上を観測した地震は 11 回（3 月は 15 回）であった。
4 月中、特に目立った活動はなかった。

※ 1 関東・中部地方の地震活動を参照（p. 10、13 参照）。

※ 2 九州地方の地震活動を参照（p. 16、18 参照）。

○九州地方の地震活動

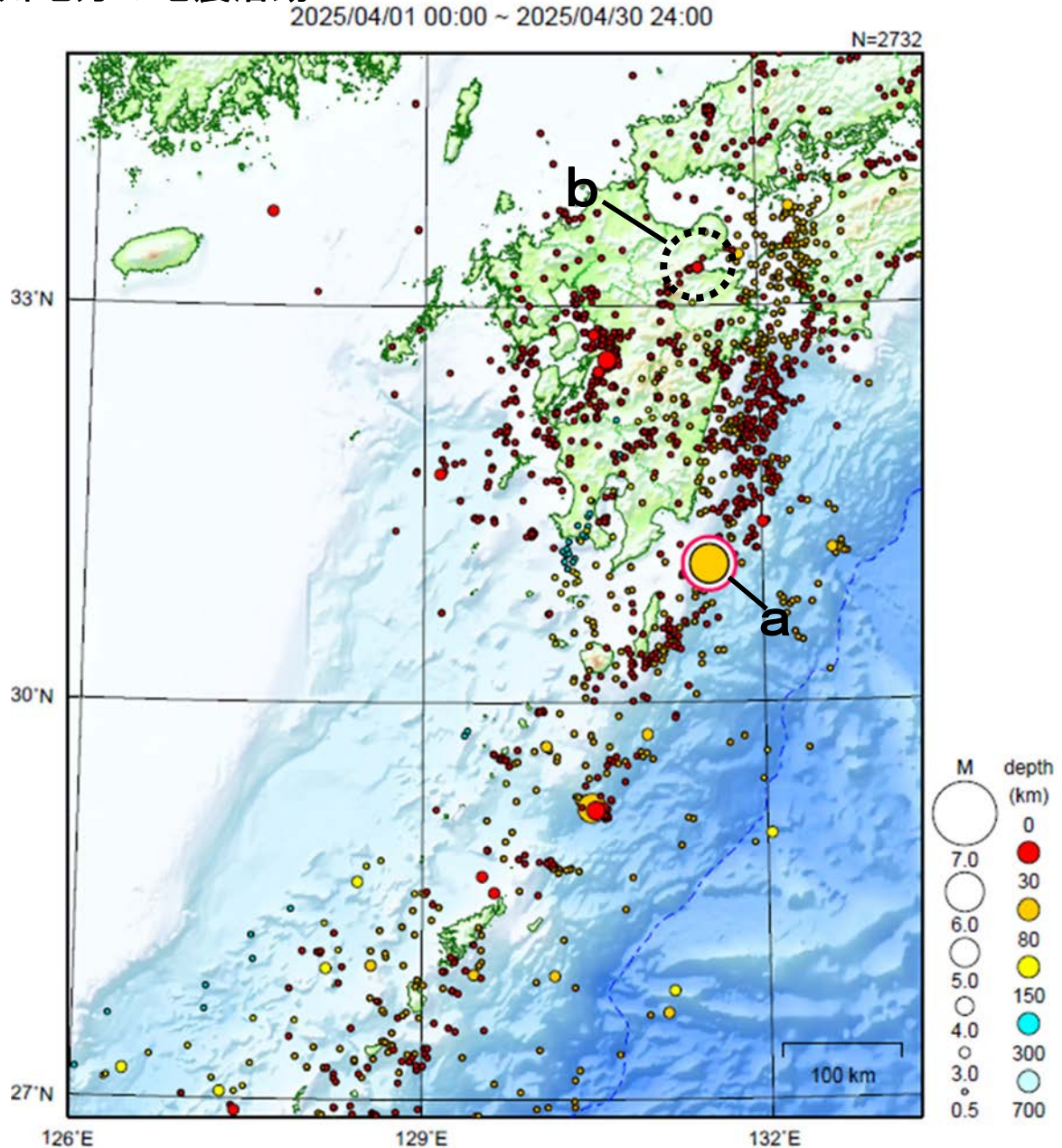


図 9 九州地方の震央分布図（2025 年 4 月 1 日～4 月 30 日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用
[概況]

4 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 36 回（3 月は 34 回）であった。
4 月中の主な活動は次のとおりである。

- a 2 日 23 時 03 分に大隅半島東方沖の深さ 36km で $M6.1$ の地震が発生し、宮崎県及び鹿児島県で震度 4 を観測したほか、九州地方、中国地方及び四国地方で震度 3～1 を観測した（p. 4、17 参照）。
- b 大分県中部では、4 月 18 日 07 時頃から 18 日 13 時頃にかけて地震活動が一時的に活発となるなど、18 日から 30 日までに震度 1 以上を観測した地震が 13 回（震度 3：1 回、震度 2：4 回、震度 1：8 回）発生した。このうち最大規模の地震は 18 日 08 時 57 分に発生した $M3.7$ の地震で、大分県別府市で震度 3 を観測した（p. 18 参照）。

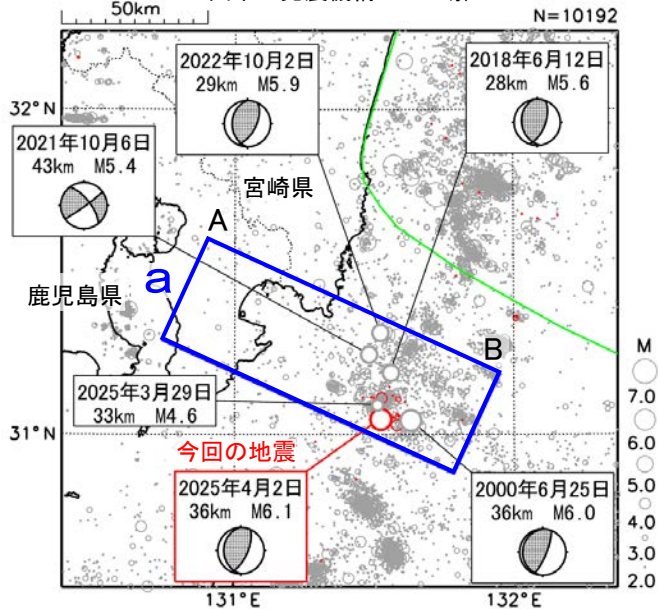
4月2日 大隅半島東方沖の地震

震央分布図

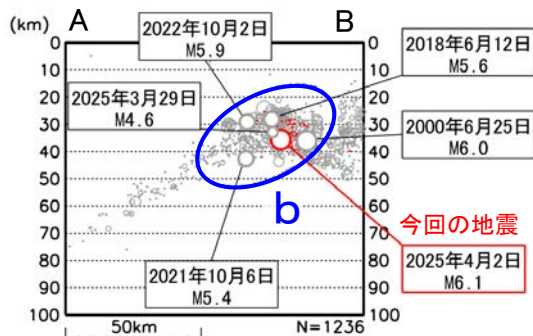
(1997年10月1日～2025年4月30日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2025年4月の地震を赤色○で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)

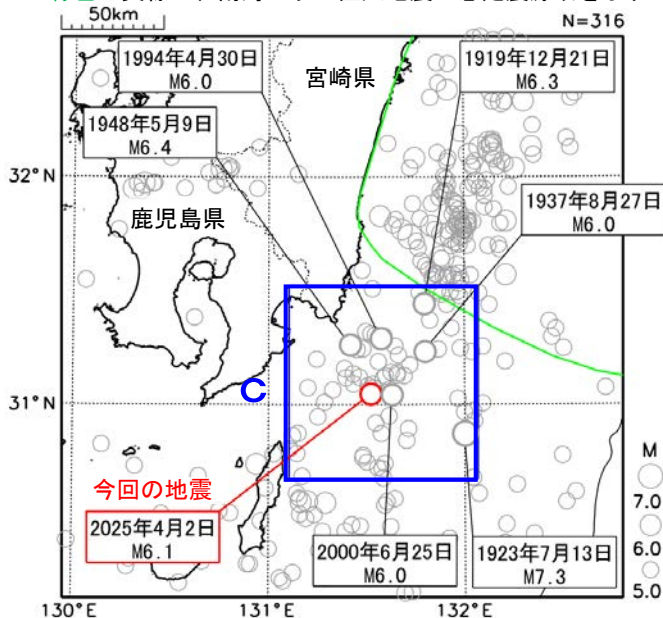


震央分布図

(1919年1月1日～2025年4月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

2025年4月の地震を赤色○で表示

緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

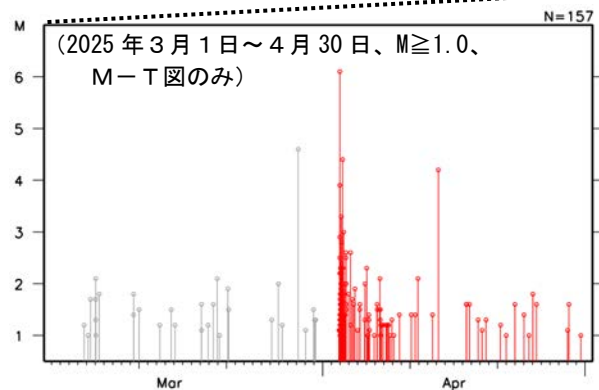
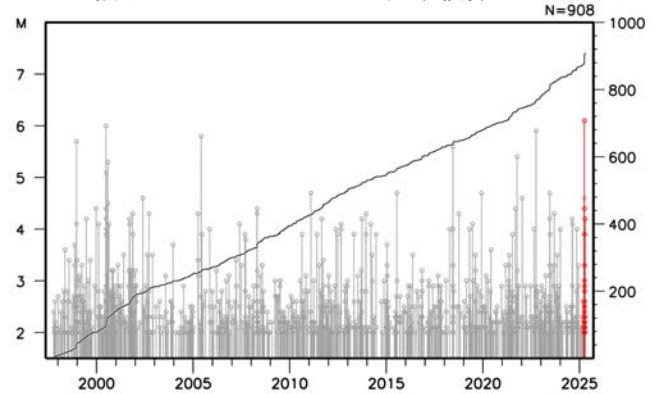


2025年4月2日23時03分に大隅半島東方沖の深さ36kmでM6.1の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震源付近 (領域b) では、2025年3月29日にM4.6の地震 (最大震度3) が発生している。

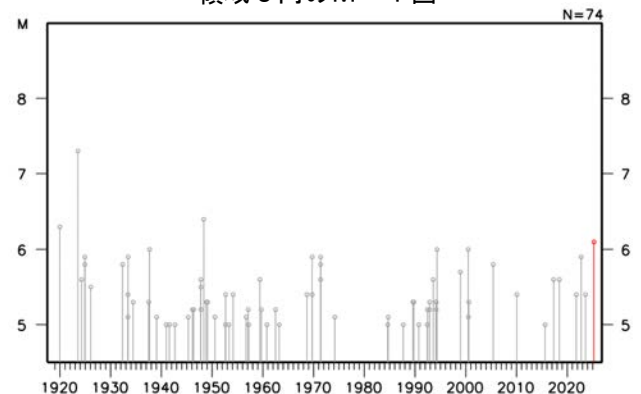
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM5.0以上の地震が時々発生している。2000年6月25日にはM6.0の地震 (最大震度4) が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が今回の地震を含めて7回発生している。このうち、1923年7月13日に発生したM7.3の地震では、鹿児島県の中種子村 (現在の中種子町) で住家小破27棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図

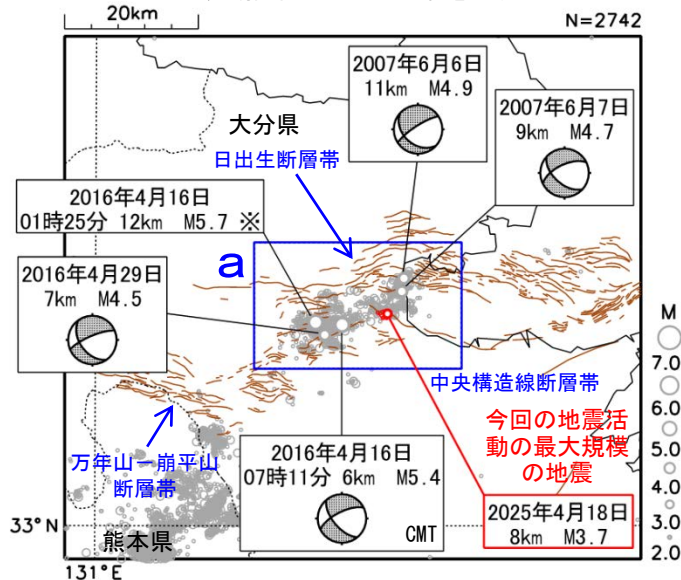


領域c内のM-T図



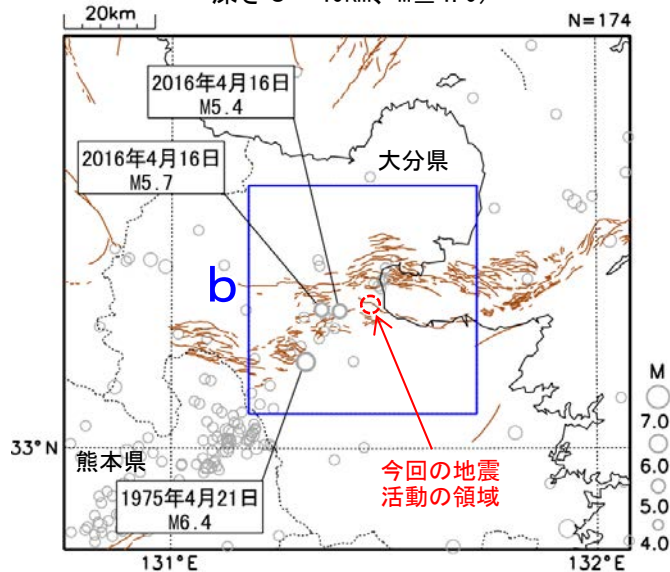
4月18日 大分県中部の地震活動

震央分布図
(2000年10月1日～2025年4月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2025年4月の地震を赤色○で表示
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す



※2016年4月16日01時25分に発生した大分県中部の地震 ($M5.7$) は、熊本県熊本地方の地震 ($M7.3$) の発生直後に発生したもので、 M の値は参考値。また、震度についても $M7.3$ の地震の発生直後に発生したためどちらの地震によるか特定できない。

震央分布図
(1919年1月1日～2025年4月30日、
深さ0～40km、 $M \geq 4.0$)

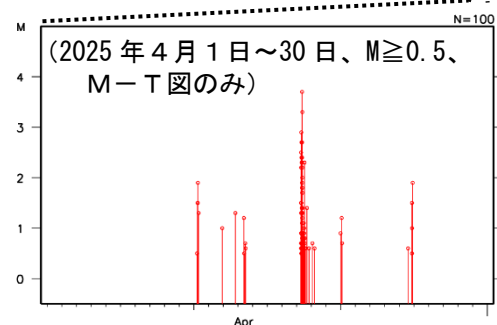
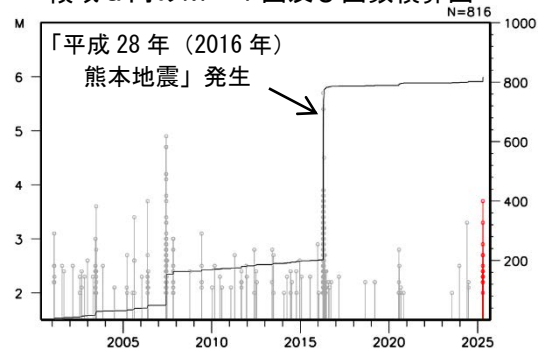


大分県中部では、2025年4月18日07時頃から18日13時頃にかけて地震活動が一時的に活発となるなど、18日から30日までに震度1以上を観測した地震が13回 (震度3: 1回、震度2: 4回、震度1: 8回) 発生した。このうち最大規模の地震は18日08時57分に発生した $M3.7$ の地震 (深さ8km、最大震度3) である。これらの地震は地殻内で発生した。

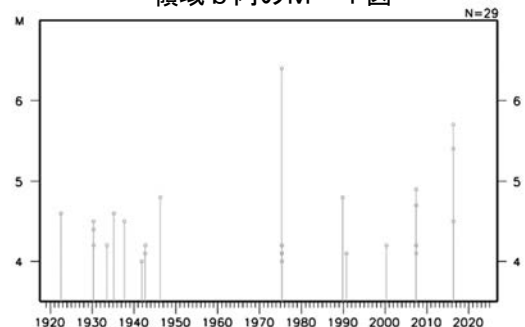
2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、2016年4月16日に $M5.4$ の地震 (深さ6km、最大震度5弱) が発生している。また、2007年6月6日から6月10日にかけて地震活動が活発となるなど、6月中に震度1以上を観測した地震が64回 (震度4: 3回、震度3: 6回、震度2: 16回、震度1: 39回) 発生した。このうち最大規模の地震は6月6日に発生した $M4.9$ の地震 (深さ11km、最大震度4) で、この地震により重傷者1人などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、 $M5.0$ 以上の地震が3回発生している。1975年4月21日に発生した $M6.4$ の地震 (最大震度4) では、負傷者22人、住家被害2,240棟などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



○沖縄地方の地震活動

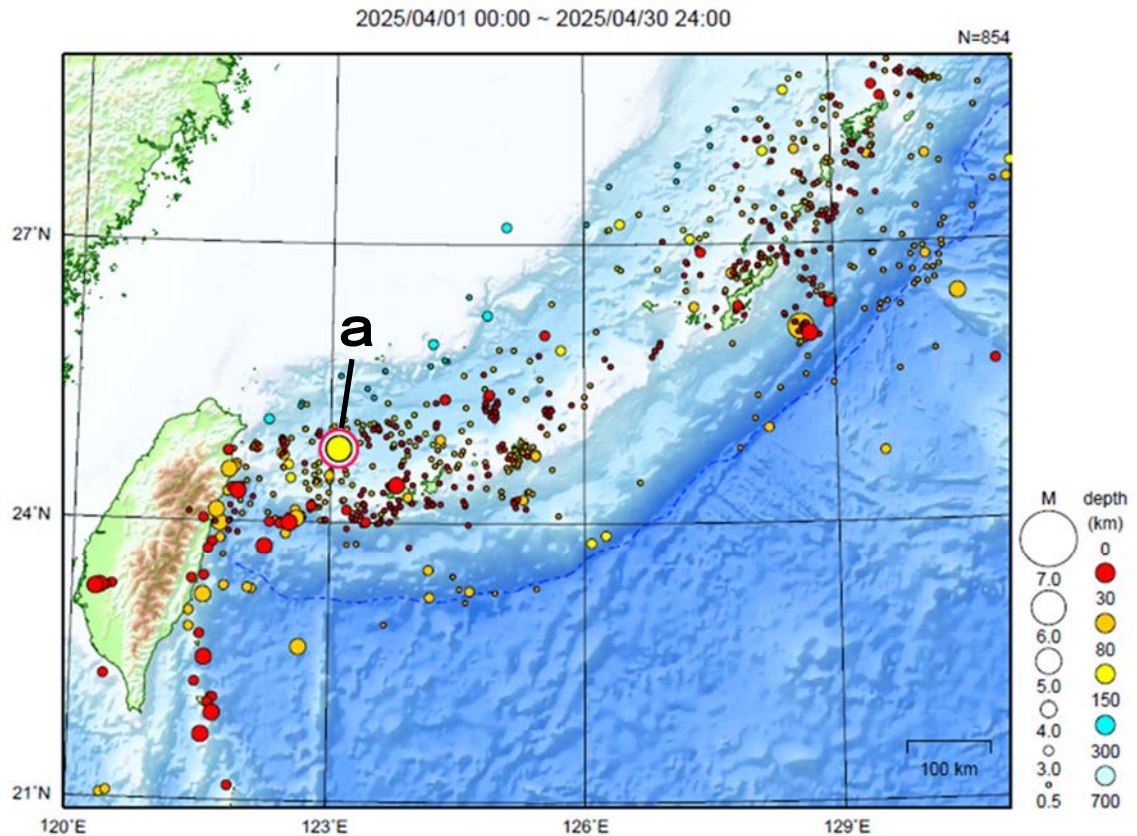


図10 沖縄地方の震央分布図（2025年4月1日～4月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

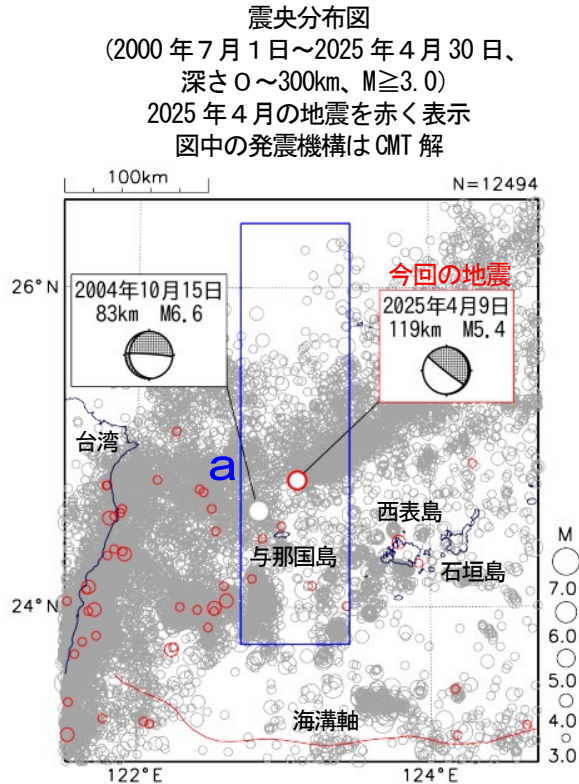
〔概況〕

4月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は8回（3月は7回）であった。

4月中の主な活動は次のとおりである。

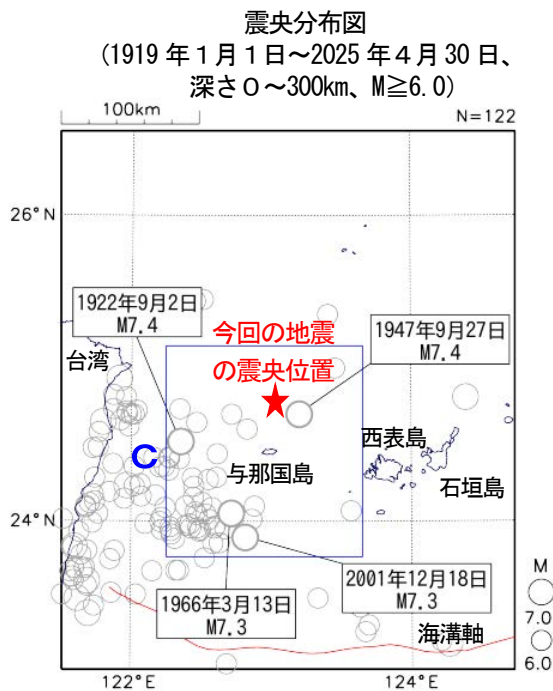
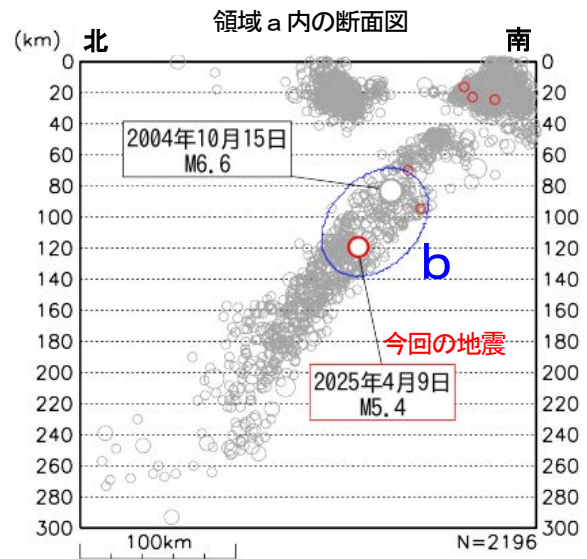
- a 9日00時26分に与那国島近海の深さ119kmで $M5.4$ の地震が発生し、沖縄県竹富町（西表島）及び石垣市で震度3を観測したほか、与那国島から宮古島にかけて震度2～1を観測した（p.20参照）。

4月9日 与那国島近海の地震

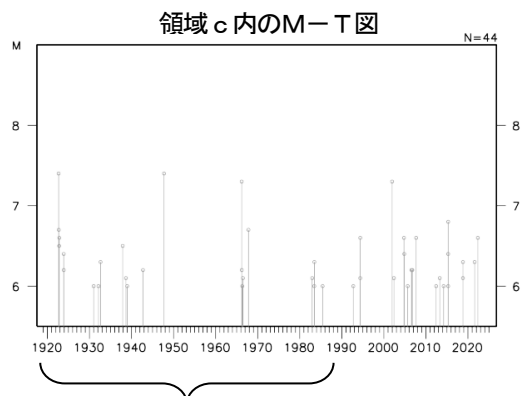
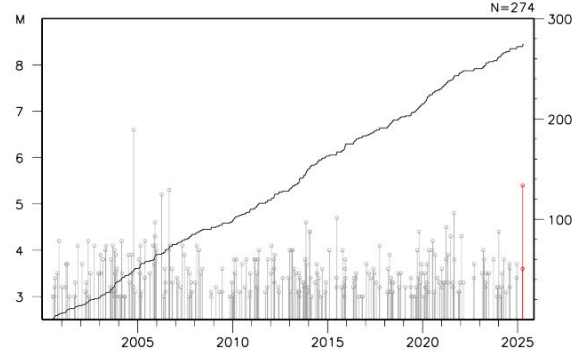


2025年4月9日00時26分に与那国島近海の深さ119kmで $M 5.4$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、北北東－南南西方向に張力軸を持つ型であった。

2000年7月以降の活動をみると、この地震の震源付近（領域b）では、2004年10月15日に $M 6.6$ の地震が発生し、与那国町で震度5弱を観測した。



領域b内の回数積算図及びM-T図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、過去に7.0以上の地震が時々発生している。1947年9月27日に $M 7.4$ の地震が発生し、死者5人の被害が生じた。また、1966年3月13日の $M 7.3$ の地震が発生し、死者2人（台湾で死者4人）の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

この期間は検知能力が低い

○その他の地域の地震活動

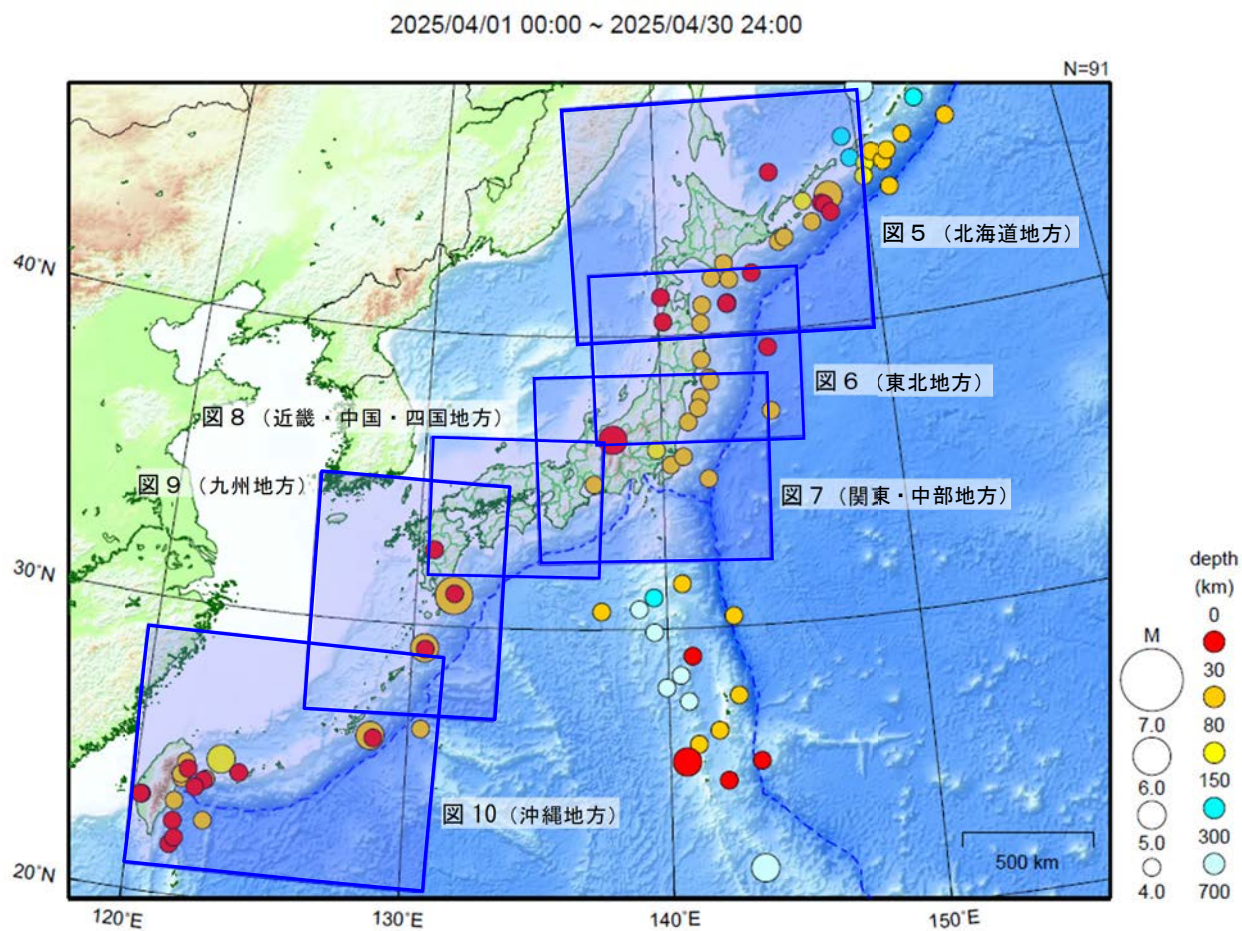


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2025 年 4 月 1 日～4 月 30 日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

[概況]

4 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 1 回（3 月はなし）であった。

4 月中に図 5～10 の領域外で目立った活動はなかった。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第93回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第471回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、令和7年5月9日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.24に掲載する。

（注）<https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が80%程度であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1） 東海：4月9日から4月11日
- （2） 四国西部：4月22日から4月26日
- （3） 紀伊半島中部：4月27日から5月1日

2. 地殻変動の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

GNSS観測によると、2024年8月8日の日向灘の地震の発生後、宮崎県南部を中心にゆっくりとした東向きの変動が観測されています。また、2025年1月13日の日向灘の地震に伴い宮崎県南部を中心に地殻変動が観測され、それ以降にもゆっくりとした東向きの変動が観測されています。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しています。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNSS観測によると、2019年春頃から四国中部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2024年秋頃から鈍化しています。また、2020年初頭から紀伊半島南部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2024年秋頃から停滞しています。さらに、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

GNSS観測による、2024年8月8日と2025年1月13日の日向灘の地震発生後のゆっくりとした変動は、これらの地震に伴う余効変動と考えられます。余効変動自体はM7程度以上の地震が発生すると観測されるもので、今回の余効変動は、そのような地震後に観測される通常の余効変動の範囲内と考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部に於いて発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動、2020年初頭からの紀伊半島南部の地殻変動及び2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、それぞれ四国中部周辺、紀伊半

島南部周辺及び渥美半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、四国中部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2024年秋頃から鈍化しています。また、紀伊半島南部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2024年秋頃から停滞しています。これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び四国中部周辺、渥美半島周辺の長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。また、紀伊半島南部周辺での長期的ゆっくりすべりは、南海トラフ周辺の他の場所で観測される長期的ゆっくりすべりと同様の現象と考えられます。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km 以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

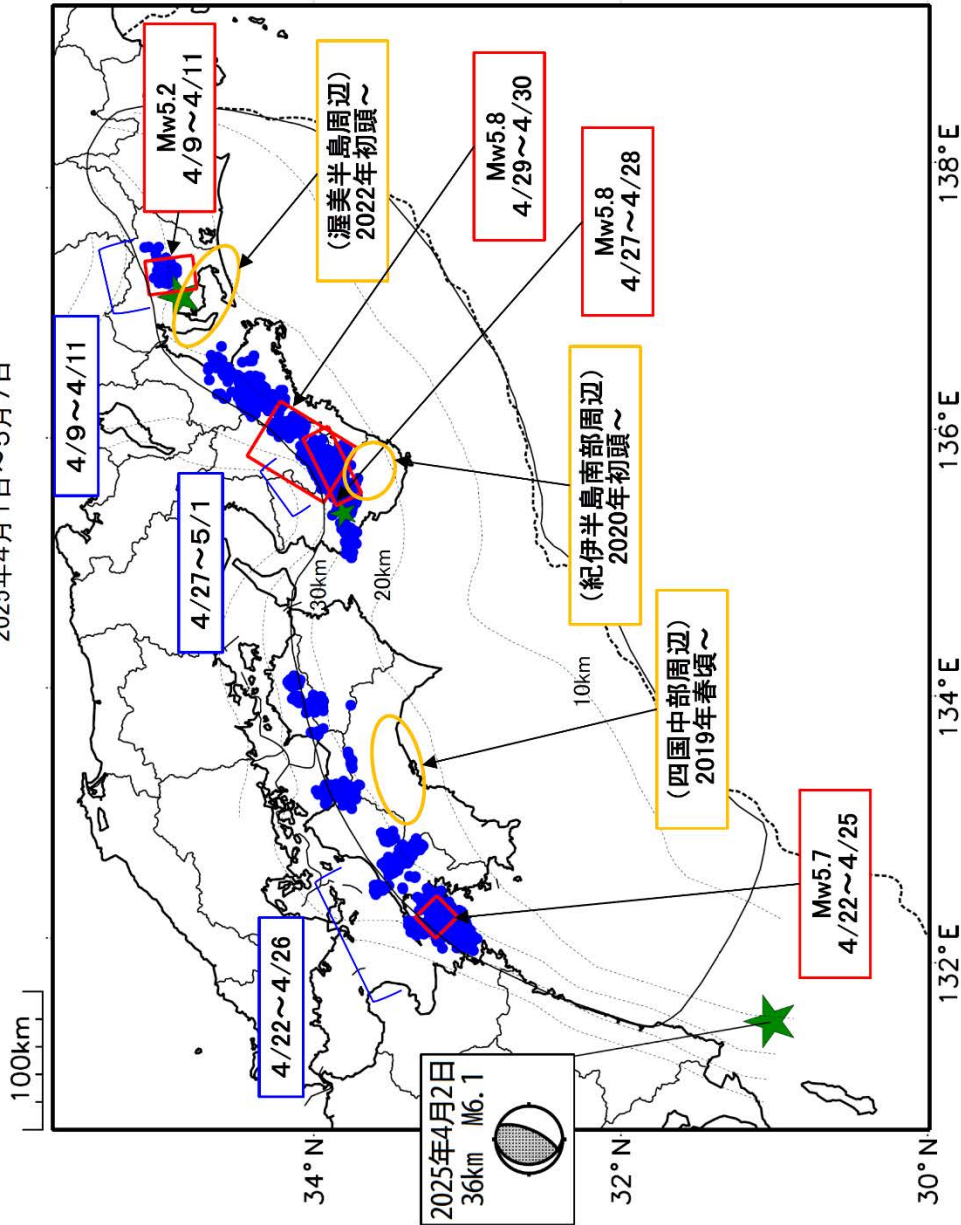
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2025年4月1日～5月7日



緑(★)
通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す)

青(●)
深部低周波地震(微動)

赤(□)
短期的ゆっくりすべり

黄(○)
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり……………【東海、四国西部】気象庁の解析結果を示す。【紀伊半島中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり……………国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和7年4月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和7年5月12日14時現在）。

霧島山（新燃岳）では、4月2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替えました。

口永良部島では、16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

焼岳では、18日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和7年5月12日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	入山危険	西之島※
	レベル2 （火口周辺規制）	岩手山、浅間山、御嶽山、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（4月1日～30日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

岩手山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS 連続観測では、2024 年2月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測されています。JAXA の衛星「だいち4号」の4月18日及び30日の観測データと「だいち2号」の2024年11月の観測データを用いた、国土地理院によるSAR干渉解析結果では、2024年11月以降、大地獄谷周辺及び岩手山西部周辺に衛星に近づく変動が見られています。

黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、やや多い状態で経過しています。

引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

山体浅部を震源とする火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、2024年5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

焼岳【火口周辺警報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）】←18日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

山頂付近の微小な火山性地震が3月3日から9日にかけて増加しました。その後、地震活動は低調に推移しています。このことから、火山活動は地震増加前の状態に戻り、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。

このため、18日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化が継続しており、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

御嶽山【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

2024年12月以降、剣ヶ峰山頂付近の火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する地殻変動を伴う火山性微動が観測されるなど、火山活動の高まりが認められていましたが、今期間は低調に推移しています。

地獄谷火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^{すみ} 寿^{すじま}島【噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は認められませんでしたでしたが、2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島【火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島【火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報】

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでしたでしたが、2022年以来、翁浜（おきなば）沖ではマグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福德岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕←2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切替え。

新燃岳では、3月30日（期間外）に火山性地震の増加とともに山体の膨張を示す地殻変動がみられたことから、火山活動が高まっていると判断し、噴火警戒レベルを3に引き上げ、警戒が必要な範囲を火口から概ね4kmに拡大しました。その後、地震回数は減少し、さらなる山体の膨張を示す地殻変動も認められないことから、2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替え、警戒が必要な範囲を概ね4kmから概ね3kmに縮小しました。

その後も火山性地震は増減を繰り返しています。新燃岳周辺の複数の傾斜計では、22日から26日にかけて北西上がりの緩やかな傾斜変動が観測され、地震回数も一段と増加しました。さらに、27日には継続時間の長い火山性微動も発生しました。また、30日には新燃岳西側斜面の割れ目付近から白色の噴気を観測しました。

新燃岳では火山活動が高まっており、弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね3kmまで、火砕流が概ね2kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね3kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2011年と同様の爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が21回発生し、このうち爆発は12回でした。噴煙は最高で火口縁上2,900mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で6合目（南岳山頂火口より約800m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

口永良部島では、4月のはじめ頃から古岳火口付近で火山性地震が増加しており、山体の浅いところで地震活動が活発化しています。火山活動が高まった状態となっていることから、16日23時25分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き

上げました。その後も、山体の浅いところを震源とする火山性地震は概ね多い状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、2023 年 11 月以降、山体の膨張を示す変動は認められません。

新岳火口及び古岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、西側は新岳火口から概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上 1,000m まで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、火口中心から最大で約 200m まで飛散しました。

GNSS 連続観測では、2024 年 10 月以降、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の増加を示唆するわずかな変動が認められています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、概ね少ない状態で経過していますが、20 日に一時的に増加しました。2024 年 10 月頃から増加傾向がみられています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第 4 版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000m 以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2024年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年3月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年1月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2024年9月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海德海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒） 2025年2月14日噴火予報（活火山であることに留意）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年7月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報（レベル3、入山規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（新燃岳） （つづき）		2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年3月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2025年4月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年5月25日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年6月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年7月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年10月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年12月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2025年2月14日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2025年4月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年1月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月23日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年7月29日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年9月17日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年7月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年1月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2023年6月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年1月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2024年1月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（２）その他の活火山

以下の活火山（＊印及び＊＊印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

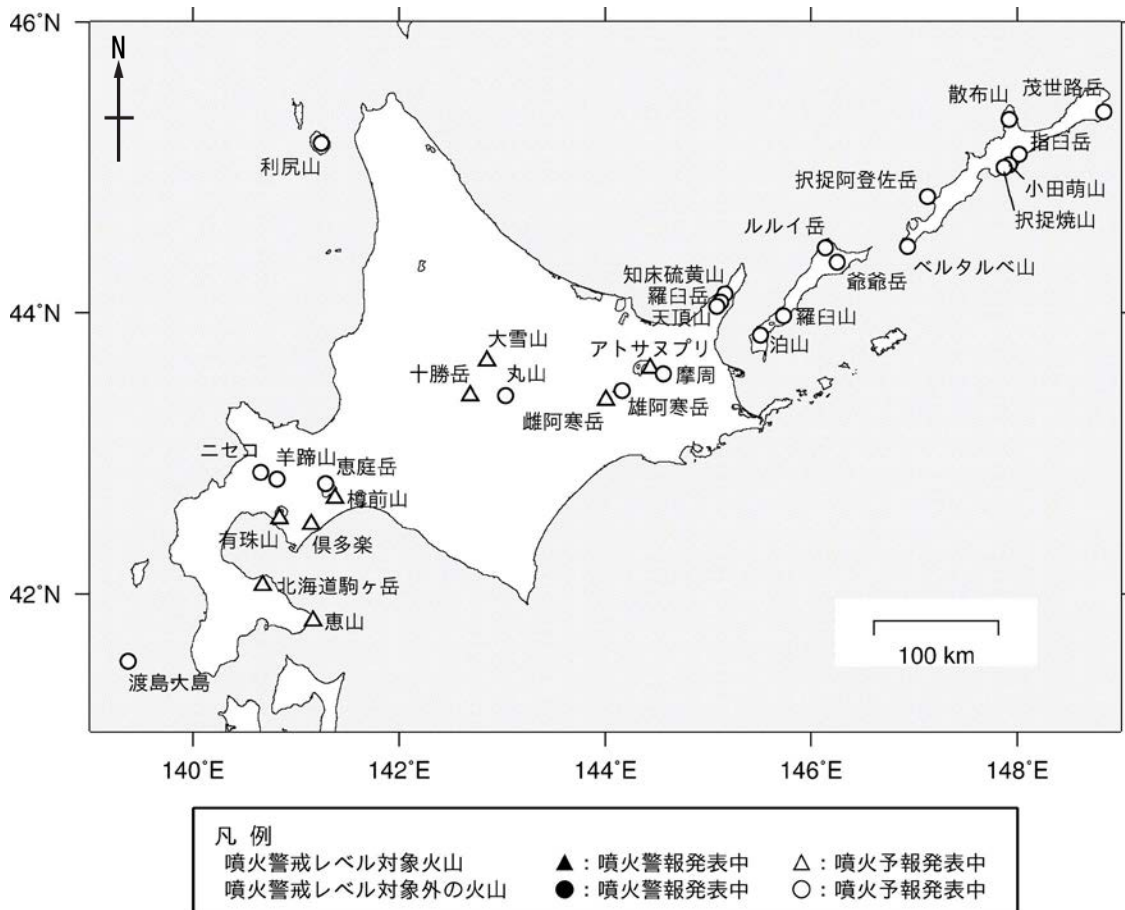
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年4月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

62-2 火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和 7 年 4 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4 月 30 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 2（火口周辺規制）	岩手山
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳 鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（4 月 1 日～30 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では、2023 年前半から主に十和田湖を挟む東西の基線でわずかな変化が認められていますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

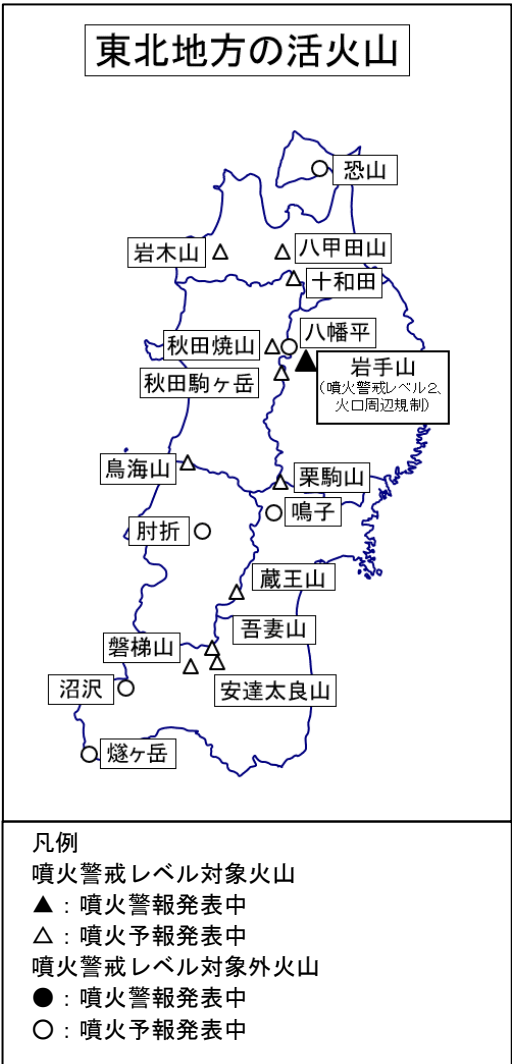
秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

GNSS 連続観測では 2020 年中頃から秋田焼山を挟む基線でわずかな伸びの変化が継続していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS 連続観測では、2024 年 2 月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測されています。JAXA の衛星「だいち 4 号」の 4 月 18 日及び 30 日の観測データと「だいち 2 号」の 2024 年 11 月の観測データを用いた、国土地理院による SAR 干渉解析結果では、2024 年 11 月以降、大地獄谷周辺及び岩手山西部周辺に衛星に近づく変動が見られています。

黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、やや多い状態で経過しています。



引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

西岩手山の想定火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、2017年以降、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移し、女^め岳^{だけ}付近では熱活動が継続していますが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山性地震は観測されませんでした。また、大穴火口周辺では緩やかな地盤の収縮を示唆する変化がみられていることから、山体浅部の熱水活動は低調な状態にあるとみられます。一方で、火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、今後の火山活動の推移には留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

16日に振幅の小さな火山性微動を2回観測しましたが、その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

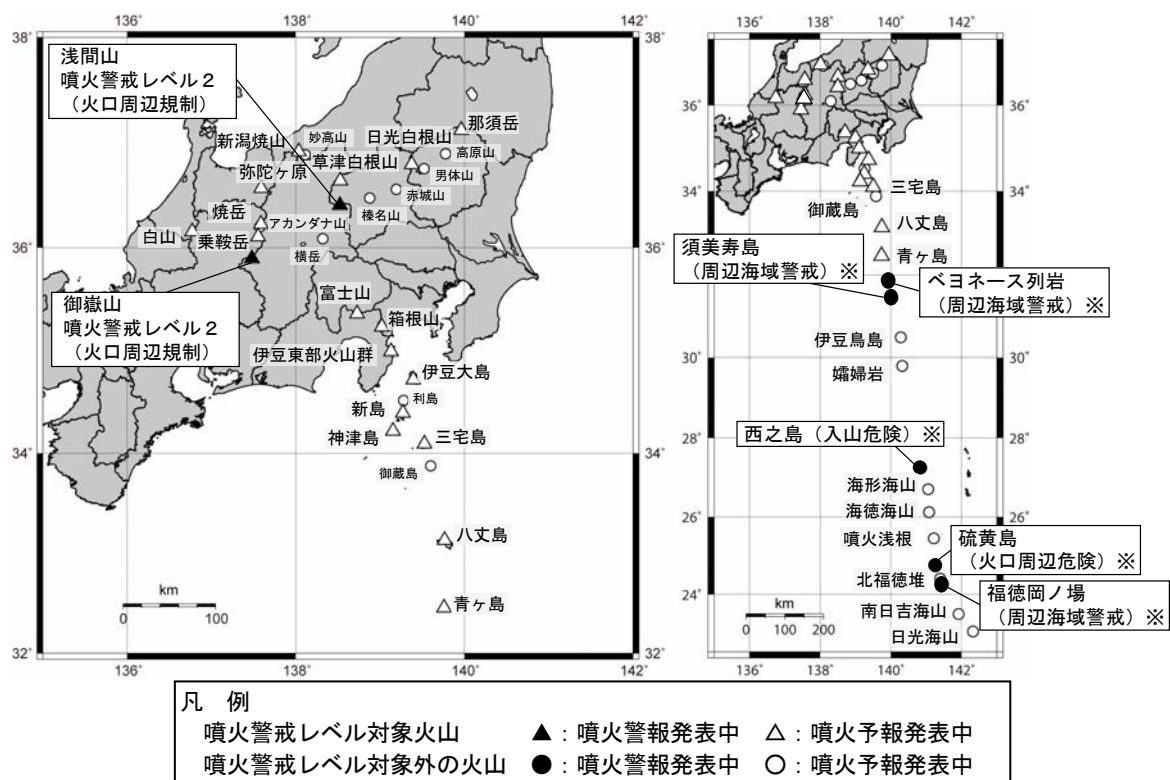
管内月間火山概況（令和7年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山、御嶽山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2024年5月下旬以降、火山性地震がやや増加しています。また、傾斜計での観測によると、2024年6月頃から湯釜付近の地下浅部の膨張を示すと考えられる緩やかな地殻変動が認められます。

これらのことから、今後火山活動が高まる可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、2024年5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

妙高山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動も認められませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←18日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

山頂付近の微小な火山性地震が3月3日から9日にかけて増加しました。その後、地震活動は低調に推移しています。このことから、火山活動は地震増加前の状態に戻り、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられます。

このため、18日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

山頂付近の噴気状況に変化は認められません。

ただし、GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化が継続しており、

焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている可能性がありますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

2024年12月以降、剣ヶ峰山頂付近の火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する地殻変動を伴う火山性微動が観測されるなど、火山活動の高まりが認められていましたが、今期間は低調に推移しています。

地獄谷火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しています。火山活動によるとみられる地殻変動は観測されていません。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる1986年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動及び噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、主火口周辺の地熱域では、2022年以降温度の上昇や放熱率の増加傾向が認められます。また、山体浅部の膨張を示すと考えられる村営牧場南一雄山北東間での伸びの傾向は、2023年に入り停滞していますが、山体深部の膨張を示す地殻変動は続いており、地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。2000年の噴火以降の中長期的なマグマの蓄積や地熱の上昇傾向からみて、今後火山活動が活発化する可能性があります。また、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

山頂火口内及び主火口から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^{すみ}寿^{すじま}島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められませんでした。2024年7月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以来、^{おきなほま}翁浜沖ではマグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

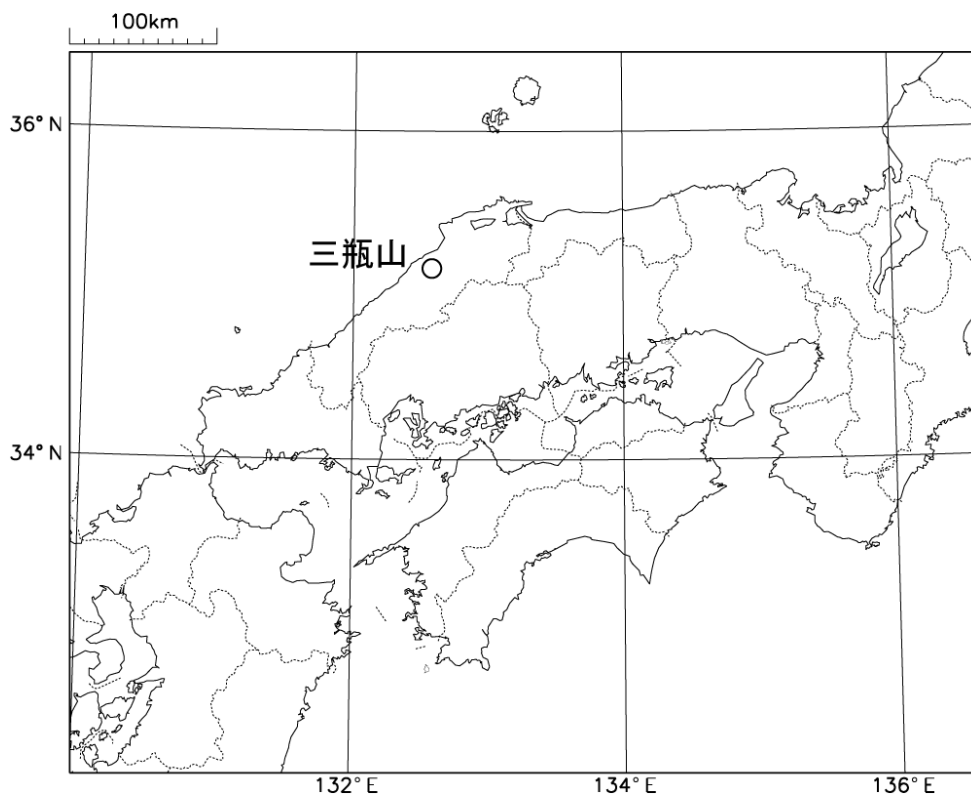
管内月間火山概況（令和7年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

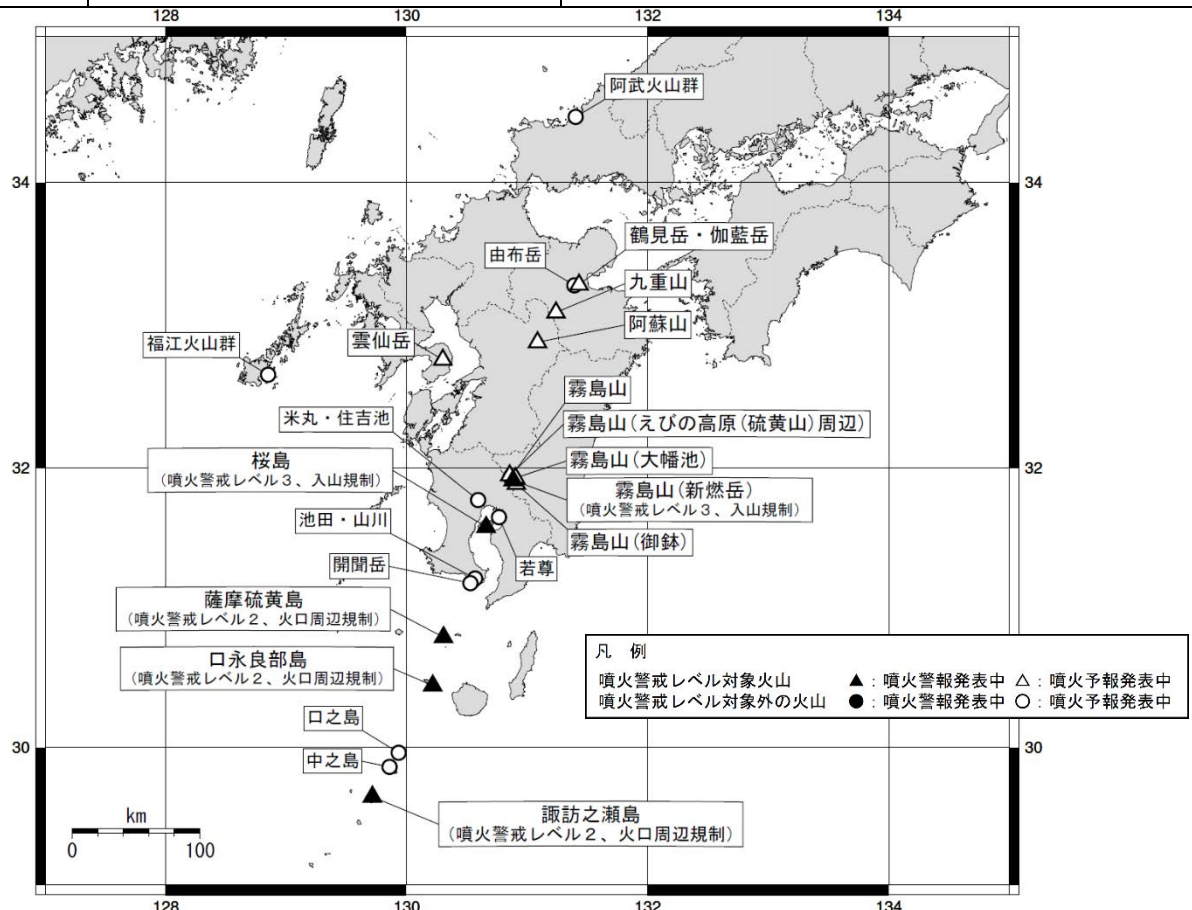
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年4月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和7年4月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、阿蘇火山博物館及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（4月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

霧島山（新燃岳）では、2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替えました。

口永良部島では、16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さな状態で経過しました。火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は少ない状態でした。

GNSS 連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において、2024年10月頃から縮みの傾向がみられています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの 高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。

地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

きりしまやま おおはたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

きりしまやま しんもえだけ

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕 ← 2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切替え。

新燃岳では、3月30日（期間外）に火山性地震の増加とともに山体の膨張を示す地殻変動がみられたことから、火山活動が高まっていると判断し、噴火警戒レベルを3に引き上げ、警戒が必要な範囲を火口から概ね4kmに拡大しました。その後、地震回数は減少し、さらなる山体の膨張を示す地殻変動も認められないことから、2日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル3（入山規制）を切り替え、警戒が必要な範囲を概ね4kmから概ね3kmに縮小しました。

その後も火山性地震は増減を繰り返しています。新燃岳周辺の複数の傾斜計では、22日から26日にかけて北西上がりの緩やかな傾斜変動が観測され、地震回数も一段と増加しました。さらに、27日には継続時間の長い火山性微動も発生しました。また、30日には新燃岳西側斜面の割れ目付近から白色の噴気を観測しました。

新燃岳では火山活動が高まっており、弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね3kmまで、火砕流が概ね2kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね3kmの範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。2011年と同様の爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま おはち

霧島山（御鉢）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

さくらじま

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、噴火²⁾が21回発生し、このうち爆発³⁾は12回でした。噴煙は最高で火口縁上2,900mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で6合目（南岳山頂火口より約800m）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

薩摩 硫黄島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕←16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げ。

口永良部島では、4月のはじめ頃から古岳火口付近で火山性地震が増加しており、山体の浅いところで地震活動が活発化しています。火山活動が高まった状態となっていることから、16日23時25分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。その後も、山体の浅いところを震源とする火山性地震は概ね多い状態で経過しています。

GNSS連続観測では、2023年11月以降、山体の膨張を示す変動は認められません。

新岳火口及び古岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、西側は新岳火口から概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

なかのしま

中之島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

すわのせじま

諏訪之瀬島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上1,000mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、火口中心から最大で約200mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、2024年10月以降、島の西側やや深部におけるマグマの蓄積量の増加を示唆するわずかな変動が認められています。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、概ね少ない状態で経過していますが、20日に一時的に増加しました。2024年10月頃から増加傾向がみられています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体を感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和7年4月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

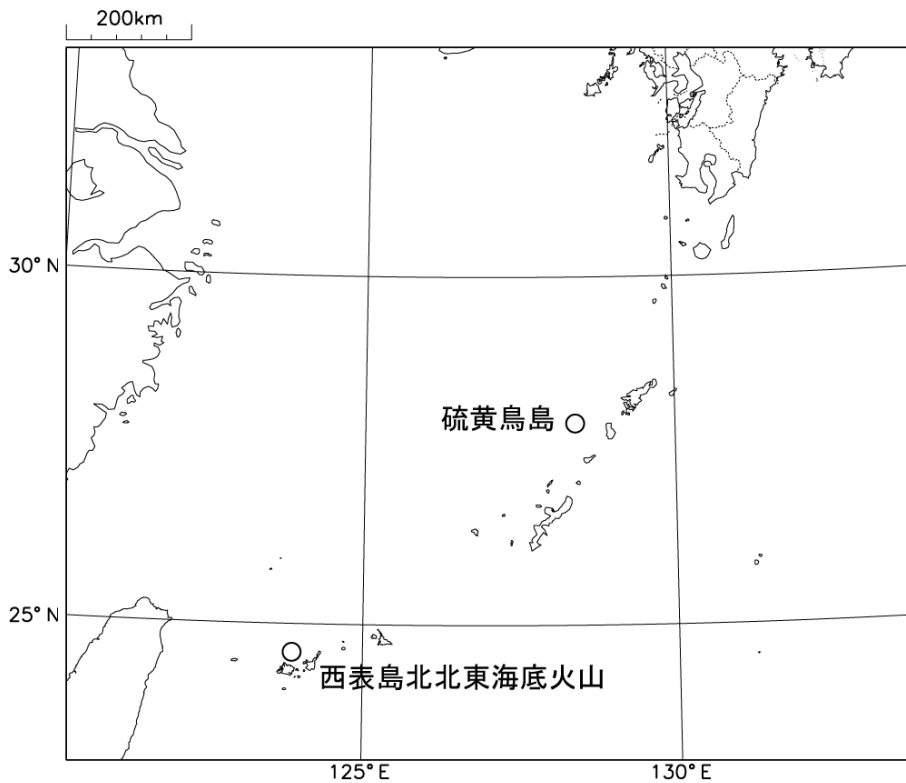
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和7年4月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第17号	1日 16時00分	10月下旬頃から火口直下の火山性地震が増減を繰り返し、前10日間の地震回数は多い。傾斜計では、3月30日に山体の膨張および収縮を示す変動がみられた。GNSS連続観測では、11月頃から新燃岳付近の地下の膨張を示す基線のわずかな伸びがみられる。火口から概ね4kmの範囲に影響する噴火の可能性がある。
		火口周辺警報	2日 11時00分	火山性地震は減少しさらなる山体の膨張は認められない。3月30日の現地調査で、火山活動の活発化を示す変化はみられない。火口から概ね3kmを超える範囲に影響する噴火の可能性は低くなり、警戒が必要な範囲を概ね3kmに縮小する。
		解説情報 第18～30号	2日 11時10分 4日、7～9日、11日、 14日、16日、18日、21 日、23日、25日、28日、 30日 16時00分	火口直下の火山性地震は10月下旬頃から増減を繰り返し、4日からと23日からは増加、30日時点で前10日間の地震回数は非常に多い。14日に火山性微動が発生。新燃岳西側斜面の割れ目で30日午前に噴気を観測（2024年12月14日以来）。複数の傾斜計で22日～26日に北西上がりの変動を観測。現地調査（8日、24日）で特段の変化はない。GNSS連続観測では、11月頃から霧島山を挟む一部の基線で新燃岳付近の地下の膨張を示すわずかな伸びが認められる。引き続き火口から概ね3kmの範囲内に影響する噴火の可能性がある。
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第27～34号	4日、7日、11日、14 日、18日、21日、25日、 28日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石、火映の状況。火山性地震、微動の発生状況。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は900～1800[t/日]（現地調査7、17日）でやや多い。GNSS連続観測で、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられる。
		降灰報（速報）	5日 15時38分 7日 12時03分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報（詳細）	5日 15時49分 7日 12時15分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	4日、11日、18日、25 日 16時00分	傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測で、2024年2月頃から山体深部の膨張を示す変動を観測。黒倉山山頂の南南西約5kmのひずみ計で9日頃から伸び、15日頃から縮みの変化を示し、22日頃からは9日以前の傾向に戻っている。黒倉山付近の微小な火山性地震は、13日以降やや多い。監視カメラで大地獄谷の噴気が一時的に高くなり、積雪前より地熱域がわずかに拡大。17日の上空からの観測（岩手県協力）で特段の変化はない。引き続き、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2kmの範囲に影響する噴火の可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第27～34号	4日、7日、11日、14 日、18日、21日、25日、 28日 16時00分	火山性地震は2024年4月中旬以降増加した状態。同3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は5月以降は停滞。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は300～400[t/日]（16、21日）、2023年3月以前より多い。引き続き、火口から概ね2kmに影響する噴火の可能性がある。

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
焼岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第21～24号	4日、7日、11日、14日 16時00分	火山性地震の回数は少なくなっているが、GNSS連続観測で山頂付近の緩やかな膨張の変化が続き、中長期的に火山活動が高まっている。想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	噴火予報	18日 11時00分	火山性地震が3月上旬に増加し、その後は少ない。火山活動は低下し、想定火口域から概ね1kmの範囲に影響する噴火の可能性は低くなった。
		解説情報 第25号	18日 11時10分	火山性地震は少ない。傾斜計で8日にわずかな山頂方向隆起が観測されたがその後変動はない。噴気に変化はない。 GNSS連続観測で、山頂付近での緩やかな膨張を示す変化が継続し、焼岳周辺では数年おきに震度1以上となる地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきている。今後の火山活動の推移に注意。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第40～47号	4日、7日、11日、14日、18日、21日、25日、28日 16時00分	火山性地震の日回数は0～1回。火山性微動は観測されず。GNSS連続観測で、12月頃からの一部の基線の伸びは2月頃から停滞。12月中旬以降、火山性地震の増加や、山頂方向が隆起する変動を伴う火山性微動が観測され、火山活動の高まりが認められる。地獄谷火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	7日、14日、21日、28日 16時00分	白色の噴煙と、夜間に時々高感度の監視カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。火山性微動はない。GNSS連続観測で、山体の膨張を示す変化はない。 長期的には熱活動や噴煙活動が高まった状態が続き、火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
口永良部島	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第8～9号	8日、9日 16時00分	古岳付近の浅部で火山性地震がやや増加している。遠望観測及び地殻変動観測では変化はない。火山活動がやや高まっている可能性があり、今後の火山活動に関する情報に留意。
		解説情報(臨時) 第10～16号	11日 09時30分 11～16日 16時00分	古岳火口付近の浅部で火山性地震がやや多い状態が継続。監視カメラでの観測及び地殻変動観測では、特段の変化はない。 火山性地震が増加し、火山活動がさらに高まる可能性がある。今後の情報に注意。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	16日 23時25分	古岳火口付近の浅部で火山性地震が活発化。新岳及び古岳火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性はある。新岳及び古岳火口から概ね1kmの範囲で大きな噴石及び火砕流に警戒。西側は新岳火口から概ね2km範囲で火砕流に警戒。
		解説情報 第17～22号	16日 23時50分 17日、18日、21日、25日、28日 16時00分	主に古岳火口付近浅部で火山性地震活動が活発化。16日の現地調査で地熱域の状況に変化なし。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は少ない。監視カメラ及び地殻変動観測では変化はない。火山活動が高まっているため、新岳及び古岳の火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第14～17号	7日、14日、21日、28日 16時00分	御岳火口で噴火活動継続。爆発、噴煙、火映の状況。大きな噴石の飛散。集落で降灰あり。島の西側付近で火山性地震が19～20日に増加し島内で震度2。その後は減少。火山性微動は主に噴火に伴って発生。GNSS連続観測では、10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示唆するわずかな変動が認められる。 長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺では大きな噴石が飛散する可能性がある。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 岩手山、浅間山、焼岳、御嶽山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。口永良部島では17日2時に開始し、焼岳では18日8時で終了した。

● 世界の主な地震

令和7年（2025年）4月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

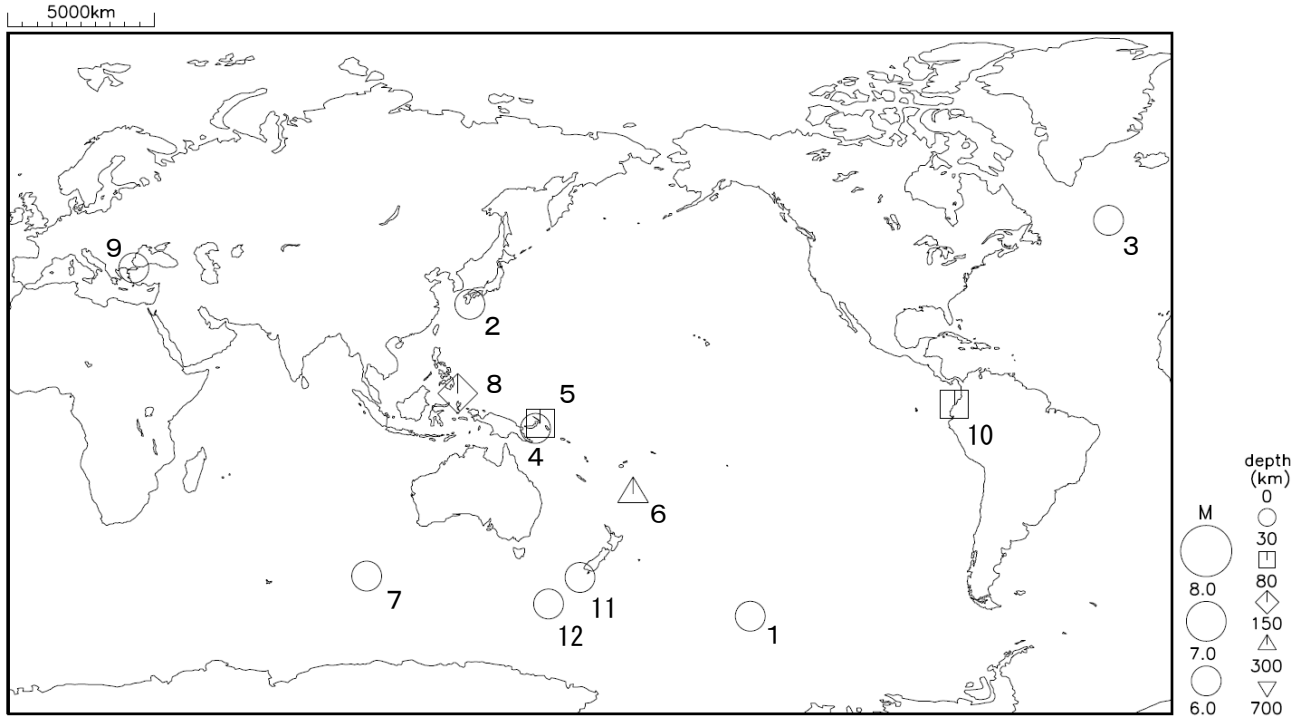


図1 令和7年（2025年）4月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和7年（2025年）4月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	04月02日09時29分	S57° 0.4′	W142° 17.1′	10			6.3	太平洋－南極海嶺			
2	04月02日23時03分	N31° 2.8′	E131° 31.4′	36		6.1	(6.0)	大隅半島東方沖			
3	04月03日23時09分	N52° 27.2′	W 32° 6.4′	10			6.9	レイキヤネス海嶺			
4	04月05日05時04分	S 6° 17.5′	E151° 40.6′	10			6.9	バブアニューギニア、ニューブリテン		○	○
5	04月12日12時47分	S 4° 41.4′	E153° 9.2′	62			6.1	バブアニューギニア、ニューアイルランド			
6	04月14日05時03分	S25° 58.8′	W178° 19.8′	271			6.5	フィジー諸島南方			
7	04月16日10時42分	S47° 50.5′	E 99° 45.4′	10			6.6	南東インド洋海嶺			
8	04月22日19時17分	N 4° 30.5′	E127° 45.5′	118			6.2	インドネシア、タラウド諸島			
9	04月23日18時49分	N40° 50.3′	E 28° 8.5′	10			6.2 _G	トルコ	津波観測0.06m(エルデク)など 負傷者236人など		
10	04月25日20時44分	N 1° 6.2′	W 79° 32.0′	35			6.3 _G	エクアドル沿岸	津波観測0.42m(エスメラルダス) 負傷者49人など		
11	04月29日22時16分	S48° 10.9′	E165° 20.5′	10			6.2	ニュージーランド、南島西方沖			
12	04月29日23時53分	S54° 19.6′	E155° 40.6′	5			6.8	マクオリー島			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2025年5月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2025年5月1日現在)による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(※)を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>)参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による(2025年5月1日現在)。

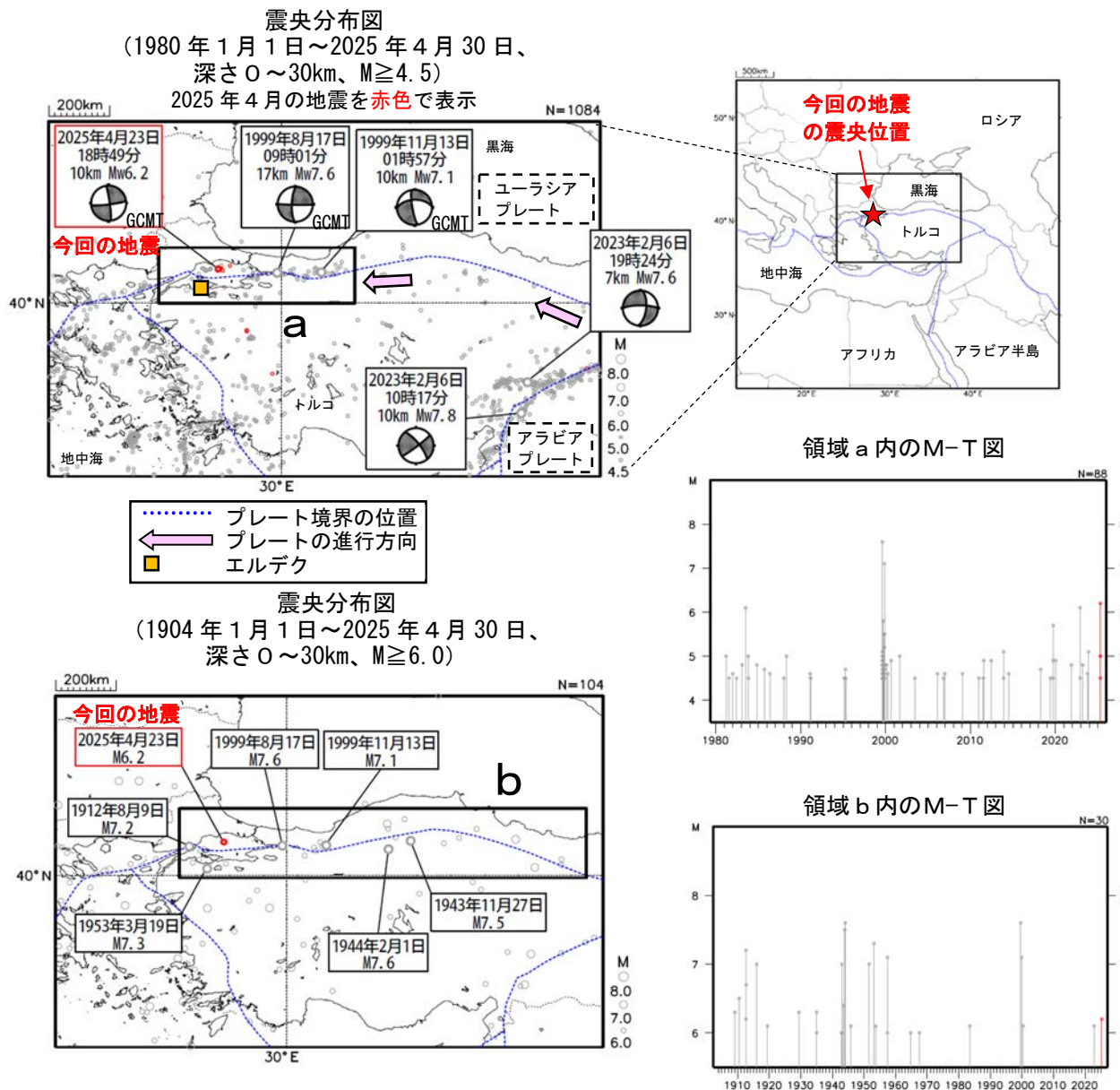
4月23日 トルコの地震

2025年4月23日18時49分（日本時間、以下同じ）にトルコの深さ10kmでMw6.2（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は北西－南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。今回の地震により、エルデク（トルコ）で0.06mの津波を観測した。

この地震により、負傷者236人などの被害が生じた（2025年5月1日現在）。

今回の地震の震央周辺（領域a）では、1999年8月17日にMw7.6の地震が発生し、死者17,118人などの被害が生じた。また、1999年11月13日にMw7.1の地震が発生し、死者894人などの被害が生じた。

1904年以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域b）は、これまでもM7.0以上の地震が時々発生するなど、地震活動が活発なところとして知られている。



※上図内の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（2025年5月1日現在）。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwは、2023年2月6日10時17分の地震及び同日19時24分の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。下図内の震源要素は、2020年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 11（1904～2020）、2021年以降は米国地質調査所（USGS）による（2025年5月1日現在）。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年5月1日現在）。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年5月1日現在）による。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)*より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

4月25日 エクアドル沿岸の地震

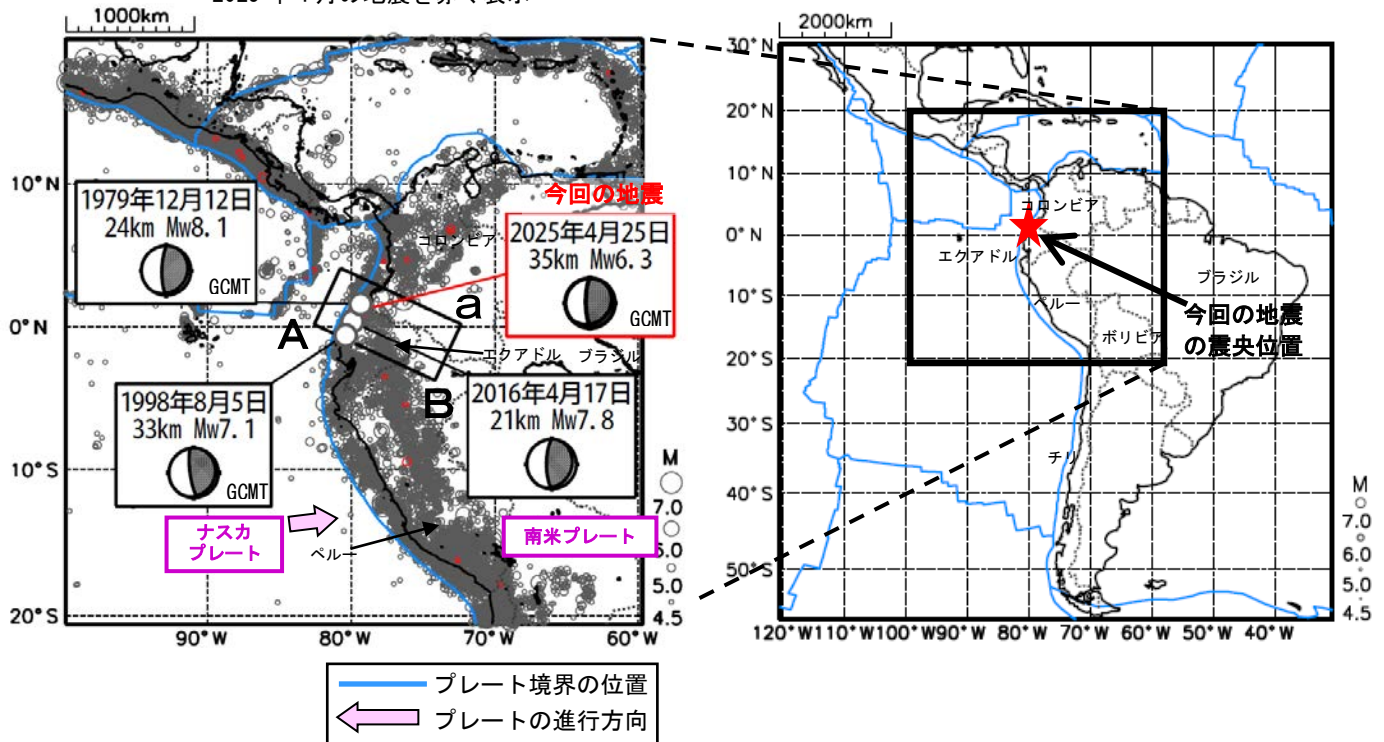
2025年4月25日20時44分（日本時間、以下同じ）にエクアドル沿岸の深さ35kmでMw6.3の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は、東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により負傷者49人などの被害が生じた。また、エクアドルのエスメラルダスで0.42mの津波を観測した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震がしばしば発生しており、M7.0以上の地震も過去3回発生している。このうち1979年12月12日に発生したMw8.1の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）では、死者600人などの被害が生じた。この地震により、コロンビアのサン・ファン・デ・ラ・コスタで6mの津波を観測した。また、2016年4月17日に発生したMw7.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）では死者669人などの被害が生じた。この地震により、エクアドルのパイア・デ・カラケスでは0.6mの津波を観測した。

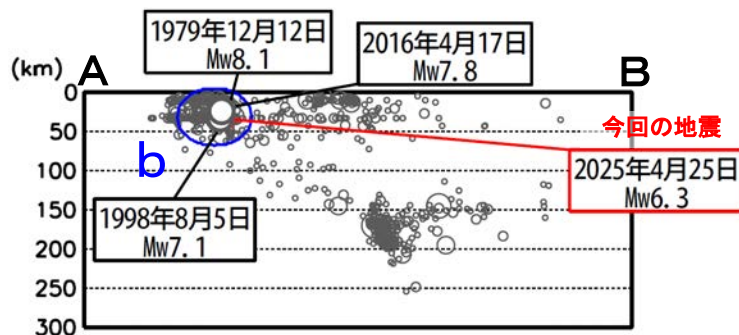
震央分布図

（1970年1月1日～2025年4月30日、深さ0～300km、M $\geq$ 4.5）

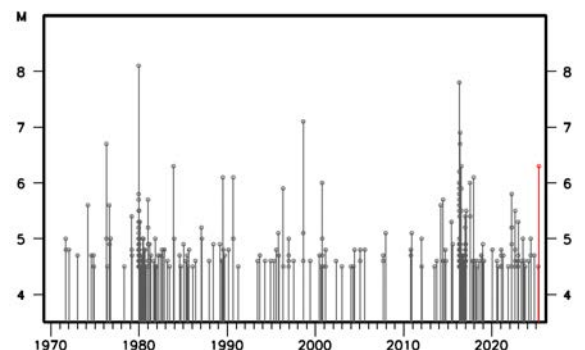
2025年4月の地震を赤く表示



領域a内の断面図（A－B投影）



領域b内のM－T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による。また、2016年4月17日の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。津波の高さは米国海洋大気庁（NOAA）による（2025年4月30日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）*より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による（2025年4月30日現在）。その他の地震の被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和7年（2025年）4月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和7年（2025年）4月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和7年4月中に震度1以上を観測した地震は196回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（令和6年12月 地震・火山月報（防災編）の付録7参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'f'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震源地名 緯度 経度 深さ 規模	各地の震度（計測震度）
1	1 02 37	宮古島近海 24° 44.0' N 125° 25.2' E 46km M: 3.7	沖縄県 1 宮古島市上野支所*=1.4 宮古島市下地*=1.2 宮古島市城辺福北=1.1 宮古島市伊良部前里添=0.8 宮古島市城辺福西*=0.6 宮古島市平良西里*=0.5
2	1 05 07	有明海 32° 46.9' N 130° 31.2' E 11km M: 3.2	福岡県 1 大牟田市昭和町*=0.8 みやま市高田町*=0.5 長崎県 1 雲仙市国見町=0.8 島原市有明町*=0.8 熊本県 1 玉名市天水町*=1.3 玉名市横島町*=1.0 玉東町木葉*=0.6 荒尾市宮内出目*=0.5
3	1 14 41	根室半島南東沖 42° 57.2' N 145° 43.3' E 70km M: 4.1	北海道 1 別海町常盤=1.4 中標津町養老牛=1.3 別海町西春別*=1.2 根室市落石東*=1.0 別海町本別海*=0.8 標茶町塘路*=0.8 根室市瑤瑤瑠*=0.6 根室市牧の内*=0.5 標津町北2条*=0.5 釧路市幸町=0.5
4	1 20 32	石川県西方沖 36° 55.3' N 136° 23.5' E 12km M: 2.7	石川県 1 志賀町香能*=0.8
5	1 21 33	茨城県南部 36° 09.8' N 139° 51.1' E 102km M: 3.7	茨城県 2 土浦市常名=1.5 1 石岡市柿岡=1.4 笠間市笠間*=1.0 日立市助川小学校*=1.0 筑西市門井*=1.0 筑西市二木成*=1.0 桜川市岩瀬*=1.0 桜川市羽田*=1.0 小美玉市小川*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.8 稲敷市結佐*=0.8 行方市麻生*=0.8 土浦市田中*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 石岡市八郷*=0.7 石岡市石岡*=0.7 稲敷市江戸崎甲*=0.7 土浦市藤沢*=0.7 桜川市真壁*=0.7 笠間市下郷*=0.7 石岡市若宮*=0.7 高萩市安良川*=0.6 城里町石塚*=0.6 美浦村受領*=0.6 笠間市中央*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 常陸大宮市山方*=0.5 日立市役所*=0.5 つくば市天王台*=0.5 栃木県 1 宇都宮市中里町*=0.8 下野市笹原*=0.7 宇都宮市明保野町=0.6 益子町益子=0.6 壬生町壬生甲*=0.5
6	2 02 01	宮古島近海 24° 44.5' N 125° 25.2' E 47km M: 3.4	沖縄県 1 宮古島市下地*=1.1 宮古島市上野支所*=1.1 宮古島市城辺福西*=0.8 宮古島市城辺福北=0.7 宮古島市伊良部前里添=0.6
7	2 06 31	熊本県熊本地方 32° 32.9' N 130° 41.6' E 8km M: 2.9	熊本県 1 八代市東陽町*=1.0 宇城市小川町*=1.0 氷川町島地*=1.0 八代市鏡町*=0.9 八代市泉支所*=0.9 八代市千丁町*=0.7 宇城市不知火町*=0.6
8	2 07 04	根室半島南東沖 43° 18.8' N 146° 27.2' E 46km M: 3.7	北海道 1 根室市瑤瑤瑠*=0.8
9	2 08 54	父島近海 27° 38.5' N 142° 41.5' E 63km M: 4.4	東京都 1 小笠原村父島三日月山=0.5
10	2 08 59	沖縄本島近海 26° 06.2' N 128° 35.8' E 32km M: 5.2	沖縄県 1 名護市港*=1.0 国頭村辺土名*=1.0 本部町役場*=1.0 南城市知念久手堅*=0.8 うるま市みどり町*=0.5
11	2 11 07	滋賀県北部 35° 33.6' N 136° 22.0' E 14km M: 3.2	岐阜県 1 揖斐川町東津汲*=1.3 揖斐川町東杉原*=0.9 揖斐川町西横山*=0.6
12	2 20 54	岩手県内陸南部 39° 03.3' N 140° 52.1' E 8km M: 3.2	宮城県 1 栗原市栗駒=0.5 秋田県 1 東成瀬村椿川*=0.5
13	2 23 03	大隅半島東方沖 31° 02.7' N 131° 31.3' E 36km M: 6.1	宮崎県 4 串間市都井*=4.4 日南市南郷町南町*=4.1 串間市役所*=4.1 日南市中央通*=3.8 日南市吾田東*=3.8 宮崎市松橋*=3.8 日南市油津=3.6 3 都城市菖蒲原=3.4 小林市野尻町東麓*=3.4 高原町西麓*=3.3 日南市北郷町郷之原*=3.2 三股町五本松*=3.2 都城市姫城町*=3.2 都城市高崎町大牟田*=3.2 都城市山田町山田*=3.1 都城市山之口町花木*=3.1 宮崎市田野町体育館*=3.0 日南市北郷町大藤=3.0 宮崎市霧島=3.0

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		串間市奈留=3.0 宮崎市田野支所*=2.9 小林市真方=2.9 宮崎市清武町西新町*=2.9 宮崎市高岡町内山*=2.9 高鍋町上江*=2.8 都城市高城町穂満坊*=2.7 えびの市加久藤*=2.7 西都市聖陵町*=2.7 新富町上富田=2.7 綾町南俣健康センター*=2.7 綾町役場*=2.6 宮崎市佐土原町下田島*=2.6 国富町本庄*=2.6				
		2 西都市上の宮*=2.4 高千穂町三田井=2.4 小林市役所*=2.4 川南町川南*=2.3 木城町高城*=2.3 宮崎都農町役場*=2.1 宮崎美郷町田代*=2.1 都城市高崎町江平=2.1 椎葉村総合運動公園*=2.0 小林市中原*=1.9 延岡市北方町総合支所*=1.8 日向市東郷町山陰*=1.6 椎葉村下福良*=1.6 五ヶ瀬町三ヶ所*=1.6 宮崎美郷町宇納間*=1.6 宮崎美郷町神門*=1.5 高千穂町寺迫*=1.5				
		1 延岡市北方総合運動公園=1.4 延岡市東本小路*=1.4 門川町平城東*=1.4 日之影町七折*=1.4 延岡市天神小路=1.3 延岡市北川町川内名白石*=1.3 日向市亀崎=1.3 日向市大王谷運動公園=1.3 日向市富高*=1.2 西米良村村所*=1.2 諸塚村家代*=1.2 宮崎都農町川北=1.1 西米良村板谷*=1.1 延岡市北川町総合支所*=0.9				
鹿児島県		4 錦江町田代支所*=3.7 鹿屋市新栄町=3.6 鹿屋市札元*=3.6 東串良町川西*=3.5 肝付町新富*=3.5 志布志市志布志町志布志=3.5				
		3 鹿屋市串良町岡崎*=3.4 鹿児島市東郡元=3.3 南さつま市大浦町*=3.3 大崎町仮宿*=3.3 曾於市末吉町二之方*=3.3 錦江町城元*=3.2 鹿屋市輝北町上百引*=3.1 鹿屋市吾平町麓*=3.1 垂水市田神*=3.1 指宿市山川新生町=3.1 霧島市国分中央*=3.1 霧島市山形町牧之原*=3.0 鹿児島市喜入町*=3.0 鹿児島市桜島赤水新島*=3.0 南さつま市金峰町尾下*=3.0				
		南大隅町佐多伊座敷*=3.0 南大隅町根占*=3.0 錦江町田代麓=2.9 鹿児島空港=2.9 曾於市財部町南俣*=2.9 肝付町北方*=2.9 曾於市大隅町中之内*=2.8 指宿市十町*=2.8 鹿児島市祇園之洲町*=2.7 伊佐市菱刈前目*=2.7 始良市蒲生町北*=2.7 始良市加治木町本町*=2.7 いちき串木野市湊町*=2.7 湧水町栗野*=2.6 南九州市知覧町郡*=2.6 指宿市開開十町*=2.5 霧島市横川町中ノ*=2.5 薩摩川内市祁答院町*=2.5 鹿児島市上谷口*=2.5 志布志市有明町野井倉*=2.5 三島村竹島*=2.5				
		2 さつま町神子*=2.4 湧水町吉松*=2.4 始良市宮島町*=2.4 志布志市松山町新橋*=2.4 鹿児島市本城*=2.3 薩摩川内市神田町*=2.3 日置市日吉町日置*=2.3 霧島市牧園町宿窪田*=2.3 いちき串木野市緑町*=2.2 西之表市西之表=2.2 薩摩川内市東郷町*=2.1 日置市吹上町中原*=2.1 霧島市霧島田口*=2.1 南九州市頰娃町牧之内*=2.1 鹿児島市桜島藤野*=2.0 阿久根市鶴見町*=2.0 日置市伊集院町郡*=2.0 南さつま市加世田川畑*=2.0 西之表市役所*=2.0				
		南さつま市坊津町久志*=1.9 薩摩川内市入来町*=1.9 鹿児島市郡山*=1.8 霧島市溝辺町有川*=1.8 鹿児島市下福元=1.8 屋久島町口永良部島公民館*=1.8 薩摩川内市中郷=1.7 南九州市川辺町平山*=1.7 伊佐市大口鳥巢*=1.7 薩摩川内市樋脇町*=1.7 さつま町宮之城保健センタ*=1.7 南種子町中之上*=1.7 さつま町求名*=1.6 西之表市住吉=1.6 枕崎市高見町=1.6 中種子町野間*=1.6 さつま町宮之城屋地=1.5				
		1 長島町伊唐島*=1.3 日置市東市来町長里*=1.3 三島村硫黄島*=1.3 薩摩川内市上戸町*=1.2 薩摩川内市鹿島町*=1.2 枕崎市若葉町*=1.1 阿久根市赤瀬川=1.1 鹿児島出水市緑町*=1.1 鹿児島出水市野田町*=1.1 南さつま市笠沙町片浦*=1.1 南種子町西之*=1.1 南種子町中之下=1.0 伊佐市大口山野=0.9 屋久島町平内=0.9 屋久島町宮之浦*=0.8 屋久島町尾之間*=0.7				
佐賀県		3 神埼市千代田*=2.6				
		2 白石町有明*=2.3 佐賀市川副*=1.8 白石町福田*=1.8 白石町富富*=1.8 佐賀市東与賀*=1.7 佐賀市諸富*=1.7 小城市芦刈*=1.6 みやき町三根*=1.5 上峰町坊所*=1.5 佐賀市久保田*=1.5 佐賀市栄町*=1.5				
		1 みやき町北茂安*=1.4 神埼市神埼*=1.3 佐賀市駅前中央=1.2 小城市牛津*=1.0 小城市三日月*=0.9 吉野ヶ里町三田川*=0.9 佐賀市大和*=0.9 江北町山口*=0.8 鳥栖市宿町*=0.8 多久市北多久町*=0.7				
熊本県		3 熊本南区富合町*=2.8 多良木町多良木=2.6 阿蘇市内牧*=2.5 あさぎり町上*=2.5 あさぎり町岡原*=2.5				
		2 あさぎり町免田東*=2.4 あさぎり町須恵*=2.4 多良木町上球磨消防署*=2.4 宇城市豊野町*=2.3 宇城市小川町*=2.3 人吉市西間下町=2.2 嘉島町上島*=2.1 南阿蘇村河陰*=2.1 玉名市天水町*=2.1 錦町一武*=2.1 菊池市旭志*=2.1 宇土市浦田町*=2.1 熊本南区域城南町*=2.0 熊本北区植木町*=2.0 菊池市七城町*=2.0 玉名市横島町*=2.0 熊本高森町高森*=2.0 山鹿市山鹿*=2.0 相良村深水*=2.0 山江村山田*=2.0 津奈木町小津奈木*=2.0 合志市竹迫*=2.0 湯前町役場*=1.9 南阿蘇村吉田*=1.9 芦北町芦北=1.9 南阿蘇村河陽*=1.9 八代市平山新町=1.9 八代市千丁町*=1.9 熊本美里町馬場*=1.9 宇城市松橋町=1.9 氷川町島地*=1.8 阿蘇市波野*=1.8 合志市御代志*=1.8 熊本西区春日=1.8 人吉市蟹作町*=1.8 大津町大津*=1.8 西原村小森*=1.8 益城町宮園*=1.8 八代市新地町*=1.8 産山村山鹿*=1.8 菊池市隈府*=1.7 熊本東区佐土原*=1.7 熊本美里町永富*=1.7 八代市鏡町*=1.7 宇城市不知火町*=1.7 天草市五和町*=1.7 山鹿市鹿本町*=1.7 山都町大平*=1.6 長洲町長洲*=1.6 和水町江田*=1.6 阿蘇市一の宮町*=1.6 山鹿市老人福祉センター*=1.6 山鹿市鹿央町*=1.6 宇城市三角町*=1.6 あさぎり町深田*=1.6 水俣市牧ノ内*=1.5 上天草市大矢野町=1.5				
		1 南阿蘇村中松=1.4 山都町今*=1.4 熊本中央区大江*=1.4 五木村甲*=1.3 上天草市松島町*=1.2 熊本小国町宮原*=1.1 山都町浜町*=1.1 八代市泉町=1.0 玉名市中尾*=1.0 天草市天草町*=0.9				
鳥取県		2 境港市竹内町*=1.6				
		1 境港市東本町=1.3 湯梨浜町久留*=0.9 鳥取市福部町細川*=0.7				
島根県		2 出雲市平田町*=1.5				
		1 大田市仁摩町仁万*=1.0 出雲市今市町=0.8				
広島県		2 呉市広*=1.6				
		1 府中町大通り*=1.3 竹原市中央*=1.1 広島南区宇品海岸*=1.0 江田島市能美町*=0.9 呉市宝町=0.7				
福岡県		2 柳川市本町*=2.1 大川市酒見*=2.0 うきは市吉井町*=1.9 筑前町篠隈*=1.9 大木町八町牟田*=1.9 久留米市城島町*=1.8 柳川市三橋町*=1.8 久留米市津福本町=1.8 うきは市浮羽町*=1.7 久留米市北野町*=1.7 久留米市主丸町*=1.6 みやま市瀬高町*=1.6 柳川市大和町*=1.6				
		1 みやま市高田町*=1.4 中間市長津*=1.3 筑前町下高場=1.1 八女市吉田*=0.7				
長崎県		2 南島原市有家町*=1.6 南島原市西有家町*=1.6 南島原市口之津町*=1.5 南島原市布津町*=1.5 南島原市加津佐町*=1.5				

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		大分県 1 雲仙市千々石町※=1.1 雲仙市小浜町雲仙=0.8 2 大分市舞鶴町※=2.3 竹田市荻町※=2.2 臼杵市臼杵※=2.1 竹田市直入町※=2.0 佐伯市春日町※=1.9 姫島村役場※=1.8 大分市新春日町※=1.8 由布市湯布院町川上※=1.8 佐伯市蒲江蒲江浦=1.7 佐伯市上浦※=1.7 竹田市竹田小学校※=1.6 竹田市久住町※=1.6 竹田市会々※=1.6 大分市明野北=1.5 1 国東市国見町伊美※=1.4 津久見市宮本町※=1.4 佐伯市米水津※=1.4 豊後大野市大野町※=1.4 竹田市直入小学校※=1.4 佐伯市役所※=1.3 由布市庄内町※=1.3 別府市天間=1.2 豊後大野市清川町※=1.2 日田市三本松=1.1 豊後大野市三重町=1.1 豊後大野市緒方町※=1.1 佐伯市弥生※=1.0 別府市鶴見=0.9 臼杵市乙見=0.8 国東市鶴川=0.7 愛媛県 1 伊方町湊浦※=1.4 松山市富久町※=1.1 伊予市下吾川※=1.0 宇和島市住吉町=0.8 高知県 1 宿毛市桜町※=0.7 山口県 1 柳井市南町※=1.4 山口市阿東徳佐※=1.2 岩国市今津=0.9				
14	2 23 13	大隅半島東方沖 宮崎県 1 日南市南郷町南町※=0.6 鹿児島県 1 錦江町田代支所※=0.5	31° 06.5′ N	131° 35.1′ E	29km	M: 3.9
15	3 06 42	大隅半島東方沖 宮崎県 2 日南市南郷町南町※=1.9 串間市役所※=1.9 1 日南市吾田東※=1.4 都城市菖蒲原=1.1 日南市中央通※=1.0 宮崎市松橋※=1.0 日南市油津=0.8 都城市山之口町花木※=0.8 串間市奈留=0.7 小林市真方=0.6 鹿児島県 2 鹿屋市新栄町=1.7 鹿屋市札元※=1.6 錦江町田代支所※=1.6 1 志布志市志布志町志布志=1.4 肝付町新富※=1.3 大崎町仮宿※=1.3 鹿屋市串良町岡崎※=1.2 錦江町城元※=1.1 南大隅町根占※=1.1 鹿屋市吾平町麓※=1.1 肝付町北方※=1.0 錦江町田代麓=1.0 指宿市山川新生町=0.9 鹿児島市東郡元=0.8 鹿児島市喜入町※=0.8 霧島市福山町牧之原※=0.7 志布志市有明町野井倉※=0.7 垂水市田神※=0.6 曾於市大隅町中之内※=0.6	31° 06.7′ N	131° 31.5′ E	30km	M: 4.4
16	3 11 50	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂※=0.8 高知県 1 宿毛市桜町※=0.7	33° 13.0′ N	132° 23.0′ E	37km	M: 2.8
17	3 14 17	青森県東方沖 青森県 1 八戸市湊町=0.6	40° 58.4′ N	142° 00.4′ E	58km	M: 2.9
18	4 04 48	和歌山県北部 和歌山県 2 有田川町下津野※=1.9 1 湯浅町青木※=1.4 海南市下津※=1.1 有田市初島町※=1.0 有田市箕島=0.9	34° 04.6′ N	135° 11.8′ E	6km	M: 2.5
19	4 19 46	佐渡付近 新潟県 2 佐渡市河原田本町※=1.8 1 佐渡市相川栄町※=1.1 佐渡市相川三町目=0.9 佐渡市千種※=0.7	38° 06.6′ N	138° 15.5′ E	16km	M: 3.3
20	4 19 52	山梨県中・西部 山梨県 1 早川町葉袋※=0.8 山梨北杜市長坂町※=0.7 富士川町鯉沢※=0.7 身延町役場※=0.6	35° 34.4′ N	138° 15.1′ E	15km	M: 3.0
21	5 04 15	北海道南西沖 北海道 4 福島町福島※=3.7 2 渡島松前町福山=2.3 渡島松前町清部=2.0 函館市泊町※=1.7 知内町重内※=1.6 1 知内町小谷石=1.4 木古内町木古内※=1.4 上ノ国町小砂子※=1.4 函館市川汲町※=1.3 乙部町緑町※=1.3 上ノ国町大留※=1.1 檜山江差町姥神=0.9 七飯町本町※=0.9 檜山江差町中歌町※=0.8 八雲町熊石雲石町※=0.8 上ノ国町湯ノ岱※=0.7 七飯町桜町=0.7 函館市大森町※=0.6 青森県 2 外ヶ浜町三厩※=1.5 1 今別町今別※=1.3 佐井村長後※=1.2 中泊町小泊※=0.8 むつ市川内町※=0.8 外ヶ浜町蟹田※=0.6 むつ市脇野沢※=0.6 東通村砂子又沢内※=0.5 風間浦村易国間※=0.5 外ヶ浜町平館※=0.5 佐井村佐井※=0.5	41° 18.2′ N	140° 09.2′ E	10km	M: 4.1
22	5 06 12	青森県東方沖 青森県 3 八戸市湊町=2.9 2 八戸市内丸※=2.0 青森南部町苔米地※=1.5 1 階上町道仏※=1.4 野辺地町野辺地※=1.2 五戸町古館=1.1 七戸町森ノ上※=1.0 東北町上北南※=1.0 八戸市南郷※=1.0 平内町小湊=0.9 三沢市桜町※=0.8 五戸町倉石中市※=0.8 平内町東田沢※=0.8 東通村砂子又沢内※=0.8 東北町塔ノ沢山※=0.8 六ヶ所村尾駁=0.8 青森南部町平※=0.7 三戸町在府小路町※=0.7 横浜町林ノ脇※=0.6 おひらせ町中下田※=0.6 東通村白糠※=0.6 十和田市奥瀬※=0.6 むつ市金曲=0.5 七戸町七戸※=0.5 北海道 1 函館市泊町※=0.7 岩手県 1 久慈市枝成沢=1.3 軽米町軽米※=1.2 二戸市浄法寺町※=0.8 岩手洋野町種市=0.7 八幡平市田頭※=0.6	40° 58.8′ N	141° 59.9′ E	59km	M: 4.2
23	5 12 26	岩手県沖 岩手県 1 大槌町上町※=1.2 釜石市只越町=1.1 大船渡市大船渡町=1.0 釜石市中妻町※=0.9 大船渡市猪川町=0.9 住田町世田米※=0.6 陸前高田市高田町※=0.6	39° 06.3′ N	142° 07.4′ E	44km	M: 3.5

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
24	5 18 42	有明海 熊本県 2 玉名市天水町※=1.8 玉名市横島町※=1.5 1 熊本南区富合町※=1.2 宇土市浦田町※=1.1 玉東町木葉※=1.0 宇城市松橋町=1.0 宇城市三角町※=1.0 宇城市不知火町※=1.0 山鹿市鹿央町※=0.9 熊本北区植木町※=0.9 熊本西区春日=0.8 上天草市大矢野町=0.8 荒尾市宮内出目※=0.7 熊本南区城南町※=0.6 玉名市岱明町※=0.6 上天草市松島町※=0.6 八代市新地町※=0.5 玉名市中尾※=0.5 熊本美里町永富※=0.5 福岡県 1 大牟田市昭和町※=0.9 みやま市高田町※=0.6 長崎県 1 南島原市深江町※=1.0 島原市有明町※=0.8 雲仙市国見町=0.7	32° 46.8' N	130° 31.0' E	11km	M: 3.4
25	6 02 20	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町※=0.7 青森県 1 五戸町古館=0.7 平内町小湊=0.5	41° 00.3' N	143° 07.9' E	23km	M: 4.2
26	6 02 25	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町※=0.5 青森県 1 平内町小湊=0.5 五戸町古館=0.5	41° 00.4' N	143° 07.2' E	23km	M: 4.2
27	6 15 05	長野県南部 長野県 2 長野高森町下市田※=1.6 1 飯田市上郷黒田※=1.3 豊丘村神稲※=1.0 木曽町開田高原西野※=1.0 木曽町新開※=0.9 大桑村長野※=0.9 飯田市高羽町=0.8 南木曽町読書小学校※=0.6 松川町元大島※=0.6 中川村大草※=0.6 大鹿村大河原※=0.6 木曽町三岳※=0.6 木曽町福島※=0.5 山梨県 1 山梨北杜市長坂町※=0.8	35° 40.7' N	137° 46.7' E	11km	M: 3.4
28	6 17 14	静岡県中部 山梨県 1 山梨南部町栄小学校※=0.8 身延町役場※=0.7 静岡県 1 富士宮市野中※=1.2 静岡葵区梅ヶ島※=1.0 富士市大淵※=0.9	35° 16.9' N	138° 20.5' E	26km	M: 3.0
29	7 09 52	千葉県東方沖 茨城県 3 神栖市波崎※=2.6 茨城鹿嶋市鉢形=2.5 潮来市辻※=2.5 2 神栖市溝口※=2.3 茨城鹿嶋市宮中※=2.1 稲敷市結佐※=2.0 行方市麻生※=1.9 潮来市堀之内=1.8 稲敷市須賀津※=1.8 稲敷市江戸崎甲※=1.7 小美玉市上玉里※=1.5 土浦市常名=1.5 鉾田市鉾田=1.5 鉾田市汲上※=1.5 石岡市柿岡=1.5 小美玉市堅倉※=1.5 1 大洗町磯浜町※=1.4 小美玉市小川※=1.4 筑西市舟生=1.4 鉾田市造谷※=1.4 常総市水海道諏訪町※=1.4 土浦市藤沢※=1.3 石岡市若宮※=1.3 ひたちなか市南神敷台※=1.3 桜川市真壁※=1.3 茨城町小堤※=1.3 常総市新石下※=1.3 美浦村受領※=1.2 稲敷市伊佐津※=1.2 石岡市石岡※=1.2 行方市玉造※=1.1 行方市山田※=1.1 石岡市八郷※=1.1 笠間市石井※=1.1 つくば市天王台※=1.1 かすみがうら市上土田※=1.1 土浦市田中※=1.0 つくばみらい市加藤※=1.0 阿見町中央※=1.0 那珂市福田※=1.0 龍ヶ崎市役所※=1.0 水戸市栗崎町※=1.0 東海村東海※=0.9 かすみがうら市大和田※=0.9 つくば市研究学園※=0.9 稲敷市役所※=0.9 つくば市小荊※=0.9 桜川市岩瀬※=0.9 取手市寺田※=0.8 日立市助川小学校※=0.8 水戸市金町=0.8 桜川市羽田※=0.8 笠間市下郷※=0.7 守谷市大柏※=0.7 ひたちなか市東石川※=0.7 城里町石塚※=0.6 笠間市笠間※=0.6 筑西市門井※=0.6 ひたちなか市山ノ上町=0.5 利根町布川=0.5 坂東市岩井=0.5 千葉県 3 銚子市小畑新町=2.9 旭市南堀之内※=2.5 香取市役所※=2.5 2 旭市高生※=2.4 旭市萩園※=2.4 銚子市川口町=2.3 旭市二※=2.2 香取市佐原諏訪台※=2.2 香取市仁良※=2.2 多古町多古=2.1 銚子市若宮町※=2.1 香取市佐原平田=2.0 東庄町笹川※=1.9 香取市羽根川※=1.9 匝瑳市八日市場ハ※=1.9 成田市松子※=1.8 山武市松尾町富士見台=1.7 千葉若葉区小倉台※=1.6 成田市役所※=1.6 香取市岩部※=1.6 東金市日吉台※=1.5 横芝光町栗山※=1.5 山武市埴谷※=1.5 山武市蓮沼ハ※=1.5 芝山町小池※=1.5 成田国際空港=1.5 成田市中台※=1.5 匝瑳市今泉※=1.5 八街市八街※=1.5 1 九十九里町片貝※=1.4 横芝光町宮川※=1.4 山武市蓮沼ニ※=1.4 千葉佐倉市海隣寺町※=1.4 富里市七栄※=1.4 神崎町神崎本宿※=1.3 山武市殿台※=1.3 山武市松尾町五反田※=1.3 成田市名古屋=1.3 印西市笠神※=1.3 千葉花見川区花島町※=1.2 千葉美浜区ひび野=1.2 東金市東新宿=1.2 千葉中央区中央港=1.1 東金市東岩崎※=1.1 野田市鶴奉※=1.1 四街道市鹿渡※=1.1 長南町総合グラウンド=1.0 八千代市大和田新田※=1.0 印西市大森※=1.0 印西市美瀬※=1.0 栄町安食台※=1.0 大網白里市大網※=0.9 千葉稲毛区園生町※=0.9 白井市復※=0.9 千葉美浜区稲毛海岸※=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷※=0.8 千葉緑区おゆみ野※=0.8 酒々井町中央台※=0.8 習志野市鷺沼※=0.8 成田市猿山※=0.7 一宮町一宮=0.7 柏市旭町=0.7 君津市久留里市場※=0.7 浦安市日の出=0.6 栃木県 1 真岡市田町※=0.8 埼玉県 1 宮代町笠原※=0.8 春日部市谷原新田※=0.7 春日部市金崎※=0.6 春日部市粕壁※=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=0.5	35° 50.2' N	140° 53.6' E	32km	M: 4.8
30	7 11 26	福島県中通り 福島県 2 浅川町浅川※=1.6 1 棚倉町棚倉中居野=1.0 白河市新白河※=0.9 古殿町松川新桑原※=0.7 田村市船引町=0.6	37° 02.6' N	140° 32.1' E	9km	M: 3.3
31	7 12 08	岩手県内陸南部 岩手県 1 奥州市衣川※=1.3 奥州市胆沢※=0.8 宮城県 1 栗原市栗駒=0.8 秋田県 1 東成瀬村椿川※=0.8	39° 03.3' N	140° 52.8' E	8km	M: 3.5

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
32	8 00 39	石川県能登地方 石川県 1 志賀町香能*0.6 志賀町富来領家町=0.5	37° 12.6' N	136° 43.4' E	9km	M: 3.0
33	8 09 08	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 水俣市陣内*=1.7 1 水俣市牧ノ内*=0.7 鹿児島県 1 伊佐市大口山野=0.5	32° 09.5' N	130° 25.9' E	7km	M: 2.4
34	8 13 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内*=0.5	32° 09.5' N	130° 25.7' E	8km	M: 2.2
35	8 19 26	愛知県西部 愛知県 3 豊田市保見町*=3.1 知多市緑町*=3.0 東海市加木屋町*=2.7 阿久比町卯坂*=2.7 愛西市石田町*=2.7 愛知みよし市三好町*=2.7 東郷町春木*=2.5 大府市中央町*=2.5 2 豊田市大洞町=2.4 常滑市飛香台=2.4 一宮市千秋=2.3 豊田市畛部西町*=2.3 豊田市長興寺*=2.3 豊田市足助町*=2.3 東浦町緒川*=2.3 名古屋瑞穂区塩入町*=2.3 豊田市大沼町*=2.2 田原市赤羽根町*=2.2 名古屋港区金城ふ頭*=2.2 刈谷市寿町*=2.2 愛西市稲葉町=2.2 愛西市諏訪町*=2.2 新城市作手高里松風呂*=2.2 豊橋市向山=2.1 豊明市沓掛町*=2.1 愛知美浜町河和*=2.1 豊田市小原町*=2.1 安城市和泉町*=2.1 名古屋緑区有松町*=2.0 名古屋西区八筋町*=2.0 一宮市西五城*=2.0 半田市東洋町*=2.0 名古屋昭和区阿由知通*=2.0 知立市弘法*=2.0 名古屋北区萩野通*=2.0 稲沢市祖父江町*=1.9 岩倉市川井町*=1.9 豊田市小坂町*=1.9 名古屋名東区名東本町*=1.9 田原市福江町=1.9 一宮市木曾川町*=1.9 新城市作手清岳=1.9 愛知津島市埋田町*=1.9 安城市横山町*=1.9 西尾市矢曾根町*=1.9 名古屋港区善進本町*=1.9 稲沢市平和町*=1.9 稲沢市稲府町*=1.9 南知多町豊浜=1.8 名古屋熱田区一番*=1.8 あま市木田*=1.8 豊川市御津町*=1.8 西尾市吉良町*=1.8 新城市作手高里縄手上*=1.8 新城市東入船*=1.8 名古屋千種区日和町=1.8 名古屋中区県庁*=1.8 小牧市安田町*=1.7 清須市春日振形*=1.7 清須市清洲*=1.7 北名古屋市井瀬木*=1.7 弥富市前ヶ須町*=1.7 西尾市一色町=1.7 中部国際空港=1.6 豊田市小坂本町=1.6 豊根村下黒川*=1.6 豊田市藤岡飯野町*=1.6 豊田市駒場町*=1.6 名古屋守山区西新*=1.6 蟹江町蟹江本町*=1.6 飛島村竹之郷*=1.6 豊田市小渡町*=1.6 愛西市江西町*=1.6 名古屋中村区大宮町*=1.6 清須市西枇杷島町住吉*=1.6 西尾市西幡豆町*=1.6 弥富市神戸*=1.6 あま市七宝町*=1.6 名古屋守山区下志段味*=1.5 名古屋天白区島田*=1.5 岡崎市若宮町=1.5 瀬戸市追分町*=1.5 名古屋東区筒井*=1.5 長久手市岩作城の内*=1.5 尾張旭市東大道町*=1.5 豊川市赤坂町*=1.5 日進市蟹甲町*=1.5 蒲郡市御幸町*=1.5 1 名古屋中区市役所*=1.4 名古屋中川区東春田*=1.4 名古屋港区春田野*=1.4 碧南市松本町*=1.4 清須市須ヶ口*=1.4 豊川市一宮町*=1.3 蒲郡市水竹町*=1.3 新城市大野*=1.3 田原市古田町*=1.3 扶桑町高雄*=1.3 大治町馬島*=1.3 幸田町菱池*=1.3 大山市五郎丸*=1.2 豊橋市東松山町*=1.2 豊山町豊場*=1.1 武豊町長尾山*=1.1 豊川市小坂井町*=1.1 新城市乗本=1.1 設楽町田口*=1.1 設楽町津具*=1.0 大口町下小口*=1.0 春日井市鳥居松町*=0.9 愛知江南市赤童子町*=0.9 豊田市稲武町*=0.8 新城市長篠*=0.8 田原市石神町=0.6 2 根羽村役場*=2.1 王滝村鈴ヶ沢*=2.1 売木村役場*=2.0 王滝村役場*=1.8 長野高森町下市田*=1.8 天龍村平岡*=1.8 飯田市高羽町=1.8 中川村大草*=1.7 飯田市上郷黒田*=1.6 平谷村役場*=1.6 阿智村清内路*=1.5 下條村睦沢*=1.5 木曾町三岳*=1.5 泰阜村役場*=1.5 1 阿智村浪合*=1.4 南木曾町読書小学校*=1.4 大桑村長野*=1.4 木曾町開田高原西野*=1.4 南木曾町役場*=1.3 大鹿村大河原*=1.3 天龍村清水*=1.2 茅野市葛井公園*=1.2 飯田市大久保町*=1.1 飯田市南信濃*=1.1 阿南町東條*=1.1 木曾町新開*=1.1 阿智村駒場*=1.1 上松町役場*=1.1 木曾町日義*=1.0 駒ヶ根市赤須町*=1.0 飯田市上村*=0.9 飯島町飯島=0.9 木曾町福島*=0.9 塩尻市櫛川保育園*=0.9 喬木村役場*=0.8 南箕輪村役場*=0.8 豊丘村神稲*=0.7 下諏訪町役場*=0.7 伊那市高遠町荊口=0.6 長野南牧村海ノ口*=0.6 諏訪市湖岸通り=0.6 辰野町中央=0.5 岐阜県 2 恵那市山岡町*=2.2 恵那市明智町*=2.1 恵那市上矢作町*=2.1 海津市海津町*=1.9 羽島市竹鼻町*=1.9 岐阜南町八剣*=1.8 瑞穂市別府*=1.8 中津川市本町*=1.8 土岐市泉町*=1.7 岐阜市柳津町*=1.7 大垣市丸の内*=1.7 海津市平田町*=1.7 中津川市坂下*=1.6 瑞穂市宮田*=1.6 養老町高田*=1.6 輪之内町四郷*=1.6 大野町大野*=1.6 岐阜池田町六之井*=1.6 笠松町司町*=1.5 土岐市肥田*=1.5 岐阜市加納二之丸=1.5 瑞浪市上平町*=1.5 大垣市墨俣町*=1.5 各務原市川島河田町*=1.5 1 中津川市福岡*=1.4 中津川市山口*=1.4 美濃加茂市太田町=1.4 川辺町中川辺*=1.4 八百津町八百津*=1.4 中津川市かやの木町=1.3 中津川市付知町*=1.3 可児市広見*=1.3 多治見市笠原町*=1.3 岐阜市京町*=1.3 関ヶ原町関ヶ原*=1.3 安八町氷取*=1.3 郡上市八幡町旭*=1.3 各務原市那加桜町*=1.2 下呂市金山町*=1.2 本巢市下真桑*=1.2 岐阜山県市高富*=1.1 恵那市串原*=1.1 大垣市上石津町*=1.1 中津川市下子母*=1.1 神戸町神戸*=1.1 揖斐川町東津汲*=1.0 恵那市長島町*=1.0 海津市南濃町*=1.0 中津川市川上*=1.0 揖斐川町東杉原*=1.0 揖斐川町三輪=0.9 美濃加茂市西町*=0.9 揖斐川町春日*=0.9 岐阜山県市大門*=0.9 富加町滝田*=0.9 郡上市和良町*=0.9 下呂市小坂町*=0.9 下呂市馬瀬*=0.9 揖斐川町中籠橋*=0.8 揖斐川町谷汲*=0.8 白川町河岐*=0.8 御嵩町御嵩*=0.8 北方町北方*=0.8 関市板取*=0.8 本巢市早野*=0.8 関市中之保*=0.8 関市上之保*=0.8 下呂市萩原町*=0.8 恵那市長島小学校*=0.8 白川町黒川=0.8 垂井町役場*=0.7 本巢市文殊*=0.7 高山市一之宮町*=0.7 関市若草通り*=0.7 坂祝町取組*=0.6 関市洞戸市場*=0.6 多治見市三笠町*=0.6 本巢市根尾*=0.6 東白川村神土*=0.6 中津川市小栗山*=0.6 郡上市明宝*=0.6 美濃市役所*=0.5 郡上市八幡町島谷=0.5 揖斐川町西横山*=0.5 揖斐川町坂内*=0.5 中津川市蛭川*=0.5 高山市上宝町本郷*=0.5 下呂市下呂小学校*=0.5 静岡県 2 浜松中央区雄踏*=2.3 浜松天竜区佐久間町*=2.3 湖西市吉美*=2.2 湖西市新居町浜名*=2.1 浜松浜名区三ヶ日町=1.8 磐田市福田*=1.8 浜松中央区舞阪町*=1.7 浜松天竜区春野町*=1.7	34° 55.9' N	137° 06.2' E	36km	M: 4.6

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		磐田市下野部*=1.6 袋井市浅名*=1.5 浜松中央区元城町*=1.5 浜松天竜区二俣町鹿島*=1.5 浜松天竜区水窪町*=1.5 1 磐田市岡*=1.4 浜松浜名区西美茵*=1.3 牧之原市静波*=1.2 浜松中央区高丘東=1.2 浜松中央区三組町*=1.2 浜松中央区流通元町*=1.2 浜松中央区江之島町*=1.2 掛川市長谷*=1.1 静岡菊川市赤土*=1.1 浜松天竜区龍山町*=1.0 牧之原市鬼女新田=1.0 浜松浜名区滝沢町=0.9 袋井市新屋=0.9 御前崎市池新田*=0.9 静岡菊川市堀之内*=0.8 静岡葵区梅ヶ島*=0.8 川根本町東藤川*=0.8 掛川市三俣*=0.8 静岡森町森*=0.8 磐田市見付*=0.6 磐田市国府台*=0.6 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6 2 鈴鹿市西条=2.4 桑名市多度町多度*=2.2 東員町山田*=2.2 玉城町田丸*=2.2 四日市市楠町北五味塚*=2.0 いなべ市員弁町笠田新田*=2.0 いなべ市大安町丹生川久下*=2.0 四日市市諏訪町*=1.9 鈴鹿市神戸*=1.9 いなべ市北勢町阿下喜*=1.9 松阪市上川町=1.9 伊勢市二見町茶屋*=1.9 桑名市中央町*=1.8 松阪市曾原町*=1.8 伊勢市楠部町*=1.8 伊勢市御園町長屋*=1.8 桑名市長島町松ヶ島*=1.7 木曽岬町西対海地*=1.7 いなべ市藤原町市場*=1.7 津市香良洲町*=1.7 伊勢市小俣町元町*=1.7 四日市市新浜町*=1.6 菰野町潤田*=1.6 三重朝日町小向*=1.6 津市島崎町=1.6 松阪市魚町*=1.6 多気町相可*=1.6 川越町豊田一色*=1.5 亀山市本丸町*=1.5 津市芸濃町棕本*=1.5 津市安濃町東観音寺*=1.5 松阪市殿町*=1.5 1 亀山市椿世町*=1.4 津市西丸之内*=1.4 津市久居明神町*=1.4 四日市市日永=1.3 津市河芸町浜田*=1.3 津市美杉町八知*=1.3 松阪市嬉野町*=1.3 三重明和町馬之上*=1.3 三重紀北町相賀*=1.3 三重紀北町東長島*=1.3 伊勢市岩淵*=1.3 津市美里町三郷*=1.2 津市白山町川口*=1.2 伊勢市矢持町=1.2 亀山市関町木崎*=1.2 伊賀市平田*=1.1 津市一志町田尻*=1.1 松阪市飯高町宮前*=1.0 鳥羽市鳥羽*=1.0 志摩市浜島町浜島*=1.0 名張市鴻之台*=0.9 伊賀市島ヶ原*=0.9 伊賀市四十九町*=0.9 三重大紀町滝原*=0.9 志摩市阿児町鶴方*=0.9 伊賀市馬場*=0.8 熊野市紀和町板屋*=0.8 三重大紀町錦*=0.8 度会町棚橋*=0.8 津市片田薬王寺町=0.8 志摩市志摩町布施田*=0.7 志摩市磯部町迫間*=0.7 大台町江馬*=0.7 尾鷲市南浦*=0.7 三重大紀町大内山*=0.7 南伊勢町神前浦*=0.7 南伊勢町五ヶ所浦*=0.6 志摩市志摩町越賀=0.6 多気町朝柄*=0.6 伊賀市緑ヶ丘本町=0.6 伊賀市阿保*=0.6 伊賀市下柘植*=0.5 志摩市大王町波切*=0.5 尾鷲市南陽町=0.5 大台町佐原*=0.5 松阪市飯南町粥見*=0.5 滋賀県 2 彦根市西今町*=1.7 近江八幡市桜宮町=1.7 彦根市城町=1.6 米原市長岡*=1.6 米原市米原*=1.6 東近江市市子川原町*=1.6 豊郷町石畑*=1.5 多賀町多賀*=1.5 甲賀市信楽町*=1.5 1 高島市勝野*=1.4 竜王町小口*=1.4 東近江市君ヶ畑町=1.4 高島市今津町日置前*=1.3 近江八幡市出町*=1.3 近江八幡市安土町下豊浦*=1.3 長浜市西浅井町大浦*=1.2 米原市春照*=1.2 米原市顔戸*=1.2 愛荘町安孫子*=1.2 大津市南郷*=1.2 東近江市上二俣町*=1.2 東近江市池庄町*=1.2 東近江市鉢光寺町*=1.2 長浜市難波町*=1.1 愛荘町愛知川*=1.1 湖南市中央森北公園*=1.1 湖南市石部中央西庁舎*=1.1 東近江市山上町*=1.1 大津市南小松=1.0 滋賀日野町河原*=1.0 野洲市西河原*=1.0 東近江市八日市緑町*=1.0 長浜市八幡東町*=1.0 東近江市妹町*=1.0 東近江市五個荘小幡町*=1.0 甲良町在土*=1.0 草津市草津*=0.9 湖南市中央東庁舎*=0.9 高島市マキノ町*=0.9 高島市今津町弘川*=0.9 栗東市安養寺*=0.8 甲賀市甲賀町大久保*=0.8 大津市国分*=0.7 長浜市湖北町速水*=0.7 長浜市宮部町*=0.7 甲賀市水口町=0.7 長浜市余呉町中之郷*=0.6 甲賀市土山町*=0.6 高島市安曇川町*=0.6 福井県 1 福井若狭町中央*=1.3 越前市粟田部*=1.3 福井市豊島=1.2 敦賀市松栄町=1.2 越前町西田中*=1.2 福井美浜町郷市*=1.1 鯖江市水落町*=1.0 高浜町宮崎=1.0 福井坂井市春江町随忘寺*=0.9 越前市村国*=0.9 越前町江波*=0.9 福井美浜町新庄=0.8 福井若狭町市場*=0.8 福井池田町稲荷*=0.8 越前町織田*=0.7 福井坂井市坂井町下新庄*=0.7 福井市原目町*=0.7 福井坂井市三国町中央*=0.6 あわら市国影*=0.6 福井おおい町本郷*=0.6 小浜市四谷町*=0.6 あわら市市姫*=0.5 福井市蒲生町*=0.5 越前市高瀬=0.5 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*=1.1 富士川町鯉沢*=1.1 富士河口湖町長浜*=0.7 甲斐市下今井*=0.7 甲府市飯田=0.5 京都府 1 宇治田原町立川*=1.1 京都伏見区醍醐*=1.0 京田辺市田辺*=1.0 和束町釜塚*=0.9 精華町南稻八妻*=0.8 宇治市宇治琵琶=0.7 城陽市寺田*=0.7 八幡市八幡*=0.7 久御山町田井*=0.7 井手町井手*=0.7 宇治市折居台*=0.6 南山城村北大河原*=0.6 木津川市加茂町里*=0.6 木津川市山城町上狛*=0.5 与謝野町四辻*=0.5 大阪府 1 四條畷市西中野*=0.9 寝屋川市本町*=0.5 奈良県 1 高取町観音寺*=1.3 宇陀市大宇陀迫間*=1.2 山添村大西*=1.1 宇陀市菟田野松井*=1.1 曾爾村今井*=1.0 奈良市西紀寺町=0.8 奈良川西町結崎*=0.8 明日香村橋*=0.8 奈良市二条大路南*=0.7 桜井市初瀬=0.7 御杖村菅野*=0.7 天川村洞川=0.7 奈良市月ヶ瀬尾山*=0.6 奈良市都祁白石町*=0.6 大和郡山市北郡山町*=0.6 天理市川原城町*=0.6 広陵町南郷*=0.6 御所市役所*=0.5 平群町吉新*=0.5 宇陀市榛原下井足*=0.5				
36	9 00 26	与那国島近海 沖縄県 3 石垣市平久保=3.0 竹富町上原小学校=2.9 2 石垣市登野城=2.4 石垣市新栄町*=2.4 竹富町大原=2.3 竹富町黒島=2.3 与那国町久部良=2.2 石垣市真栄里*=2.0 竹富町波照間=2.0 与那国町役場*=1.9 石垣市新川=1.9 与那国町祖納=1.5 石垣市伊原間*=1.5 1 多良間村塩川=1.2 宮古島市下地*=1.0 宮古島市上野支所*=1.0 宮古島市平良狩俣*=0.9 宮古島市城辺福北=0.9 宮古島市伊良部前里添=0.9 宮古島市平良池間=0.8 宮古島市平良下里=0.5 宮古島市城辺福西*=0.5	24° 47.6' N	123° 05.4' E	119km	M: 5.4
37	9 04 40	千葉県東方沖 茨城県 千葉県 1 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 茨城鹿嶋市宮中*=0.7 潮来市辻*=0.6 神栖市波崎*=0.6 1 銚子市小畑新町=0.5	35° 51.2' N	140° 55.3' E	30km	M: 3.3

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
38	9 05 46	茨城県沖 茨城県 1 東海村東海※=0.6	36° 25.8' N	141° 01.3' E	36km	M: 3.3
39	9 06 10	能登半島沖 石川県 1 志賀町香能※=0.9	37° 06.5' N	136° 38.5' E	11km	M: 2.9
40	9 09 10	岩手県沖 岩手県 1 釜石市中妻町※=1.3 大船渡市大船渡町=1.2 大槌町上町※=0.9 釜石市只越町=0.8 一関市藤沢町※=0.8 一関市室根町※=0.7 遠野市青笹町※=0.5 一関市千厩町※=0.5 大船渡市猪川町=0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町※=0.8 気仙沼市赤岩=0.7 気仙沼市笹が陣※=0.5	39° 02.8' N	142° 24.1' E	47km	M: 3.9
41	9 15 21	小笠原諸島西方沖 東京都 1 小笠原村母島=1.0	27° 59.0' N	139° 54.7' E	513km	M: 4.7
42	9 22 05	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能※=1.3	36° 59.8' N	136° 24.7' E	12km	M: 3.6
43	10 08 33	岩手県沿岸南部 岩手県 3 一関市藤沢町※=2.8 2 釜石市中妻町※=2.1 大槌町上町※=1.8 一関市千厩町※=1.8 一関市東山町※=1.8 花巻市東和町※=1.6 山田町大沢※=1.6 釜石市只越町=1.6 奥州市胆沢※=1.6 盛岡市薮川※=1.6 宮古市区界※=1.5 一関市室根町※=1.5 1 住田町世田米※=1.4 北上市相去町※=1.4 奥州市江刺※=1.4 奥州市前沢※=1.4 宮古市田老※=1.3 一関市花泉町※=1.3 平泉町平泉※=1.3 盛岡市洪民※=1.3 八幡平市田頭※=1.3 花巻市大迫町=1.3 奥州市衣川※=1.2 山田町八幡町=1.2 奥州市水沢大鐘町=1.2 遠野市青笹町※=1.2 大船渡市猪川町=1.2 北上市柳原町=1.1 宮古市鯨ヶ崎=1.1 一関市大東町=1.1 花巻市大迫総合支所※=1.1 宮古市茂市※=1.0 矢巾町南矢幅※=1.0 遠野市宮守町※=1.0 久慈市枝成沢=1.0 花巻市石鳥谷町※=1.0 金ヶ崎町西根※=1.0 盛岡市山王町=1.0 花巻市材木町※=1.0 宮古市川井※=0.9 奥州市水沢佐倉河※=0.9 八幡平市野駄※=0.9 普代村銅屋※=0.9 二戸市浄法寺町※=0.9 西和賀町沢内太田※=0.9 岩泉町岩泉※=0.8 陸前高田市高田町※=0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 八幡平市大更=0.8 宮古市五月町※=0.8 大船渡市大船渡町=0.8 盛岡市馬場町※=0.8 軽米町軽米※=0.7 岩手町五日市※=0.7 宮古市長沢=0.7 田野畑村田野畑=0.5 西和賀町沢内川井※=0.5 一関市川崎町※=0.5 宮城県 2 栗原市若柳※=1.7 栗原市一迫※=1.5 登米市東和町※=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 涌谷町新町裏=1.3 登米市豊里町※=1.3 石巻市桃生町※=1.3 栗原市栗駒=1.2 気仙沼市笹が陣※=1.1 南三陸町歌津※=1.1 登米市中田町=1.0 登米市迫町※=1.0 大崎市古川大崎=1.0 大崎市田尻※=1.0 栗原市志波姫※=0.9 栗原市金成※=0.9 登米市登米町※=0.9 登米市南方町※=0.9 登米市山田町※=0.9 気仙沼市唐桑町※=0.9 色麻町四蔵※=0.9 栗原市瀬峰※=0.8 宮城美里町木間塚※=0.8 大崎市古川旭※=0.8 石巻市北上町※=0.8 栗原市築館※=0.7 石巻市前谷地※=0.7 栗原市高清水※=0.7 石巻市大街道南※=0.6 大崎市古川三日町=0.6 登米市石越町※=0.6 登米市津山町※=0.6 南三陸町志津川=0.5 石巻市泉町=0.5 気仙沼市本吉町西川内=0.5 大崎市鳴子※=0.5 青森県 1 階上町道仏※=1.1 青森南部町苦米地※=1.0 八戸市湊町=0.9 三戸町在府小路町※=0.7 八戸市南郷※=0.7 八戸市内丸※=0.6 五戸町古館=0.5 秋田県 1 大仙市北長野※=0.7 大仙市刈和野※=0.6	39° 07.8' N	141° 50.8' E	63km	M: 4.4
44	10 10 13	福島県沖 福島県 2 川内村下川内=2.4 いわき市錦町※=2.3 白河市新白河※=2.3 川内村上川内早渡※=2.3 富岡町本岡※=2.1 いわき市三和町=2.0 小野町小野新町※=1.9 檜葉町北田※=1.9 川内村上川内小山平※=1.9 泉崎村泉崎※=1.8 田村市都路町※=1.8 大熊町大川原※=1.8 田村市滝根町※=1.8 矢祭町戸塚※=1.8 矢祭町東館※=1.7 田村市大越町※=1.7 福島広野町下北迫大谷地原※=1.7 玉川村小高※=1.7 浅川町浅川※=1.7 白河市郭内=1.6 棚倉町棚倉中居野=1.6 石川町長久保※=1.6 天栄村下松本※=1.5 いわき市平四ツ波※=1.5 白河市表郷※=1.5 いわき市平梅本※=1.5 須賀川市岩瀬支所※=1.5 福島広野町下北迫苗代替※=1.5 1 小野町中通※=1.4 いわき市小名浜=1.4 双葉町長塚※=1.4 浪江町幾世橋=1.4 飯館村伊丹沢※=1.4 郡山市開成※=1.3 田村市常葉町※=1.3 田村市船引町=1.2 白河市大信※=1.2 本宮市本宮※=1.2 鏡石町不時沼※=1.2 大熊町野上※=1.2 西郷村熊倉※=1.2 鮫川村赤坂中野※=1.2 古殿町松川新桑原※=1.2 白河市東※=1.2 須賀川市八幡町※=1.1 平田村永田※=1.1 川俣町五百田※=1.1 葛尾村落合落合※=1.1 大玉村南小屋=1.1 郡山市朝日=1.1 須賀川市八幡山※=1.1 矢吹町一本木※=1.1 塙町塙※=1.1 二本松市針道※=1.0 本宮市白岩※=1.0 二本松市金色※=0.8 二本松市油井※=0.8 福島市五老内町※=0.7 大玉村玉井※=0.7 福島市花園町=0.6 南相馬市原町区高見町※=0.6 古殿町松川横川=0.5 茨城県 2 北茨城市磯原町※=2.2 常陸大宮市北町※=2.0 日立市助川小学校※=1.8 日立市十王町友部※=1.8 大子町池田※=1.8 常陸大宮市山方※=1.8 日立市役所※=1.7 常陸太田市町田町※=1.7 常陸太田市高柿町※=1.7 東海村東海※=1.7 笠間市石井※=1.6 常陸大宮市野口※=1.6 城里町石塚※=1.6 高萩市安良川※=1.5 1 常陸太田市町屋町=1.4 常陸太田市大中町※=1.4 高萩市本町※=1.3 北茨城市中郷町※=1.3 笠間市笠間※=1.3 土浦市常名=1.3 水戸市千波町※=1.3 筑西市門井※=1.2 桜川市岩瀬※=1.2 水戸市栗崎町※=1.2 笠間市中央※=1.1 笠間市下郷※=1.1 常陸大宮市高部※=1.1 城里町阿波山※=1.1 水戸市金町=1.1 ひたちなか市東石川※=1.0 桜川市真壁※=1.0 那珂市瓜連※=1.0 ひたちなか市南神敷台※=1.0 石岡市柿岡=1.0 鉾田市汲上※=0.9 小美玉市堅倉※=0.9 常陸太田市金井町※=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 石岡市若宮※=0.8 稲敷市江戸崎甲※=0.8 那珂市福田※=0.8 かすみがうら市大和田※=0.8 筑西市二木成※=0.7 城里町徳蔵※=0.7	37° 01.0' N	141° 09.0' E	49km	M: 4.2

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		小美玉市小川*=0.7 取手市寺田*=0.7 桜川市羽田*=0.7 かすみがうら市上土田*=0.6 行方市麻生*=0.6 石岡市石岡*=0.6 土浦市藤沢*=0.6 石岡市八郷*=0.6 つくば市研究学園*=0.5 つくば市小荊*=0.5 茨城鹿嶋市宮中*=0.5 美浦村受領*=0.5 守谷市大柏*=0.5 茨城町小堤*=0.5 稲敷市伊佐津*=0.5 筑西市舟生=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 筑西市海老ヶ島*=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.5 1 大田原市湯津上*=1.4 芳賀町祖母井*=1.3 栃木那珂川町馬頭*=1.3 栃木那珂川町小川*=1.3 茂木町茂木*=1.0 市貝町市塙*=1.0 宇都宮市中里町*=0.9 那須町寺子*=0.8 鹿沼市晃望台*=0.7 真岡市田町*=0.7 那須烏山市神長=0.7 益子町益子=0.6 壬生町壬生甲*=0.6 大田原市黒羽田町=0.6 那須烏山市役所*=0.6 那須塩原市鍋掛*=0.5 真岡市石島*=0.5 栃木さくら市喜連川*=0.5 日光市瀬川=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=0.8 角田市角田*=0.6 千葉県 1 白井市復*=0.5				
45	10 21 09	茨城県北部 36° 29.0' N 140° 32.1' E 58km M: 3.4 福島県 1 白河市新白河*=0.5 茨城県 1 水戸市金町=1.3 ひたちなか市東石川*=1.3 水戸市千波町*=1.2 笠間市石井*=1.1 東海村東海*=1.0 日立市助川小学校*=0.9 笠間市下郷*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 城里町石塚*=0.9 常陸大宮市北町*=0.8 石岡市柿岡=0.8 笠間市笠間*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 水戸市栗崎町*=0.7 日立市役所*=0.7 石岡市若宮*=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 土浦市常名=0.6 常陸太田市大中町*=0.6 桜川市真壁*=0.6 かすみがうら市大和田*=0.5 かすみがうら市上土田*=0.5 筑西市門井*=0.5 栃木県 1 真岡市田町*=0.5				
46	11 14 06	奄美大島北東沖 29° 12.3' N 130° 28.2' E 51km M: 5.0 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*=2.1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=2.0 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.5 1 奄美市笠利町里*=1.4 鹿児島十島村中之島出張所*=1.0 鹿児島十島村口之島出張所*=0.7				
47	11 14 41	奄美大島北東沖 29° 11.0' N 130° 30.2' E 24km M: 4.3 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=1.0 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=0.9 奄美市笠利町里*=0.9				
48	11 16 49	西表島付近 24° 16.4' N 123° 55.2' E 46km M: 3.9 沖縄県 1 竹富町大原=1.3 竹富町波照間=1.1 石垣市登野城=0.7 石垣市新栄町*=0.7 竹富町黒島=0.5				
49	11 18 06	伊予灘 33° 23.2' N 131° 50.1' E 65km M: 3.3 大分県 1 臼杵市臼杵*=1.0 国東市田深*=0.7 豊後高田市香々地*=0.6				
50	11 23 28	沖縄本島近海 26° 19.4' N 127° 19.3' E 53km M: 3.2 沖縄県 1 座間味村座間味*=0.7				
51	12 20 34	能登半島沖 37° 32.8' N 137° 13.5' E 12km M: 3.6 石川県 2 珠洲市正院町*=2.0 珠洲市大谷町*=1.5 1 珠洲市三崎町=1.0 能登町松波*=0.8				
52	13 05 45	埼玉県南部 35° 52.7' N 139° 19.8' E 15km M: 2.5 東京都 1 青梅市東青梅=0.7				
53	13 18 13	千島列島 47° 49.8' N 150° 33.1' E 418km M: 5.5 北海道 2 別海町常盤=1.5 根室市落石東*=1.5 函館市新浜町*=1.5 1 標茶町塘路*=1.2 根室市瑤瑤瑠*=0.9 根室市牧の内*=0.9 厚岸町尾幌=0.5 函館市泊町*=0.5 白糠町西1条*=0.5 青森県 2 階上町道仏*=1.7 1 八戸市南郷*=1.1 むつ市大畑町中島*=1.1 平内町小湊=1.0 東通村砂子又沢内*=0.9 五戸町古館=0.8 八戸市内丸*=0.8 東北町上北南*=0.8 青森南部町苫米地*=0.7 青森南部町平*=0.7 八戸市湊町=0.6 五戸町倉石中市*=0.6 三沢市桜町*=0.5 おいらせ町中下田*=0.5 野辺地町野辺地*=0.5 七戸町森ノ上*=0.5 外ヶ浜町蟹田*=0.5 岩手県 1 盛岡市薮川*=0.6				
54	14 05 38	大隅半島東方沖 31° 01.7' N 131° 34.8' E 37km M: 4.2 宮崎県 2 串間市都井*=1.5 1 串間市役所*=1.1 日南市南郷町南町*=1.0 日南市中央通*=0.9 日南市吾田東*=0.6 串間市奈留=0.5 鹿児島県 1 錦江町田代支所*=0.9 志布志市志布志町志布志=0.9 大崎町仮宿*=0.6 鹿屋市新栄町=0.6				
55	14 08 08	宮城県中部 38° 29.1' N 141° 29.1' E 70km M: 3.6 岩手県 1 住田町世田米*=1.0 一関市千蔵町*=0.7 一関市室根町*=0.7 釜石市中妻町*=0.6 一関市藤沢町*=0.5 一関市東山町*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*=1.0 仙台宮城野区苦竹*=0.9 石巻市桃生町*=0.8 石巻市北上町*=0.7 気仙沼市赤岩=0.7 栗原市栗駒=0.6 大崎市鳴子*=0.5 名取市増田*=0.5 石巻市泉町=0.5 登米市東和町*=0.5				
56	14 09 02	石川県能登地方 37° 27.7' N 137° 06.9' E 9km M: 2.7 石川県 1 珠洲市大谷町*=1.1				

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
57	14 09 47	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町※=0.6 青森県 1 東通村砂子又沢内※=0.7	41° 25.5' N	141° 47.1' E	67km	M: 3.3
58	14 09 54	青森県津軽南部 青森県 2 西目屋村田代※=2.1 1 弘前市城東中央※=1.4 平川市碓ヶ関※=1.4 弘前市五所※=1.2 弘前市和田町=1.1 弘前市賀田※=1.1 大鰐町大鰐※=1.0 弘前市弥生=1.0 平川市柏木町※=1.0 藤崎町西豊田※=0.8 板柳町板柳※=0.8 深浦町岩崎※=0.8 田舎館村田舎館※=0.7 青森市浪岡※=0.6 黒石市市ノ町※=0.6 藤崎町水木※=0.6 秋田県 2 能代市追分町※=2.1 能代市上町※=1.9 能代市二ツ井町上台※=1.9 藤里町藤琴※=1.8 三種町森岳※=1.7 大館市比内町扇田※=1.7 1 大館市桜町※=1.4 鹿角市花輪※=1.4 能代市緑町=1.3 北秋田市新田目※=1.3 八峰町峰浜目名湯※=1.2 大館市早口※=1.2 三種町鶴川※=1.2 井川町北川尻※=1.1 男鹿市角間崎※=0.8 北秋田市花園町=0.8 大館市比内町味噌内=0.7 小坂町小坂砂森※=0.7 由利本荘市岩城内道川※=0.7 由利本荘市石脇=0.6 北秋田市米内沢※=0.5 岩手県 1 八幡平市田頭※=1.2	40° 27.7' N	140° 12.1' E	8km	M: 4.1
59	14 15 23	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=0.8	37° 02.4' N	139° 23.9' E	8km	M: 2.5
60	14 19 53	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原※=0.6	37° 02.2' N	139° 23.8' E	8km	M: 2.2
61	14 20 42	長野県中部 長野県 2 青木村田沢青木※=1.7 筑北村坂井=1.5 1 生坂村役場※=1.2 筑北村西条※=1.2 千曲市上山田温泉※=1.1 坂城町坂城※=1.0 上田市下武石※=1.0 上田市大手※=0.8 安曇野市明科※=0.8 千曲市戸倉※=0.8 大町市八坂※=0.7 安曇野市穂高支所=0.7 松本市会田※=0.7 小海町豊里※=0.7 筑北村坂北※=0.7	36° 24.8' N	138° 03.1' E	9km	M: 3.1
62	15 01 49	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町※=1.1	37° 11.4' N	136° 50.0' E	10km	M: 2.8
63	15 03 15	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 水俣市陣内※=0.7	32° 09.3' N	130° 26.1' E	8km	M: 1.9
64	15 07 17	根室半島南東沖 北海道 2 根室市瑤瑤瑯※=2.3 根室市落石東※=2.2 1 標津町北2条※=1.4 根室市牧の内※=1.4 根室市豊里=1.1 標茶町塘路※=0.8 別海町本別海※=0.8 別海町常盤=0.7 浜中町湯沸=0.5 根室市弥栄=0.5	43° 06.3' N	146° 00.7' E	64km	M: 4.3
65	15 08 13	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能※=0.5	36° 57.0' N	136° 23.4' E	12km	M: 3.2
66	15 16 37	岩手県沖 岩手県 1 一関市千厩町※=0.5	39° 12.4' N	142° 16.4' E	82km	M: 3.6
67	15 18 42	北海道東方沖 北海道 1 根室市落石東※=0.6 根室市瑤瑤瑯※=0.6	43° 31.1' N	147° 22.7' E	58km	M: 4.7
68	15 22 14	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能※=1.1 かゝまぐ市浜北※=1.1 津幡町加賀爪=0.9 志賀町富来領家町=0.8 七尾市本府中町=0.8 羽咋市旭町※=0.7 かゝまぐ市宇野気※=0.7 小松市小馬出町=0.6 羽咋市柳田町=0.6 加賀市大聖寺南町※=0.5	37° 03.8' N	136° 22.1' E	11km	M: 3.9
69	16 11 18	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9 鹿児島十島村諏訪之瀬島※=0.9 鹿児島十島村悪石島※=0.7	29° 40.3' N	130° 04.8' E	59km	M: 3.6
70	17 01 47	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能※=0.5	36° 57.4' N	136° 22.4' E	12km	M: 3.0
71	17 04 25	和歌山県北部 和歌山県 1 紀の川市粉河=0.6	34° 14.5' N	135° 26.6' E	6km	M: 2.2
72	17 05 33	和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁※=0.6 和歌山市男野芝丁=0.5	34° 13.0' N	135° 14.5' E	3km	M: 2.6

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
73	17 07 16	十勝地方南部 北海道 2 浦河町潮見=1.7 浦河町築地*=1.7 浦幌町桜町*=1.7 更別村更別*=1.6 広尾町並木通=1.6 幕別町忠類錦町*=1.5 様似町栄町*=1.5 広尾町白樺通=1.5 1 十勝大樹町東本通*=1.4 十勝池田町西1条*=1.3 浦河町野深=1.3 白糠町西1条*=1.0 えりも町えりも岬*=0.9 釧路市阿寒町中央*=0.9 えりも町目黒*=0.9 新ひだか町静内山手町=0.8 中札内村東2条*=0.7 新ひだか町三石旭町*=0.7 豊頃町茂岩本町*=0.6 本別町向陽町*=0.6 芽室町東2条*=0.6 本別町北2丁目=0.5 新得町2条*=0.5	42° 21.7' N	143° 06.3' E	51km	M: 4.2
74	17 16 05	福島県中通り 福島県 1 大熊町大川原*=0.9	37° 32.0' N	140° 34.9' E	89km	M: 3.1
75	18 05 10	西表島付近 沖縄県 3 竹富町上原小学校=2.9 2 竹富町大原=1.9 1 竹富町波照間=0.9 石垣市新栄町*=0.8 石垣市真栄里*=0.7 石垣市登野城=0.7 多良間村塩川=0.5	24° 24.4' N	123° 47.1' E	12km	M: 4.3
76	18 07 20	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.8	33° 17.2' N	131° 28.0' E	8km	M: 2.2
77	18 07 21	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=1.3	33° 17.3' N	131° 27.8' E	8km	M: 2.5
78	18 07 42	大分県中部 大分県 2 別府市鶴見=2.3 1 別府市上野口町*=1.3 由布市庄内町*=1.1 大分市新春日町*=0.6 別府市天間=0.6	33° 17.2' N	131° 28.1' E	8km	M: 2.9
79 (注)	18 07 46 18 07 46	大分県中部 大分県中部 大分県 2 別府市鶴見=1.6 1 別府市上野口町*=0.7 由布市庄内町*=0.7	33° 17.1' N 33° 17.1' N	131° 28.0' E 131° 28.1' E	8km 6km	M: 2.7 M: 2.4
80	18 08 08	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=1.4	33° 17.1' N	131° 28.1' E	7km	M: 2.3
81	18 08 57	大分県中部 大分県 3 別府市鶴見=3.4 別府市上野口町*=2.6 2 別府市天間=2.3 由布市庄内町*=2.1 大分市新春日町*=2.0 由布市湯布院町川上*=1.8 日出町役場*=1.5 1 由布市挾間町*=1.4 杵築市南杵築*=1.3 大分市舞鶴町*=1.3 九重町後野上*=1.1 杵築市杵築*=0.9 大分市野津原*=0.8 国東市安岐町*=0.7 津久見市立花町*=0.5 津久見市宮本町*=0.5 佐伯市春日町*=0.5 臼杵市臼杵*=0.5	33° 17.1' N	131° 28.1' E	8km	M: 3.7
82 (注) (注)	18 08 58 18 08 58 18 08 58	大分県中部 大分県中部 大分県中部 大分県 2 別府市鶴見=1.5	33° 16.8' N 33° 16.8' N 33° 17.2' N	131° 27.6' E 131° 28.0' E 131° 27.1' E	5km 6km 7km	M: 2.7 M: 2.4 M: 2.3
83	18 09 00	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.8	33° 17.0' N	131° 27.9' E	7km	M: 1.9
84	18 09 12	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.6	33° 17.2' N	131° 28.1' E	8km	M: 2.2
85	18 09 19	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.8	33° 17.2' N	131° 27.3' E	8km	M: 2.0
86	18 09 21	大分県中部 大分県 2 別府市鶴見=2.3 1 由布市庄内町*=1.4 大分市新春日町*=1.3 杵築市南杵築*=1.2 別府市上野口町*=1.2 日出町役場*=1.0 由布市挾間町*=1.0 別府市天間=1.0 杵築市杵築*=0.7	33° 17.1' N	131° 27.7' E	8km	M: 3.3
87	18 12 53	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=1.3	33° 17.0' N	131° 28.1' E	8km	M: 2.3
88	18 18 26	長野県北部 長野県 2 大町市役所=1.5 1 筑北村西条*=1.2 生坂村役場*=1.1 小川村高府*=1.1 松川村役場*=1.0 大町市八坂*=1.0 大町市美麻*=0.8 大町市大町図書館*=0.6 長野市信州新町新町*=0.5 麻績村麻*=0.5	36° 28.0' N	137° 54.8' E	12km	M: 3.0
89	18 18 49	長野県北部 長野県 1 大町市役所=0.7	36° 28.0' N	137° 54.8' E	11km	M: 2.4

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時分	震央地名各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
90	18 20 19	長野県北部 長野県	36° 28.1' N	137° 54.8' E	13km	M: 5.1
		5弱 筑北村西条*=4.7 小川村高府*=4.6 大町市八坂*=4.5 大町市美麻*=4.5 4 松本市会田*=4.3 生坂村役場*=4.3 長野市信州新町新町*=4.2 松川村役場*=4.1 筑北村坂北*=4.1 長野市中条*=4.0 大町市役所=4.0 松本市寿*=3.8 大町市大町図書館*=3.8 安曇野市明科*=3.8 松本市丸の内*=3.8 安曇野市豊科*=3.7 安曇野市穂高支所=3.6 安曇野市穂高福祉センター*=3.6 長野市鬼無里*=3.6 松本市美須々*=3.6 長野池田町池田*=3.6 青木村田沢青木*=3.5 麻績村麻*=3.5 3 松本市安曇*=3.4 安曇野市堀金*=3.4 千曲市杭瀬下*=3.3 筑北村坂井=3.3 坂城町坂城*=3.2 長野市大岡*=3.1 山形村役場*=3.0 松本市沢村=3.0 松本市波田*=3.0 松本市梓川梓*=2.9 長野市豊野町豊野*=2.9 上田市築地=2.9 箕輪町中箕輪*=2.9 朝日村役場*=2.8 塩尻市櫛川保育園*=2.8 千曲市戸倉*=2.7 長野市戸隠*=2.7 信濃町柏原東裏*=2.7 上田市大手*=2.7 千曲市上山田温泉*=2.7 山ノ内町消防署*=2.6 辰野町中央=2.6 松本市奈川*=2.6 根羽村役場*=2.6 木曾町新開*=2.6 安曇野市三郷*=2.5 長野市箱清水=2.5 王滝村役場*=2.5 大桑村長野*=2.5 諏訪市湖岸通り=2.5 木曾町開田高原西野*=2.5 2 長野市松代=2.4 小谷村中小谷*=2.4 飯綱町芋川*=2.4 岡谷市幸町*=2.4 諏訪市高島*=2.4 茅野市葛井公園*=2.4 下諏訪町役場*=2.4 木曾町三岳*=2.4 上田市下武石*=2.3 塩尻市広丘高出*=2.3 塩尻市木曾平沢*=2.3 本祖村藪原*=2.3 中野市豊津*=2.3 山ノ内町平穏=2.2 東御市県*=2.2 長野高森町下市田*=2.2 飯綱町牟礼*=2.2 上田市真田町長*=2.2 平谷村役場*=2.1 泰阜村役場*=2.1 立科町芦田*=2.1 白馬村北城*=2.1 木曾町福島*=2.1 南箕輪村役場*=2.1 大鹿村大河原*=2.0 長野市鶴賀緑町*=2.0 長和町古町*=2.0 飯田市高羽町=2.0 軽井沢町長倉*=2.0 御代田町役場*=1.9 須坂市須坂*=1.9 上松町役場*=1.9 小諸市文化センター*=1.9 木曾町日義*=1.9 上田市上丸子*=1.9 飯田市上郷黒田*=1.9 小布施町小布施*=1.9 小諸市小諸消防署*=1.8 中川村大草*=1.8 軽井沢町追分=1.8 長野高山村高井*=1.8 中野市三好町*=1.8 飯田市南信濃*=1.8 伊那市高遠町荊口=1.8 下條村睦沢*=1.7 小海町豊里*=1.7 東御市大日向*=1.7 佐久市甲*=1.7 飯田市大久保町*=1.6 売木村役場*=1.6 伊那市下新田*=1.6 王滝村鈴ヶ沢*=1.6 佐久市下小田切=1.5 飯島町飯島=1.5 喬木村役場*=1.5 佐久市中込*=1.5 佐久市望月*=1.5 松川町元大島*=1.5 1 長野南牧村海ノ口*=1.4 長和町和田*=1.4 駒ヶ根市赤須町*=1.4 阿南町東條*=1.4 阿智村駒場*=1.4 天龍村平岡*=1.4 豊丘村神稲*=1.4 南木曾町読書小学校*=1.4 飯田市上村*=1.3 宮田村役場*=1.3 木島平村往郷*=1.2 佐久市臼田*=1.2 阿智村清内路*=1.2 飯山市飯山福寿町*=1.2 南木曾町役場*=1.2 栄村北信*=1.1 富士見町落合*=1.1 原村役場*=1.1 佐久穂町高野町*=1.0 阿智村浪合*=0.9 天龍村清水*=0.9 長野川上村大深山*=0.7 栄村小赤沢*=0.6 2 沼田市下久屋町*=2.0 沼田市白沢町*=2.0 渋川市赤城町*=1.9 嬬恋村大前*=1.7 沼田市西倉内町=1.7 神流町生利*=1.6 渋川市村上*=1.5 1 群馬高山村中山*=1.4 富岡市妙義町*=1.4 前橋市富士見町*=1.3 草津町草津*=1.3 安中市安中*=1.2 長野原町長野原*=1.1 富岡市七日市=1.0 東吾妻町奥田*=1.0 東吾妻町本宿*=0.9 群馬上野村川和*=0.9 甘楽町小幡*=0.9 渋川市伊香保町*=0.9 吉岡町下野田*=0.8 中之条町中之条町*=0.8 渋川市吹屋*=0.8 神流町神ヶ原*=0.8 高崎市箕郷町*=0.7 高崎市足門町*=0.7 渋川市有馬*=0.7 渋川市北橋町*=0.7 沼田市尾瀬高等学校=0.7 榛東村新井*=0.6 高崎市倉渕町*=0.6 片品村鎌田*=0.5 みなかみ町布施*=0.5 群馬昭和村糸井*=0.5 下仁田町下小坂*=0.5 2 糸魚川市一の宮=2.4 糸魚川市青海*=2.3 糸魚川市能生*=2.1 糸魚川市大野*=2.1 妙高市田口*=2.0 上越市中ノ俣=1.8 上越市中郷区藤沢*=1.6 妙高市田町*=1.6 十日町市松代*=1.6 上越市木田*=1.6 十日町市上山*=1.5 妙高市関山*=1.5 1 上越市安塚区安塚*=1.4 上越市牧区柳島*=1.4 新潟西蒲区役所=1.4 燕市分水桜町*=1.3 新潟西蒲区巻甲*=1.3 上越市名立区名立大町*=1.3 長岡市小島谷*=1.3 出雲崎町米田=1.3 刈羽村割町新田*=1.3 上越市三和区井ノ口*=1.2 阿賀町鹿瀬中学校*=1.2 長岡市寺泊敦ケ曽根*=1.2 上越市大島区岡*=1.2 燕市秋葉町*=1.2 上越市頸城区百間町*=1.1 上越市大手町=1.1 出雲崎町川西*=1.1 上越市蒲川原区釜淵*=1.1 妙高市栄町*=1.1 上越市板倉区針*=1.0 長岡市山古志竹沢*=1.0 長岡市小国町法坂*=1.0 長岡市中之島*=0.9 三条市新堀*=0.9 柏崎市高柳町岡野町*=0.9 柏崎市日石町*=0.9 上越市吉川区原之町*=0.9 長岡市上岩井*=0.9 湯沢町神立*=0.9 新潟北区東栄町*=0.9 南魚沼市六日町=0.8 長岡市与板町与板*=0.8 弥彦村矢作*=0.8 阿賀野市姥ヶ橋*=0.8 三条市西裏館*=0.8 佐渡市小木町*=0.8 見附市昭和町*=0.8 上越市清里区荒牧*=0.8 長岡市浦*=0.7 上越市柿崎区柿崎*=0.7 十日町市松之山*=0.7 新潟中央区美咲町=0.7 新発田市乙次*=0.6 佐渡市赤泊*=0.6 小千谷市旭町*=0.6 十日町市千歳町*=0.6 阿賀野市山崎*=0.6 上越市大潟区土底浜*=0.6 阿賀町白崎*=0.6 南魚沼市塩沢小学校*=0.6 南魚沼市塩沢庁舎*=0.6 十日町市水口沢*=0.5 長岡市東川口*=0.5 十日町市下条*=0.5 2 能登町宇出津=1.7 1 輪島市鳳至町=1.4 七尾市垣吉町*=1.1 能登町松波*=1.1 七尾市本府中町=1.0 輪島市河井町*=0.8 志賀町富来領家町=0.8 2 富士川町鯉沢*=1.9 山梨北杜市長坂町*=1.9 1 南アルプス市寺部*=1.2 身延町大磯小磯=1.1 山梨北杜市大泉町*=1.1 市川三郷町六郷支所*=1.1 忍野村忍草*=1.1 甲府市下曽根町*=1.1 山梨北杜市明野町*=1.0 富士河口湖町長浜*=1.0 甲斐市下今井*=1.0 昭和町押越*=0.9 南アルプス市鮎沢*=0.9 山梨北杜市高根町*=0.9 山梨北杜市小淵沢町*=0.9 山中湖村山中*=0.9 早川町葉袋*=0.9 身延町役場*=0.9 中央市臼井阿原*=0.8 山梨北杜市健康ランド須玉*=0.8 中央市成島*=0.8 鳴沢村役場*=0.7 身延町梅平*=0.7 山梨北杜市役所*=0.7 甲府市飯田=0.7 韮崎市水神*=0.7 山梨南部町栄小学校*=0.6 山梨南部町富士*=0.6 丹波山村丹波*=0.6 甲斐市島上条*=0.6 富士河口湖町船津=0.5 2 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*=2.2 中津川市川上*=2.1 恵那市上矢作町*=1.8 高山市上宝町本郷*=1.6 1 中津川市加子母*=1.4 中津川市本町*=1.3 土岐市泉町*=1.3 高山市消防署*=1.2				

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時	震源地名 各地の震度	緯度 (計測震度)	経度	深さ	規模
		高山市高根町＊=1.2 多治見市笠原町＊=1.2 中津川市坂下＊=1.2 中津川市福岡＊=1.2 中津川市付知町＊=1.2 瑞浪市上平町＊=1.2 恵那市山岡町＊=1.2 恵那市長島町＊=1.2 土岐市肥田＊=1.2 中津川市かやの木町=1.1 中津川市山口＊=1.1 恵那市明智町＊=1.0 恵那市長島小学校＊=0.9 岐南町八剣＊=0.9 下呂市下呂小学校＊=0.9 高山市桐生町=0.8 高山市丹生川町坊方＊=0.8 大垣市墨俣町＊=0.8 岐阜市柳津町＊=0.7 瑞穂市別府＊=0.7 高山市久々野町＊=0.7 下呂市森=0.7 恵那市串原＊=0.6 可児市広見＊=0.6 飛騨市神岡町殿=0.6 飛騨市古川町＊=0.5 飛騨市神岡町東町＊=0.5 下呂市萩原町＊=0.5 中津川市小栗山＊=0.5 瑞穂市宮田＊=0.5 静岡県 2 浜松天竜区佐久間町＊=1.9 浜松浜名区三ヶ日町=1.6 袋井市浅名＊=1.5 1 藤枝市岡部町岡部＊=1.3 湖西市吉美＊=1.3 富士宮市弓沢町=1.2 富士市吉永＊=1.2 牧之原市静波＊=1.1 伊豆の国市長岡＊=1.0 袋井市新屋=1.0 湖西市新居町浜名＊=1.0 静岡菊川市赤土＊=1.0 松崎町宮内＊=1.0 磐田市福田＊=0.9 掛川市西大淵＊=0.9 浜松中央区雄踏＊=0.9 西伊豆町宇久須＊=0.8 伊豆市中伊豆グラウンド=0.8 静岡駿河区用宗＊=0.8 磐田市国府台＊=0.8 浜松中央区元城町＊=0.8 浜松中央区舞阪町＊=0.8 浜松天竜区二俣町鹿島＊=0.8 富士市大淵＊=0.7 焼津市宗高＊=0.7 静岡葵区梅ヶ島＊=0.7 静岡清水区千歳町=0.7 磐田山下野部＊=0.7 浜松中央区三組町＊=0.7 浜松浜名区西美箇＊=0.7 浜松天竜区春野町＊=0.7 浜松中央区江之島町＊=0.6 静岡駿河区曲金=0.6 川根本町東藤川＊=0.6 磐田市見付＊=0.6 浜松中央区高丘東=0.6 牧之原市鬼女新田=0.5 磐田市岡＊=0.5 愛知県 2 新城市作手高里松風呂呂＊=2.2 豊根村富山＊=1.9 新城市作手高里縄手上＊=1.5 豊田市小坂町＊=1.5 豊田市長興寺＊=1.5 1 豊橋市向山=1.4 名古屋北区萩野通＊=1.4 西尾市矢曾根町＊=1.4 清須市春日振形＊=1.4 蒲郡市水竹町＊=1.3 名古屋瑞穂区塩入町＊=1.3 豊田市坂上町＊=1.3 幸田町菱池＊=1.3 長久手市岩作城の内＊=1.3 蒲郡市御幸町＊=1.2 新城市作手清岳=1.2 名古屋熱田区一番＊=1.2 瀬戸市迫分町＊=1.2 安城市横山町＊=1.2 尾張旭市東大道町＊=1.2 岩倉市川井町＊=1.2 豊川市小坂井町＊=1.1 名古屋守山区下志段味＊=1.1 名古屋名東区名東本町＊=1.1 豊田市小坂本町=1.1 豊田市大沼町＊=1.1 知立市弘法＊=1.1 高浜市稗田町＊=1.1 日進市蟹甲町＊=1.1 東郷町春木＊=1.1 愛知みよし市三好町＊=1.1 名古屋中川区東春田＊=1.0 名古屋港区金城ふ頭＊=1.0 半田市東洋町＊=1.0 豊田市稲武町＊=1.0 豊田市小原町＊=1.0 西尾市西幡豆町＊=1.0 豊川市一宮町＊=1.0 豊川市御津町＊=1.0 蟹江町蟹江本町＊=1.0 新城市東入船＊=1.0 田原市田原町＊=0.9 名古屋西区八筋町＊=0.9 名古屋港区善進本町＊=0.9 名古屋天白区島田＊=0.9 岡崎市若宮町=0.9 刈谷市寿町＊=0.9 豊田市藤岡飯野町＊=0.9 豊田市足助町＊=0.9 豊田市小渡町＊=0.9 小牧市安田町＊=0.9 豊橋市東松山町＊=0.9 豊川市赤坂町＊=0.9 飛島村竹之郷＊=0.9 名古屋中村区大宮町＊=0.8 名古屋中区泉庁＊=0.8 名古屋昭和区阿由知通＊=0.8 名古屋緑区有松町＊=0.8 碧南市松本町＊=0.8 安城市和泉町＊=0.8 西尾市吉良町＊=0.8 常滑市飛香台=0.8 東海市加木屋町＊=0.8 新城市大野＊=0.8 設楽町津具＊=0.8 設楽町田口＊=0.8 愛西市諏訪町＊=0.8 名古屋千種区日和町=0.8 清須市西枇杷島町住吉＊=0.8 清須市清洲＊=0.8 北名古屋市井瀬本＊=0.8 名古屋東区筒井＊=0.8 春日井市鳥居松町＊=0.7 豊田市大洞町=0.7 田原市福江町=0.7 田原市赤羽根町＊=0.7 稲沢市平和町＊=0.7 豊明市杏掛町＊=0.7 豊山町豊場＊=0.7 名古屋港区春田野＊=0.7 弥富市神戸＊=0.7 弥富市前ヶ須町＊=0.7 西尾市一色町=0.6 稲沢市稲府町＊=0.6 大府市中央町＊=0.6 名古屋守山区西新＊=0.6 阿久比町卯坂＊=0.6 愛西市石田町＊=0.6 豊根村下黒川＊=0.6 あま市七宝町＊=0.6 あま市木田＊=0.6 東浦町緒川＊=0.5 武豊町長尾山＊=0.5 一宮市千秋=0.5 北名古屋市西之保＊=0.5 栃木県 1 日光市芹沼＊=1.1 日光市瀬川=0.8 埼玉県 1 毛呂山町中央＊=0.8 秩父市中津川＊=0.8 長瀬町野上下郷＊=0.7 本庄市児玉町=0.5 秩父市上町=0.5 東京都 1 東京墨田区東向島＊=0.8 東京足立区千住中居町＊=0.7 東大和市中央＊=0.5 神奈川県 1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 富山県 1 滑川市寺家町＊=1.4 舟橋村仏生寺＊=1.2 氷見市加納＊=1.2 富山朝日町道下=1.1 射水市加茂中部＊=0.9 魚津市釈迦堂=0.8 上市町稗田＊=0.8 立山町吉峰=0.7 富山市石坂=0.7 富山市新桜町＊=0.7 射水市二口＊=0.6 富山市八尾町福島=0.6 黒部市宇奈月町下立＊=0.6 立山町芦峯寺＊=0.5 三重県 1 三重朝日町小向＊=0.8 桑名市長島町松ヶ島＊=0.7 桑名市中央町＊=0.5 木曽岬町西対海地＊=0.5				
91	18 20 20	長野県北部	36° 27.8' N	137° 54.7' E	12km	M: 3.7
(注)	18 20 20	長野県北部	36° 28.6' N	137° 54.6' E	12km	M: 3.3
(注)	18 20 20	長野県北部	36° 28.4' N	137° 54.8' E	11km	M: 3.2
(注)	18 20 21	長野県北部	36° 28.5' N	137° 54.3' E	12km	M: 3.1
(注)	18 20 20	長野県北部	36° 28.8' N	137° 54.4' E	11km	M: 2.9
		長野県				
		2 松川村役場＊=2.3 筑北村西条＊=1.8 生坂村役場＊=1.6 大町市役所=1.6 諏訪市湖岸通り=1.5				
		1 小川村高府＊=1.3 筑北村坂北＊=1.3 大町市大町図書館＊=1.1 大町市八坂＊=1.1 上田市築地=1.0				
		安曇野市穂高福祉センター＊=1.0 大町市美麻＊=1.0 長野市箱清水=0.9 松本市安曇＊=0.8				
		松本市美須々＊=0.7 軽井沢町追分=0.6 長野市信州新町新町＊=0.6 上田市大手＊=0.5				
		新潟県				
		1 刈羽村割町新田＊=0.7 上越市三和区井ノ口＊=0.6 上越市頸城区百間町＊=0.5				
		富山県				
		1 氷見市加納＊=1.0				
92	18 20 22	長野県北部	36° 27.9' N	137° 54.6' E	12km	M: 2.9
		長野県				
		2 松川村役場＊=1.7				
		1 大町市役所=0.9 筑北村西条＊=0.6				
93	18 20 24	長野県北部	36° 28.7' N	137° 54.4' E	13km	M: 2.6
		長野県				
		1 大町市役所=0.9				
94	18 20 36	長野県北部	36° 28.2' N	137° 54.4' E	12km	M: 2.1
		長野県				
		1 松川村役場＊=1.0				

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
95	18 20 40	長野県北部 長野県	36° 27.9' N	137° 54.8' E	12km	M: 2.5
96	18 20 42	長野県北部 長野県	36° 27.2' N	137° 55.2' E	11km	M: 3.4
97	18 20 54	長野県北部 長野県	36° 28.6' N	137° 54.1' E	12km	M: 2.6
98	18 20 56	長野県北部 長野県	36° 28.7' N	137° 54.4' E	12km	M: 2.2
99	18 21 07	長野県北部 長野県	36° 27.0' N	137° 55.1' E	11km	M: 2.5
100 (注)	18 21 09 18 21 09	長野県北部 長野県北部 長野県	36° 28.6' N 36° 28.3' N	137° 54.5' E 137° 54.7' E	13km 10km	M: 2.9 M: 2.6
101	18 21 17	長野県北部 長野県	36° 28.1' N	137° 54.7' E	12km	M: 2.5
102	18 21 41	長野県北部 長野県	36° 28.5' N	137° 54.8' E	12km	M: 2.8
103	18 22 19	長野県北部 長野県	36° 27.2' N	137° 54.9' E	12km	M: 2.7
104	18 22 22	長野県北部 長野県	36° 28.7' N	137° 54.2' E	13km	M: 1.9
105	18 22 29	長野県北部 長野県	36° 28.9' N	137° 54.5' E	12km	M: 2.8
106	18 23 02	長野県北部 長野県	36° 28.3' N	137° 54.5' E	12km	M: 2.0
107	18 23 12	長野県北部 長野県	36° 28.7' N	137° 54.5' E	13km	M: 2.4
108	18 23 21	長野県北部 長野県	36° 28.6' N	137° 54.6' E	13km	M: 2.4
109	18 23 23	長野県北部 長野県	36° 28.4' N	137° 54.6' E	13km	M: 2.4
110	18 23 29	長野県北部 長野県	36° 28.2' N	137° 54.3' E	13km	M: 2.7
111	18 23 39	長野県北部 長野県	36° 27.7' N	137° 54.5' E	13km	M: 4.5

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		木曽町日義*0.9 木曽町福島*0.9 泰阜村役場*0.9 軽井沢町追分=0.8 御代田町役場*0.8 立科町芦田*0.8 飯綱町芋川*0.8 長野市箱清水=0.8 上田市真田町長*0.8 飯田市上郷黒田*0.8 伊那市高遠町荊口=0.8 飯綱町牟礼*0.7 平谷村役場*0.7 王滝村鈴ヶ沢*0.7 白馬村北城*0.7 南箕輪村役場*0.7 軽井沢町長倉*0.7 小諸市小諸消防署*0.6 長和町古町*0.6 伊那市下新田*0.5 佐久市下小田切=0.5 群馬県 1 沼田市下久屋町*0.6 新潟県 1 糸魚川市大野*1.3 糸魚川市青海*1.1 糸魚川市一の宮=0.9 糸魚川市能生*0.6 上越市中郷区藤沢*0.5 妙高市田町*0.5 岐阜県 1 高山市奥飛騨温泉郷栃尾*1.3 中津川市川上*1.1 恵那市上矢作町*0.8 高山市上宝町本郷*0.7 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町*0.6 愛知県 1 新城市作手高里松風呂*0.9				
112	18 23 43	長野県北部 長野県	36° 28.0' N	137° 54.6' E	13km	M: 2.3
113	19 00 07	長野県北部 長野県	36° 27.7' N	137° 55.2' E	11km	M: 3.8
		3 大町市役所=3.2 筑北村西条*2.7 松川村役場*2.6 生坂村役場*2.5 2 大町市八坂*2.4 筑北村坂北*2.1 松本市会田*2.0 大町市大町図書館*2.0 大町市美麻*1.9 長野池田町池田*1.9 麻績村麻*1.8 筑北村坂井=1.7 安曇野市明科*1.6 1 青木村田沢青木*1.4 安曇野市穂高支所=1.4 松本市丸の内*1.2 松本市寿*1.2 小川村高府*1.2 松本市美須々*1.2 安曇野市穂高福祉センター*1.2 坂城町坂城*1.1 長野市信州新町新町*1.1 長野市中条*1.0 安曇野市豊科*1.0 千曲市上山田温泉*0.9 安曇野市堀金*0.9 上田市大手*0.9 千曲市杭瀬下*0.8 山ノ内町消防署*0.8 長野市鬼無里*0.7 長野市大岡*0.7 上田市築地=0.7 千曲市戸倉*0.6 松本市沢村=0.6				
114	19 00 12	長野県北部 長野県	36° 27.3' N	137° 54.9' E	12km	M: 2.4
115	19 00 13	長野県北部 長野県	36° 27.6' N	137° 55.5' E	11km	M: 2.2
116	19 00 22	長野県北部 長野県	36° 28.2' N	137° 54.6' E	12km	M: 2.1
117	19 00 50	父島近海 東京都	26° 28.2' N	141° 53.1' E	49km	M: 4.0
118	19 01 02	長野県北部 長野県	36° 28.8' N	137° 54.2' E	12km	M: 4.3
		4 松川村役場*3.8 大町市役所=3.5 小川村高府*3.5 3 大町市美麻*3.3 大町市大町図書館*2.9 筑北村西条*2.9 筑北村坂北*2.8 松本市寿*2.7 大町市八坂*2.7 長野市中条*2.7 生坂村役場*2.6 松本市丸の内*2.5 2 長野池田町池田*2.4 長野市信州新町新町*2.3 麻績村麻*2.2 松本市会田*2.1 筑北村坂井=2.1 千曲市杭瀬下*2.0 安曇野市穂高支所=2.0 安曇野市豊科*2.0 青木村田沢青木*2.0 安曇野市明科*1.9 松本市安曇*1.9 安曇野市堀金*1.9 松本市美須々*1.8 長野市鬼無里*1.8 松本市沢村=1.8 安曇野市穂高福祉センター*1.8 坂城町坂城*1.7 長野市大岡*1.6 山形村役場*1.6 千曲市上山田温泉*1.5 1 千曲市戸倉*1.4 上田市築地=1.4 山ノ内町消防署*1.3 長野市戸隠*1.3 松本市梓川梓*1.3 長野市豊野町豊野*1.3 下諏訪町役場*1.3 松本市波田*1.2 長野市松代=1.2 塩尻市櫛川保育園*1.2 辰野町中央=1.2 諏訪市湖岸通り=1.1 信濃町柏原東裏*1.1 上田市大手*1.0 上田市下武石*1.0 朝日村役場*1.0 長野市箱清水=1.0 長野高森町下市田*1.0 根羽村役場*1.0 大鹿村大河原*1.0 安曇野市三郷*0.9 岡谷市幸町*0.9 箕輪町中箕輪*0.9 塩尻市広丘高出*0.9 飯綱町芋川*0.9 諏訪市高島*0.9 飯田市高羽町=0.8 山ノ内町平穏=0.8 松本市奈川*0.8 茅野市葛井公園*0.8 伊那市高遠町荊口=0.7 佐久市下小田切=0.7 上田市上丸子*0.7 中川村大草*0.7 木曽町三岳*0.7 上田市真田町長*0.6 東御市県*0.6 長野高山村高井*0.6 泰阜村役場*0.6 長野市鶴賀緑町*0.6 木曽町新開*0.6 小谷村中小谷*0.6 小布施町小布施*0.5 長和町古町*0.5 木祖村藪原*0.5 小海町豊里*0.5 白馬村北城*0.5 群馬県 1 沼田市下久屋町*1.2 渋川市村上*0.7 東吾妻町奥田*0.6 東吾妻町本宿*0.5 新潟県 1 糸魚川市大野*0.8 糸魚川市一の宮=0.7 糸魚川市青海*0.7 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*0.8				
119	19 01 07	長野県北部 長野県	36° 29.0' N	137° 54.2' E	12km	M: 3.2
		2 大町市役所=2.0 大町市大町図書館*1.5 大町市美麻*1.5 松川村役場*1.5 小川村高府*1.5 1 筑北村西条*1.3 長野市中条*1.2 大町市八坂*1.0 筑北村坂北*1.0 長野市信州新町新町*0.8 生坂村役場*0.8 麻績村麻*0.6 筑北村坂井=0.5				
120	19 01 12	長野県北部 長野県	36° 29.1' N	137° 54.4' E	12km	M: 1.9
121	19 01 18	長野県北部 長野県	36° 28.6' N	137° 54.3' E	13km	M: 2.4
		1 松川村役場*0.8				

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
122	19 01 30	長野県北部 長野県	36° 28.7' N	137° 54.3' E	12km	M: 2.7 1 大町市役所=1.3 松川村役場*=1.0 大町市大町図書館*=0.7 筑北村西条*=0.7
123	19 01 50	長野県北部 長野県	36° 28.5' N	137° 54.4' E	13km	M: 3.0 2 松川村役場*=1.7 1 大町市役所=1.3 筑北村西条*=1.0 大町市八坂*=0.8 小川村高府*=0.8 大町市大町図書館*=0.8 生坂村役場*=0.5
124	19 01 52	長野県北部 長野県	36° 27.7' N	137° 55.6' E	11km	M: 2.7 1 松川村役場*=1.4 大町市役所=1.0 生坂村役場*=0.9 筑北村西条*=0.9
125	19 01 53	長野県北部 長野県	36° 28.5' N	137° 54.5' E	13km	M: 3.9 3 小川村高府*=2.8 筑北村西条*=2.8 生坂村役場*=2.7 松川村役場*=2.7 大町市役所=2.5 大町市八坂*=2.5 2 大町市美麻*=2.4 筑北村坂北*=2.3 麻績村麻*=2.2 長野市信州新町新町*=2.2 筑北村坂井=2.1 大町市大町図書館*=2.0 長野池田町池田*=1.9 安曇野市穂高支所=1.9 長野市中条*=1.8 松本市寿*=1.7 青木村田沢青木*=1.7 松本市丸の内*=1.7 安曇野市明科*=1.6 安曇野市豊科*=1.5 1 坂城町坂城*=1.4 松本市会田*=1.4 安曇野市穂高福祉センター*=1.4 安曇野市堀金*=1.4 長野市鬼無里*=1.3 千曲市杭瀬下*=1.3 松本市美須々*=1.3 松本市安曇*=1.2 上田市築地=1.2 千曲市上山田温泉*=1.1 千曲市戸倉*=1.0 山ノ内町消防署*=0.9 長野市大岡*=0.9 上田市下武石*=0.8 長野市豊野町豊野*=0.8 松本市沢村=0.8 松本市梓川梓*=0.7 山形村役場*=0.7 長野市戸隠*=0.7 上田市大手*=0.7 東御市県*=0.5 長野市松代=0.5 群馬県 1 沼田市下久屋町*=0.5
126	19 01 55	長野県北部 長野県	36° 27.8' N	137° 55.6' E	11km	M: 2.5 1 松川村役場*=1.4 筑北村西条*=0.5
127	19 02 20	長野県北部 長野県	36° 28.7' N	137° 53.9' E	12km	M: 3.5 2 大町市役所=2.4 松川村役場*=2.3 小川村高府*=2.3 大町市大町図書館*=2.0 大町市美麻*=2.0 筑北村西条*=1.7 大町市八坂*=1.6 1 生坂村役場*=1.4 長野市中条*=1.3 筑北村坂北*=1.3 長野池田町池田*=1.2 松本市会田*=1.0 長野市鬼無里*=1.0 松本市安曇*=1.0 麻績村麻*=0.9 長野市信州新町新町*=0.8 松本市寿*=0.8 安曇野市穂高支所=0.8 筑北村坂井=0.8 青木村田沢青木*=0.8 松本市丸の内*=0.7 安曇野市穂高福祉センター*=0.6 松本市梓川梓*=0.6 新潟県 1 糸魚川市大野*=0.6
128 (注)	19 02 24 19 02 24	長野県北部 長野県北部 長野県	36° 29.0' N 36° 29.0' N	137° 54.2' E 137° 54.1' E	12km 12km	M: 3.1 M: 2.6 2 大町市役所=2.1 松川村役場*=1.8 1 小川村高府*=1.4 大町市大町図書館*=1.3 大町市美麻*=1.2 筑北村西条*=1.0 大町市八坂*=0.8 長野市中条*=0.7 長野市信州新町新町*=0.7
129	19 02 27	長野県北部 長野県	36° 28.9' N	137° 54.1' E	13km	M: 3.1 2 大町市役所=2.2 松川村役場*=1.5 1 大町市大町図書館*=1.4 小川村高府*=1.2 筑北村西条*=1.1 大町市美麻*=1.0 大町市八坂*=0.8 筑北村坂北*=0.7 長野市中条*=0.5 生坂村役場*=0.5
130	19 02 30	長野県北部 長野県	36° 29.2' N	137° 54.3' E	12km	M: 2.3 1 松川村役場*=1.4 大町市役所=0.8
131	19 02 37	長野県北部 長野県	36° 28.8' N	137° 54.1' E	12km	M: 2.4 1 大町市役所=0.6
132	19 02 41	長野県北部 長野県	36° 28.9' N	137° 54.3' E	12km	M: 3.3 3 松川村役場*=2.6 2 大町市役所=2.4 大町市大町図書館*=1.7 筑北村西条*=1.7 1 小川村高府*=1.3 筑北村坂北*=1.3 大町市美麻*=1.2 大町市八坂*=1.1 生坂村役場*=1.1 長野池田町池田*=1.1 長野市中条*=0.8 松本市会田*=0.8 麻績村麻*=0.7 松本市丸の内*=0.7 筑北村坂井=0.7 青木村田沢青木*=0.7 松本市安曇*=0.6 安曇野市穂高支所=0.5
133	19 03 44	長野県北部 長野県	36° 28.9' N	137° 54.0' E	12km	M: 2.2 1 大町市役所=0.7
134	19 04 41	長野県北部 長野県	36° 28.8' N	137° 54.2' E	12km	M: 2.5 1 大町市役所=1.3 大町市大町図書館*=0.7 大町市美麻*=0.5 小川村高府*=0.5
135	19 05 04	長野県北部 長野県	36° 29.0' N	137° 53.9' E	12km	M: 2.1 1 松川村役場*=0.8 大町市役所=0.6
136	19 05 07	長野県北部 長野県	36° 29.0' N	137° 54.1' E	12km	M: 2.1 1 大町市役所=0.6

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
137	19 05 12	長野県北部 長野県 1 大町市役所=0.6	36° 29.0' N	137° 54.0' E	12km	M: 2.1
138	19 06 08	十勝沖 北海道 1 広尾町並木通=0.8 広尾町白樺通=0.8 えりも町目黒*=0.6	41° 59.2' N	144° 20.8' E	21km	M: 4.3
139	19 06 19	長野県北部 長野県 1 大町市役所=1.2 大町市大町図書館*=0.7 大町市美麻*=0.7 小川村高府*=0.6	36° 28.9' N	137° 54.4' E	12km	M: 2.6
140	19 06 47	長野県北部 長野県 1 松川村役場*=0.8 大町市役所=0.6	36° 28.0' N	137° 54.7' E	12km	M: 2.5
141	19 08 12	長野県北部 長野県 1 大町市役所=0.5	36° 29.0' N	137° 53.8' E	12km	M: 2.2
142	19 09 37	長野県北部 長野県 1 大町市役所=1.0	36° 28.8' N	137° 54.3' E	12km	M: 2.2
143	19 09 58	奄美大島近海 鹿児島県 2 奄美市笠利町里*=2.0 1 龍郷町屋入=0.8	28° 33.7' N	129° 37.2' E	9km	M: 3.5
144	19 12 24	長野県北部 長野県 2 大町市役所=1.8 1 松川村役場*=1.4 小川村高府*=1.4 筑北村西条*=1.3 大町市大町図書館*=1.2 大町市美麻*=1.1 生坂村役場*=1.0 大町市八坂*=1.0 筑北村坂北*=0.7 筑北村坂井=0.6 松本市安曇*=0.5	36° 28.7' N	137° 54.1' E	13km	M: 3.3
145	19 12 56	能登半島沖 石川県 2 珠洲市正院町*=1.6 1 珠洲市大谷町*=1.0 珠洲市三崎町=0.5	37° 33.6' N	137° 13.4' E	13km	M: 3.8
146	19 13 04	長野県北部 長野県 1 大町市役所=1.1 松川村役場*=1.1	36° 27.7' N	137° 55.4' E	11km	M: 2.4
147	19 20 12	長野県北部 長野県 1 大町市役所=0.9 松川村役場*=0.5	36° 27.3' N	137° 55.5' E	9km	M: 2.2
148	20 00 06	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=1.8	29° 34.3' N	129° 41.6' E	4km	M: 2.7
149	20 00 28	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=1.4	29° 34.5' N	129° 40.0' E	6km	M: 2.4
150	20 01 13	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村諏訪之瀬島*=0.8	29° 34.2' N	129° 40.3' E	5km	M: 2.3
151	20 13 39	長野県北部 長野県 2 松川村役場*=2.2 大町市役所=1.7 1 大町市美麻*=1.1 長野池田町池田*=0.9 小川村高府*=0.8 筑北村西条*=0.8 大町市大町図書館*=0.7 大町市八坂*=0.7 筑北村坂北*=0.7	36° 28.6' N	137° 54.3' E	13km	M: 2.9
152	20 13 42	長野県北部 長野県 1 松川村役場*=0.7	36° 28.7' N	137° 54.2' E	13km	M: 1.9
153	20 14 50	長野県北部 長野県 1 松川村役場*=1.3 筑北村西条*=1.2 筑北村坂井=0.8 大町市役所=0.6 青木村田沢青木*=0.5	36° 28.6' N	137° 53.9' E	12km	M: 2.7
154	20 15 11	千葉県北東部 茨城県 2 笠間市石井*=1.5 1 つくば市小茎*=1.4 稲敷市結佐*=1.4 石岡市石岡*=1.3 筑西市門井*=1.3 桜川市岩瀬*=1.3 土浦市常名=1.3 小美玉市小川*=1.2 取手市寺田*=1.2 神栖市溝口*=1.2 石岡市柿岡=1.2 桜川市真壁*=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.1 小美玉市堅倉*=1.1 筑西市舟生=1.1 笠間市笠間*=1.1 かすみがうら市上土田*=1.1 取手市井野*=1.1 笠間市中央*=1.1 坂東市岩井=1.1 桜川市羽田*=1.0 茨城町小堤*=1.0 龍ヶ崎市役所*=1.0 牛久市中央*=1.0 かすみがうら市大和田*=1.0 土浦市藤沢*=0.9 城里町石塚*=0.9 鉾田市鉾田=0.9 つくばみらい市加藤*=0.9 つくばみらい市福田*=0.9 石岡市若宮*=0.9 筑西市二本成*=0.9 石岡市八郷*=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 笠間市下郷*=0.9 美浦村受領*=0.8 守谷市大柏*=0.8 稲敷市伊佐津*=0.8 筑西市海老ヶ島*=0.8 鉾田市造谷*=0.8 常総市水海道諏訪町*=0.8 下妻市本城町*=0.7 常陸大宮市野口*=0.7 日立市助川小学校*=0.7 土浦市田中*=0.7 つくば市研究学園*=0.7 利根町布川=0.6 鉾田市汲上*=0.6 ひたちなか市南神敷台*=0.6 坂東市役所*=0.6 茨城鹿嶋市宮中*=0.6 潮来市堀之内=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 千葉県 2 市川市本行徳*=1.5 野田市鶴奉*=1.5 1 千葉中央区中央港=1.4 東金市日吉台*=1.3 旭市南堀之内*=1.3 千葉花見川区花島町*=1.3	35° 34.4' N	140° 20.5' E	75km	M: 4.3

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉美浜区ひび野=1.3 多古町多古=1.2 香取市仁良*=1.2 市川市大町*=1.2 船橋市湊町*=1.2 八千代市大和田新田*=1.1 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.1 印西市笠神*=1.1 香取市役所*=1.1 千葉美浜区稲毛海岸*=1.1 市原市姉崎*=1.1 千葉稲毛区園生町*=1.0 柏市旭町=1.0 柏市柏*=1.0 芝山町小池*=1.0 長南町総合グラウンド=1.0 白井市復*=1.0 山武市埴谷*=1.0 一宮町一宮=0.9 山武市蓮沼ニ*=0.9 大網白里市大網*=0.9 習志野市鷺沼*=0.9 富里市七栄*=0.9 君津市久留里市場*=0.9 東金市東新宿=0.9 千葉若葉区小倉台*=0.8 千葉緑区おゆみ野*=0.8 成田国際空港=0.8 成田市名古屋=0.8 浦安市日の出=0.8 栄町安食台*=0.8 香取市佐原諏訪台*=0.8 山武市松尾町富士見台=0.8 野田市東宝珠花*=0.7 柏市大島田*=0.7 香取市佐原平田=0.7 鴨川市横渚*=0.6 館山市長須賀=0.5 東京都 2 東京練馬区豊玉北*=1.7 1 東京渋谷区本町*=1.3 東京杉並区桃井*=1.3 小平市小川町*=1.3 東京千代田区大手町=1.2 東京世田谷区世田谷*=1.2 東京世田谷区三軒茶屋*=1.2 東京中野区中野*=1.2 東京足立区神明南*=1.2 東京葛飾区金町*=1.2 調布市西つづじヶ丘*=1.2 東京世田谷区成城*=1.1 東京葛飾区立石*=1.1 東京北区西ヶ原*=1.0 東京北区赤羽南*=1.0 東京荒川区東尾久*=1.0 東京江戸川区中央=1.0 東京江戸川区鹿骨*=1.0 八王子市堀之内*=1.0 東京新宿区上落合*=1.0 東京江東区森下*=1.0 東京江東区亀戸*=1.0 東京大田区本羽田*=1.0 東京足立区伊興*=0.9 東京江戸川区船堀*=0.9 西東京市中町*=0.9 東京中央区勝どき*=0.9 東京墨田区東向島*=0.9 東京品川区平塚*=0.9 東京杉並区高井戸*=0.8 東京板橋区相生町*=0.8 町田市忠生*=0.8 東大和市中央*=0.8 東京墨田区横川=0.8 東京台東区千束*=0.7 町田市森野*=0.7 日野市神明*=0.7 狛江市和泉本町*=0.7 東京江東区枝川*=0.7 東京目黒区中央町*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京豊島区南池袋*=0.7 東京荒川区荒川*=0.7 東京足立区千住中居町*=0.7 東京港区海岸=0.6 東京新宿区西新宿=0.6 東京文京区本郷*=0.6 東京文京区大塚*=0.6 東京板橋区高島平*=0.6 東京練馬区東大泉*=0.6 東京品川区北品川*=0.6 東京国際空港=0.6 国分寺市泉町*=0.6 東京千代田区富士見*=0.6 国分寺市並木町=0.5 東京大田区多摩川*=0.5 東京世田谷区中町*=0.5 東京文京区スポーツセンタ*=0.5 東京中野区江古田*=0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*=1.5 1 横浜神奈川区広台太田町*=1.4 横浜港北区日吉本町*=1.3 横浜緑区鴨居*=1.3 横浜都筑区池辺町*=1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.2 横浜緑区十日市場町*=1.2 横浜鶴見区末広町*=1.1 横浜中区山手町=1.1 横浜瀬谷区三ツ境*=1.1 三浦市城山町*=1.1 愛川町角田*=1.1 横浜旭区川井宿町*=1.0 川崎中原区小杉町*=1.0 大和市下鶴間*=1.0 横浜旭区今宿東町*=0.9 湯河原町中央=0.9 横浜磯子区洋光台*=0.8 川崎宮前区宮前平*=0.8 川崎麻生区片平*=0.8 箱根町湯本*=0.8 相模原緑区中野*=0.8 横浜中区山吹町*=0.7 横浜瀬谷区中屋敷*=0.7 川崎宮前区野川*=0.7 横浜旭区上白根町*=0.6 川崎川崎区中島*=0.6 川崎多摩区登戸*=0.6 相模原南区磯部*=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 横須賀市光の丘=0.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 栃木県 1 鹿沼市見望台*=1.4 真岡市石島*=1.4 壬生町壬生甲*=1.4 栃木市旭町=1.2 益子町益子=1.2 市貝町市塙*=1.2 宇都宮市明保野町=1.1 下野市笹原*=1.1 芳賀町祖母井*=0.9 下野市田中*=0.9 日光市鬼怒川温泉大原*=0.9 足利市大正町*=0.9 真岡市荒町*=0.9 佐野市高砂町*=0.8 鹿沼市口栗野*=0.8 真岡市田町*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 栃木市岩舟町静*=0.8 日光市芹沼*=0.7 日光市瀬川=0.6 日光市湯元*=0.6 茂木町茂木*=0.6 日光市黒部*=0.5 群馬県 1 渋川市赤城町*=1.2 伊勢崎市西久保町*=0.9 大泉町日の出*=0.9 邑楽町中野*=0.9 渋川市吹屋*=0.8 千代田町赤岩*=0.8 前橋市粕川町*=0.8 桐生市黒保根町*=0.7 板倉町板倉=0.7 沼田市西倉内町=0.7 みどり市大間々町*=0.7 沼田市白沢町*=0.7 前橋市堀越町*=0.7 太田市粕川町*=0.6 桐生市元宿町*=0.6 桐生市新里町*=0.6 前橋市富士見町*=0.5 伊勢崎市東町*=0.5 埼玉県 1 川口市中青木分室*=1.2 さいたま大宮区大門*=1.2 春日部市粕壁*=1.1 春日部市谷原新田*=1.1 宮代町笠原*=1.1 さいたま緑区中尾*=1.1 さいたま見沼区堀崎*=1.0 久喜市下早見=1.0 草加市中央*=1.0 さいたま大宮区天沼町*=1.0 久喜市青葉*=0.9 川口市安行領家*=0.9 春日部市金崎*=0.9 狭山市入間川*=0.9 さいたま北区宮原*=0.9 蕨市中央*=0.8 志木市中宗岡*=0.8 八潮市中央*=0.8 幸手市東*=0.8 吉川市きよみ野*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 さいたま南区別所*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 加須市大利根*=0.8 川口市三ツ和*=0.8 上尾市本町*=0.8 さいたま中央区下落合*=0.7 越谷市越ヶ谷*=0.7 加須市騎西*=0.7 戸田市上戸田*=0.7 和光市広沢*=0.7 本庄市児玉町=0.7 富士見市鶴馬*=0.7 三郷市中央*=0.7 東松山市松葉町*=0.7 さいたま西区指扇*=0.7 久喜市菖蒲*=0.6 新座市野火止*=0.6 蓮田市黒浜*=0.6 熊谷市大里*=0.6 熊谷市江南*=0.6 加須市北川辺*=0.5 伊奈町中央*=0.5 埼玉三芳町藤久保*=0.5 越生町越生*=0.5 川島町下八ツ林*=0.5 朝霞市本町*=0.5 熊谷市妻沼*=0.5 桶川市泉*=0.5 久喜市鷲宮*=0.5 埼玉美里町木部*=0.5 川越市旭町=0.5 山梨県 1 笛吹市境川町藤盛*=0.7 富士河口湖町船津=0.7 笛吹市八代町南*=0.6 山梨北杜市長坂町*=0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=1.3 富士宮市野中*=1.0 富士宮市弓沢町=0.6 富士市大淵*=0.6 熱海市泉*=0.5 伊豆市中伊豆グラウンド=0.5				
155	20 17 25	宮城県北部 岩手県	38° 53.2' N	141° 40.2' E	68km	M: 3.2
		1 一関市東山町*=0.8 一関市室根町*=0.6				
156	20 17 42	長野県北部 長野県	36° 28.5' N	137° 54.4' E	13km	M: 1.8
		1 松川村役場*=0.6				
157	20 18 57	長野県北部 長野県	36° 28.9' N	137° 54.2' E	12km	M: 2.6
		1 大町市役所=1.0 小川村高府*=0.6 大町市美麻*=0.5 大町市大町図書館*=0.5				

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
158	20 22 17	十勝地方南部 北海道 1 更別村更別* 0.8	42° 21.0' N	143° 06.3' E	49km	M: 3.4
159	21 13 11	長野県北部 長野県 1 松川村役場* 0.7	36° 28.3' N	137° 54.2' E	13km	M: 2.0
160	21 22 11	埼玉県南部 茨城県 2 筑西市舟生* 1.6 桜川市岩瀬* 1.6 小美玉市小川* 1.6 石岡市柿岡* 1.5 1 東海村東海* 1.4 小美玉市上玉里* 1.3 石岡市八郷* 1.2 かすみがうら市上土田* 1.2 桜川市真壁* 1.2 笠間市石井* 1.2 笠間市中央* 1.2 桜川市羽田* 1.1 茨城町小堤* 1.1 土浦市常名* 1.1 土浦市藤沢* 1.1 笠間市下郷* 1.1 石岡市石岡* 1.1 常陸大宮市野口* 1.1 小美玉市堅倉* 1.1 日立市助川小学校* 1.0 筑西市門井* 1.0 石岡市若宮* 1.0 笠間市笠間* 1.0 筑西市二木成* 0.9 城里町石塚* 0.9 下妻市本城町* 0.8 城里町阿波山* 0.8 つくばみらい市福田* 0.8 常陸大宮市北町* 0.7 常陸大宮市山方* 0.7 ひたちなか市南神敷台* 0.6 水戸市金町* 0.6 かすみがうら市大和田* 0.6 つくば市研究学園* 0.5 坂東市岩井* 0.5 稲敷市江戸崎甲* 0.5 土浦市田中* 0.5 栃木県 2 下野市田中* 1.7 宇都宮市中里町* 1.5 1 野木町丸林* 1.4 下野市笹原* 1.3 宇都宮市明保野町* 1.2 宇都宮市中岡本町* 1.2 佐野市高砂町* 1.2 高根沢町石末* 1.2 栃木市藤岡町藤岡* 1.1 壬生町壬生甲* 1.1 益子町益子* 1.0 佐野市田沼町* 0.9 鹿沼市晃望台* 0.9 栃木市大平町富田* 0.9 鹿沼市口栗野* 0.8 小山市中央町* 0.8 佐野市中町* 0.8 茂木町茂木* 0.8 佐野市葛生東* 0.7 芳賀町祖母井* 0.7 栃木市都賀町家中* 0.7 栃木市岩舟町静* 0.7 栃木市旭町* 0.6 日光市鬼怒川温泉大原* 0.6 宇都宮市旭* 0.6 真岡市田町* 0.6 真岡市石島* 0.6 日光市足尾町中才* 0.5 日光市芹沼* 0.5 群馬県 2 渋川市吹屋* 1.6 1 伊勢崎市西久保町* 1.2 渋川市赤城町* 1.1 板倉町板倉* 1.1 大泉町日の出* 0.9 桐生市元宿町* 0.9 桐生市黒保根町* 0.9 邑楽町中野* 0.8 前橋市粕川町* 0.8 桐生市新里町* 0.8 太田市西本町* 0.8 伊勢崎市東町* 0.7 群馬明和町新里* 0.6 館林市城町* 0.5 埼玉県 2 加須市大利根* 1.5 1 蕨市中央* 1.0 加須市北川辺* 0.9 久喜市栗橋* 0.9 宮代町笠原* 0.9 久喜市下早見* 0.8 久喜市青葉* 0.7 さいたま緑区中尾* 0.7 長瀨町野上下郷* 0.7 加須市三俣* 0.7 加須市騎西* 0.7 東松山市松葉町* 0.6 春日部市粕壁* 0.6 桶川市泉* 0.6 幸手市東* 0.6 羽生市東* 0.5 久喜市鷺宮* 0.5 熊谷市妻沼* 0.5 上尾市本町* 0.5 行田市本丸* 0.5 八潮市中央* 0.5 神奈川県 2 横浜中区山手町* 1.5 1 横浜戸塚区鳥が丘* 1.1 横浜神奈川区神大寺* 0.9 厚木市中町* 0.8 横浜旭区大池町* 0.7 福島県 1 浪江町幾世橋* 0.7 いわき市三和町* 0.7 千葉県 1 千葉中央区中央港* 0.5 野田市鶴奉* 0.5 鴨川市横渚* 0.5 君津市久留里市場* 0.5 東京都 1 東京千代田区大手町* 1.0 東京板橋区高島平* 1.0 東京板橋区相生町* 1.0 東京中央区勝どき* 0.7 東京足立区伊興* 0.7 東京千代田区富士見* 0.5 東京中野区中野* 0.5 東京北区西ヶ原* 0.5 静岡県 1 伊豆市中伊豆グラウンド* 0.7 伊豆の国市長岡* 0.5	36° 05.5' N	139° 45.0' E	111km	M: 4.3
161	21 22 41	長野県北部 長野県 1 松川村役場* 1.3 筑北村西条* 0.9 大町市八坂* 0.7 大町市役所* 0.5 筑北村坂北* 0.5	36° 27.2' N	137° 55.5' E	11km	M: 2.6
162	22 01 48	福島県沖 福島県 3 檜葉町北田* 2.6 2 大熊町大川原* 2.4 富岡町本岡* 2.0 田村市都路町* 1.9 双葉町長塚* 1.9 田村市常葉町* 1.8 浪江町幾世橋* 1.8 田村市大越町* 1.7 福島広野町下北迫大谷地原* 1.6 南相馬市原町区高見町* 1.6 いわき市三和町* 1.5 1 いわき市平梅本* 1.4 南相馬市原町区三島町* 1.4 川内村下川内* 1.3 大熊町野上* 1.3 いわき市平四ツ波* 1.3 白河市新白河* 1.2 南相馬市原町区本町* 1.2 相馬市中村* 1.1 泉崎村泉崎* 1.1 古殿町松川新桑原* 1.1 田村市船引町* 1.1 南相馬市小高区* 1.1 川内村上川内早渡* 1.0 須賀川市岩瀬支所* 1.0 玉川村小高* 1.0 飯館村伊丹沢* 0.9 天栄村下松本* 0.9 福島広野町下北迫苗代替* 0.9 南相馬市鹿島区西町* 0.9 田村市滝根町* 0.9 浅川町浅川* 0.9 国見町藤田* 0.9 葛尾村落合落合* 0.9 小野町小野新町* 0.8 棚倉町棚倉中居野* 0.8 本宮市本宮* 0.8 石川町長久保* 0.8 いわき市小名浜* 0.7 鏡石町不時沼* 0.7 いわき市錦町* 0.7 白河市郭内* 0.7 新地町谷地小屋* 0.7 須賀川市八幡山* 0.7 川俣町五百田* 0.7 矢祭町戸塚* 0.6 川内村上川内小山平* 0.6 二本松市金色* 0.6 二本松市油井* 0.6 宮城県 1 角田市角田* 1.2 岩沼市桜* 1.1 石巻市桃生町* 1.1 山元町浅生原* 0.8 丸森町鳥屋* 0.5 茨城県 1 大子町池田* 1.1 日立市助川小学校* 1.0 笠間市石井* 1.0 日立市十王町友部* 0.8 東海村東海* 0.7 高萩市安良川* 0.6 笠間市笠間* 0.6 土浦市常名* 0.6 桜川市真壁* 0.6 日立市役所* 0.6 水戸市金町* 0.5 常陸大宮市北町* 0.5 水戸市栗崎町* 0.5 桜川市岩瀬* 0.5 ひたちなか市南神敷台* 0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町* 0.7 益子町益子* 0.5	37° 28.9' N	141° 35.2' E	45km	M: 4.3
163	22 03 23	十勝沖 北海道 2 えりも町えりも岬* 1.7 1 浦河町築地* 1.4 浦河町潮見* 1.1 様似町栄町* 0.7	41° 48.5' N	143° 16.8' E	35km	M: 4.0

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
164	22 20 37	福島県沖 福島県 1 福島伊達市霊山町*=0.9	37° 49.9' N	141° 44.0' E	58km	M: 4.0
165	23 07 01	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 44.7' N	130° 40.1' E	11km	M: 2.2
166	23 07 21	青森県東方沖 北海道 1 函館市泊町*=1.0 青森県 1 五戸町古館=1.1 平内町小湊=1.0 野辺地町野辺地*=1.0 東通村砂子又沢内*=1.0 八戸市南郷*=0.9 むつ市大畑町中島*=0.8 平内町東田沢*=0.8 青森南部町苔米地*=0.7 青森南部町平*=0.7 七戸町森ノ上*=0.7 外ヶ浜町蟹田*=0.7 五戸町倉石中市*=0.6 階上町道仏*=0.6 むつ市金曲=0.6 むつ市川内町*=0.5 岩手県 1 盛岡市藪川*=0.7	41° 01.3' N	143° 08.9' E	23km	M: 4.5
167	23 15 35	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能*=0.6	36° 56.6' N	136° 22.7' E	11km	M: 3.0
168	24 04 50	上川地方北部 北海道 1 上川中川町中川*=0.5	44° 48.0' N	142° 08.9' E	0km	M: 2.1
169	24 09 07	岩手県沖 青森県 3 野辺地町田狭沢*=3.1 野辺地町野辺地*=2.9 八戸市湊町=2.8 三戸町在府小路町*=2.6 青森南部町苔米地*=2.6 五戸町古館=2.5 2 七戸町森ノ上*=2.4 横浜町林ノ脇*=2.4 五戸町倉石中市*=2.4 八戸市内丸*=2.3 十和田市奥瀬*=2.3 三沢市桜町*=2.3 おいらせ町中下田*=2.2 青森南部町平*=2.2 外ヶ浜町蟹田*=2.1 東北町上北南*=2.1 階上町道仏*=2.0 十和田市西二番町*=2.0 東通村砂子又沢内*=2.0 六戸町犬落瀬*=1.9 横浜町寺下*=1.9 平内町小湊=1.8 東北町塔ノ沢山*=1.8 東通村白糠*=1.8 田子町田子*=1.7 八戸市南郷*=1.7 おいらせ町上明堂*=1.5 むつ市大畑町中島*=1.5 六ヶ所村出戸=1.5 1 十和田市西十二番町*=1.4 七戸町七戸*=1.4 むつ市脇野沢*=1.4 東通村砂子又蒲谷地=1.4 むつ市川内町*=1.3 平内町東田沢*=1.3 佐井村長後*=1.3 六ヶ所村尾駸=1.3 むつ市金曲=1.1 八戸市島守=1.1 新郷村戸来*=1.1 青森市中央*=0.9 今別町今別*=0.8 七戸町北天間館=0.8 蓬田村蓬田*=0.8 青森市花園=0.8 五所川原市金木町*=0.6 つがる市車力町*=0.6 外ヶ浜町平館*=0.5 つがる市稲垣町*=0.5 五所川原市相内*=0.5 岩手県 2 軽米町軽米*=2.3 二戸市浄法寺町*=2.2 八幡平市田頭*=2.2 岩手洋野町大野*=2.0 一戸町高善寺*=2.0 普代村銅屋*=1.9 九戸村伊保内*=1.9 二戸市石切所*=1.8 岩手洋野町種市=1.8 二戸市福岡=1.8 岩手町五日市*=1.7 宮古市田老*=1.7 久慈市枝成沢=1.7 住田町世田米*=1.6 盛岡市渋民*=1.6 宮古市区界*=1.6 八幡平市野駄*=1.6 田野畑村田野畑=1.6 田野畑村役場*=1.6 花巻市大迫町=1.6 盛岡市藪川*=1.5 葛巻町葛巻元木=1.5 1 宮古市五月町*=1.4 久慈市川崎町=1.4 野田村野田*=1.4 釜石市中妻町*=1.4 盛岡市馬場町*=1.4 宮古市川井*=1.3 久慈市長内町*=1.3 山田町大沢*=1.3 大船渡市大船渡町=1.3 大槌町上町*=1.3 八幡平市大更=1.3 八幡平市叭田*=1.3 矢巾町南矢幅*=1.3 花巻市大迫総合支所*=1.3 遠野市青笹町*=1.3 一関市室根町*=1.3 宮古市鍛ヶ崎=1.3 一関市大東町=1.2 一関市千厩町*=1.2 盛岡市山王町=1.2 宮古市茂市*=1.2 葛巻町消防分署*=1.2 岩泉町岩泉*=1.2 釜石市只越町=1.1 花巻市石鳥谷町*=1.0 葛巻町役場*=1.0 奥州市胆沢*=0.9 大船渡市猪川町=0.9 一関市東山町*=0.9 紫波町紫波中央駅前*=0.9 一関市藤沢町*=0.9 山田町八幡町=0.8 花巻市東和町*=0.8 北上市相去町*=0.8 岩泉町大川*=0.8 久慈市山形町*=0.7 平泉町平泉*=0.7 雫石町千刈田=0.6 宮古市長沢=0.5 北上市柳原町=0.5 金ヶ崎町西根*=0.5 大船渡市盛町*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.3 宮城県 1 気仙沼市唐桑町*=1.4 気仙沼市笹が陣*=1.3 石巻市桃生町*=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 栗原市一迫*=0.7 栗原市栗駒=0.7 登米市東和町*=0.6 登米市中田町=0.5 石巻市北上町*=0.5 秋田県 1 小坂町小坂砂森*=1.4 鹿角市花輪*=0.8 北秋田市花園町=0.6 大館市桜町*=0.5	40° 22.2' N	141° 53.8' E	62km	M: 4.4
170	24 23 03	長野県北部 長野県 1 松川村役場*=0.5	36° 27.5' N	137° 54.6' E	12km	M: 2.2
171	25 01 15	宮城県沖 岩手県 2 一関市室根町*=1.5 1 一関市東山町*=1.2 住田町世田米*=1.2 一関市千厩町*=1.0 一関市花泉町*=0.9 一関市藤沢町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 宮城県 2 石巻市桃生町*=1.5 1 涌谷町新町裏=1.4 登米市石越町*=1.2 登米市南方町*=1.1 登米市豊里町*=1.1 登米市米山町*=1.1 登米市東和町*=1.0 気仙沼市赤岩=0.9 南三陸町歌津*=0.9 大崎市田尻*=0.9 石巻市前谷地*=0.9 栗原市高清水*=0.8 登米市津山町*=0.8 栗原市栗駒=0.8 東松島市矢本*=0.8 大衡村大衡*=0.8 大崎市鹿島台*=0.7 栗原市築館*=0.7 名取市増田*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 登米市迫町*=0.7 東松島市小野*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 松島町高城=0.7 登米市中田町=0.7 栗原市一迫*=0.6 石巻市鮎川浜*=0.6 栗原市瀬峰*=0.6 気仙沼市唐桑町*=0.6 栗原市金成*=0.5	38° 16.9' N	141° 39.8' E	54km	M: 3.6
172	25 04 55	日向灘 宮崎県 1 川南町川南*=1.1	32° 08.1' N	131° 46.9' E	26km	M: 2.8
173	25 07 58	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=0.6	36° 58.5' N	139° 22.6' E	4km	M: 1.6

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
174	25 07 59	京都府南部 京都府 2 京都右京区京北周山町※=1.8 1 亀岡市安町※=1.1 京都伏見区醍醐※=0.9 京都中京区河原町御池※=0.9 京都山科区安朱川向町※=0.8 京都左京区田中※=0.8 京都中京区西ノ京※=0.7 久御山町田井※=0.7 京都下京区河原町塩小路※=0.6 亀岡市余部町※=0.6 京都上京区藪ノ内町※=0.6 南丹市八木町八木※=0.6 福井県 1 高浜町宮崎=0.6	35° 08.3' N	135° 43.9' E	11km	M: 3.2
175	25 21 51	大分県中部 大分県 1 別府市鶴見=0.5	33° 17.1' N	131° 27.5' E	7km	M: 1.9
176	26 09 05	宮城県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町=1.3 一関市千厩町※=0.8 釜石市中妻町※=0.7 住田町世田米※=0.7 大船渡市猪川町=0.6 一関市室根町※=0.5 一関市大東町=0.5 宮城県 1 石巻市桃生町※=1.3 石巻市雄勝町※=1.1 気仙沼市笹が陣※=0.9 石巻市泉町=0.7 石巻市大街道南※=0.6 気仙沼市唐桑町※=0.6 登米市東和町※=0.6 涌谷町新町裏=0.5 栗原市栗駒=0.5 女川町女川※=0.5	38° 29.0' N	142° 07.6' E	42km	M: 4.1
177	26 10 18	福島県沖 福島県 1 大熊町大川原※=0.6 田村市船引町=0.5	37° 33.4' N	141° 13.9' E	56km	M: 3.4
178	26 10 46	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市不知火町※=0.9 宇土市浦田町※=0.7 氷川町宮原※=0.5	32° 35.3' N	130° 38.1' E	11km	M: 2.7
179	26 12 06	熊本県熊本地方 熊本県 3 八代市鏡町※=3.4 宇土市浦田町※=3.3 八代市千丁町※=3.2 宇城市不知火町※=3.1 宇城市小川町※=3.0 宇城市松橋町=2.9 氷川町島地※=2.8 熊本南区富合町※=2.8 氷川町宮原※=2.7 八代市平山新町=2.6 宇城市豊野町※=2.6 2 八代市新地町※=2.4 八代市東陽町※=2.4 熊本南区城南町※=2.3 芦北町芦北=2.3 上天草市姫戸町※=2.3 宇城市三角町※=2.2 上天草市大矢野町=2.2 熊本美里町馬場※=2.2 熊本西区春日=2.1 玉名市天水町※=2.0 芦北町田浦町※=1.9 八代市泉支所※=1.9 嘉島町上島※=1.8 甲佐町豊内※=1.8 八代市坂本町※=1.8 上天草市松島町※=1.8 熊本美里町永富※=1.7 上天草市龍ヶ岳町※=1.7 水俣市牧ノ内※=1.7 津奈木町小津奈木※=1.6 熊本北区植木町※=1.6 上天草市五和町※=1.6 玉名市横島町※=1.6 吉市蟹作町※=1.5 水俣市陣内※=1.5 合志市竹迫※=1.5 八代市泉町=1.5 1 西原村小森※=1.4 益城町宮園※=1.4 和水町江田※=1.4 熊本中央区大江※=1.4 山鹿市鹿央町※=1.3 あさぎり町須恵※=1.3 球磨村渡※=1.3 天草市有明町※=1.3 御船町御船※=1.2 菊池市旭志※=1.2 大津町大津※=1.2 人吉市西間下町=1.1 山鹿市鹿本町※=1.0 天草市倉岳町※=1.0 天草市河浦町※=1.0 合志市御代志※=1.0 天草市栖本町※=1.0 玉名市中尾※=1.0 五木村甲※=1.0 あさぎり町岡原※=0.9 山都町浜町※=0.9 苓北町志岐※=0.9 天草市牛深町=0.9 山鹿市菊鹿町※=0.9 玉東町木葉※=0.9 錦町一武※=0.8 菊池市隈府※=0.8 天草市天草町※=0.8 多良木町上球磨消防署※=0.8 天草市御所浦町※=0.8 山江村山田※=0.8 水上村岩野※=0.7 荒尾市宮内出目※=0.7 玉名市岱明町※=0.7 あさぎり町兔田東※=0.7 山鹿市老人福祉センター※=0.5 多良木町多良木=0.5 2 南島原市北有馬町※=2.1 雲仙市小浜町雲仙=1.9 南島原市西有家町※=1.8 南島原市加津佐町※=1.8 南島原市口之津町※=1.7 南島原市布津町※=1.7 雲仙市南串山町※=1.5 諫早市多良見町※=1.5 雲仙市雲仙出張所※=1.5 1 南島原市深江町※=1.4 南島原市有家町※=1.3 南島原市南有馬町※=1.1 長崎市元町※=1.1 雲仙市小浜町北本町※=1.1 島原市下折橋町※=0.9 雲仙市国見町=0.8 島原市有明町※=0.8 鹿児島県 2 長島町獅子島※=1.7 霧島市横川町中ノ※=1.5 1 伊佐市大口山野=1.4 さつま町宮之城保健センタ※=1.3 湧水町吉松※=1.3 伊佐市大口鳥巢※=1.3 長島町鷹巣※=1.2 さつま町神子※=1.2 伊佐市菱刈前目※=1.2 薩摩川内市東郷町※=1.1 薩摩川内市神田町※=1.0 薩摩川内市祁答院町※=1.0 鹿児島出水市高尾野町※=0.9 鹿児島空港=0.9 鹿児島出水市緑町※=0.9 始良市蒲生町北※=0.9 薩摩川内市中郷=0.8 薩摩川内市入来町※=0.8 阿久根市鶴見町※=0.7 始良市加治木町本町※=0.7 鹿児島出水市野田町※=0.6 薩摩川内市樋脇町※=0.6 いちき串木野市緑町※=0.6 さつま町宮之城屋地=0.6 福岡県 1 みやま市高田町※=1.2 大牟田市昭和町※=0.9 八女市矢部村※=0.8 宮崎県 1 延岡市北川町川内名白石※=1.2 西都市上の宮※=1.1 小林市真方=1.1 えびの市加久藤※=1.0 川南町川南※=1.0 宮崎美郷町田代※=1.0 椎葉村総合運動公園※=0.9 宮崎都農町役場※=0.8 宮崎市高岡町内山※=0.8 椎葉村下福良※=0.7 延岡市北方町総合支所※=0.6 高千穂町三田井=0.5 宮崎市田野町体育館※=0.5 国富町本庄※=0.5 都城市山之口町花木※=0.5	32° 35.3' N	130° 38.0' E	11km	M: 4.2
180	26 18 35	和歌山県北部 奈良県 1 下北山村寺垣内※=0.6 和歌山県 1 御坊市湯川※=1.0 みなべ町芝※=0.9 田辺市東山※=0.8 田辺市本宮町本宮※=0.7 田辺市中辺路町栗栖川※=0.7 日高川町土生※=0.6 湯浅町青木※=0.5 御坊市菌=0.5	33° 52.9' N	135° 23.1' E	51km	M: 3.5
181	26 19 31	新潟県中越地方 新潟県 2 小千谷市旭町※=1.7 1 出雲崎町米田=1.3 長岡市小国町法坂※=1.1 小千谷市城内=1.0 上越市柿崎区柿崎※=0.6 柏崎市西山町池浦※=0.6 上越市浦川原区釜淵※=0.5	37° 19.9' N	138° 43.5' E	23km	M: 3.2
182	26 20 01	埼玉県北部 群馬県 1 桐生市元宿町※=0.5	36° 02.9' N	139° 27.8' E	99km	M: 3.1

令和7年4月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
183	27 08 03	長野県北部 長野県 1 松川村役場	36° 27.4' N	137° 54.7' E	11km	M: 2.6
184	27 14 01	宮城県沖 岩手県 1 一関市藤沢町 宮城県 1 石巻市桃生町 石巻市鮎川浜 石巻市泉町 大崎市田尻 東松島市矢本 松島町高城 七ヶ浜町東宮浜 気仙沼市赤岩 登米市東和町	38° 10.1' N	141° 41.9' E	52km	M: 3.9
185	27 15 29	兵庫県南東部 兵庫県 1 加古川市志方町	34° 47.8' N	134° 50.9' E	8km	M: 2.4
186	27 17 39	岩手県沖 青森県 1 青森南部町 岩手県 1 宮古市田老 山田町大沢 久慈市枝成沢	39° 38.4' N	142° 07.4' E	49km	M: 3.8
187	28 02 47	山形県庄内地方 山形県 1 酒田市亀ヶ崎	38° 56.7' N	140° 00.1' E	17km	M: 3.0
188	28 12 15	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村	36° 58.4' N	139° 23.2' E	4km	M: 1.5
189	28 15 37	浦河沖 北海道 2 様似町 1 白老町 新ひだか町 浦河町 青森県 1 東通村	41° 53.9' N	142° 29.2' E	62km	M: 4.2
190	28 16 54	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 上天草市大矢野町 芦北町 上天草市松島町 水俣市牧ノ内 天草市御所浦町 天草市河浦町 天草市五和町 八代市鏡町 人吉市蟹作町 氷川町島地 熊本南区城南町 鹿兒島県 2 長島町鷹巣 薩摩川内市神田町 鹿兒島出水市高尾野町 鹿兒島出水市野田町 雲仙市小浜町 宮崎県 1 宮崎市高岡町	32° 30.1' N	130° 33.4' E	11km	M: 3.8
191	28 22 56	択捉島付近 北海道 1 根室市落石東	44° 15.6' N	147° 03.0' E	100km	M: 4.3
192	29 23 21	和歌山県北部 和歌山県 1 湯浅町青木	34° 01.8' N	135° 15.4' E	5km	M: 1.6
193	30 02 30	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町 宮城県 1 石巻市桃生町 石巻市鮎川浜	38° 10.4' N	141° 41.8' E	52km	M: 3.7
194	30 07 15	沖縄本島近海 沖縄県 1 恩納村 与那原町上 浦添市安波茶 那覇市港町 宜野座村 読谷村	26° 20.1' N	127° 50.7' E	23km	M: 3.2
195	30 10 03	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町 宮城県 1 石巻市北上町 気仙沼市本吉町	38° 22.9' N	142° 09.6' E	33km	M: 4.1
196	30 10 31	紀伊水道 和歌山県 1 湯浅町青木	33° 51.0' N	134° 59.2' E	10km	M: 2.7

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 ＜令和6年（2024年）5月～令和7年（2025年）4月＞

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和6年（2024年）											
5月	86	33	12	2						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：6回、震度1：20回） 豊後水道の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：1回、震度1：10回）
6月	96	43	14	3		1				157	3日 石川県能登地方（震度5強） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （6月中：震度5強：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、 震度1：27回） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （6月中：震度3：3回、震度2：4回、震度1：9回）
7月	89	25	15	4						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （7月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：16回）
8月	106	28	10	2	2		1			149	8日 日向灘（震度6弱） （8月中：震度6弱：1回、震度3：3回、震度2：5回、震度1：16回） 9日 神奈川県西部（震度5弱） 19日 茨城県北部（震度5弱） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：13回）
9月	98	30	6	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （9月中：震度2：4回、震度1：14回）
10月	98	34	11							143	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （10月中：震度2：6回、震度1：8回） 和歌山県北部の地震活動 （10月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：7回）
11月	172	72	18	3	1					266	26日 石川県西方沖（震度5弱） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （11月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：5回、震度2：41回、 震度1：88回）
12月	102	37	9	2						150	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （12月中：震度3：1回、震度2：12回、震度1：24回）
令和7年（2025年）											
1月	136	60	15	2	2					215	13日 日向灘（震度5弱） （1月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度2：7回、 震度1：6回） 23日 福島県会津（震度5弱） （1月中：震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：24回、 震度1：53回） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （1月中：震度3：2回、震度2：2回、震度1：8回）
2月	91	34	10	1						136	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （2月中：震度3：2回、震度2：5回、震度1：18回）
3月	86	39	9	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：7回） 奄美大島北東沖の地震活動 （3月中：震度4：1回、震度3：1回、震度2：4回、震度1：6回）
4月	133	45	13	4	1					196	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （4月中：震度2：2回、震度1：10回） 大分県中部の地震活動 （4月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：8回） 18日 長野県北部の地震活動（震度5弱） （4月中：震度5弱：1回、震度4：2回、震度3：3回、震度2：13回、 震度1：46回）
2025年計	446	178	47	10	3	0	0	0	0	684	
過去1年計	1293	480	142	29	6	1	1	0	0	1952	（令和6年5月～令和7年4月）

注）「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数
 〈令和6年（2024年）5月～令和7年（2025年）4月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和6年（2024年）								
5月	430	82	5	1		518	88	10日 台湾付近（M6.5）
6月	318	84	9	1		412	94	3日 石川県能登地方（M6.0）
7月	356	89	15	1		461	105	8日 小笠原諸島西方沖（M6.4）
8月	397	82	6	2	1	488	91	8日 日向灘（M7.1） 10日 オホーツク海南部（M6.7） 16日 台湾付近（M6.1）
9月※	329	79	12			420	91	
10月	331	77	5			413	82	
11月	549	166	31	3		749	200	7日 硫黄島近海（M6.3） 11日 マリアナ諸島（M6.0） 26日 石川県西方沖（M6.6）
12月	458	92	4	3		557	99	8日 千島列島（M6.1） 27日06時02分 鳥島近海（M6.2） 27日21時47分 千島列島（M6.8）
令和7年（2025年）								
1月	458	113	21	2		594	136	13日 日向灘（M6.6） 21日 台湾付近（M6.1）
2月	328	71	11			410	82	
3月	361	71	9			441	80	
4月	348	82	8	1		439	91	2日 大隅半島東方沖（M6.1）
2025年計	1495	337	49	3	0	1884	389	
過去1年計	4663	1088	136	14	1	5902	1239	（令和6年5月～令和7年4月）

※ 2024年9月中の回数には、9月24日の鳥島近海の地震（M5.8）を含む。この地震は震源決定精度がやや劣るものである。

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和7年4月に長周期地震動階級※1以上を観測した地震は1回であった。

平成25年3月～令和7年4月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和6年 (2024年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	23
令和7年 (2025年)	1	0	1	1									3

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
	長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
	長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和6年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

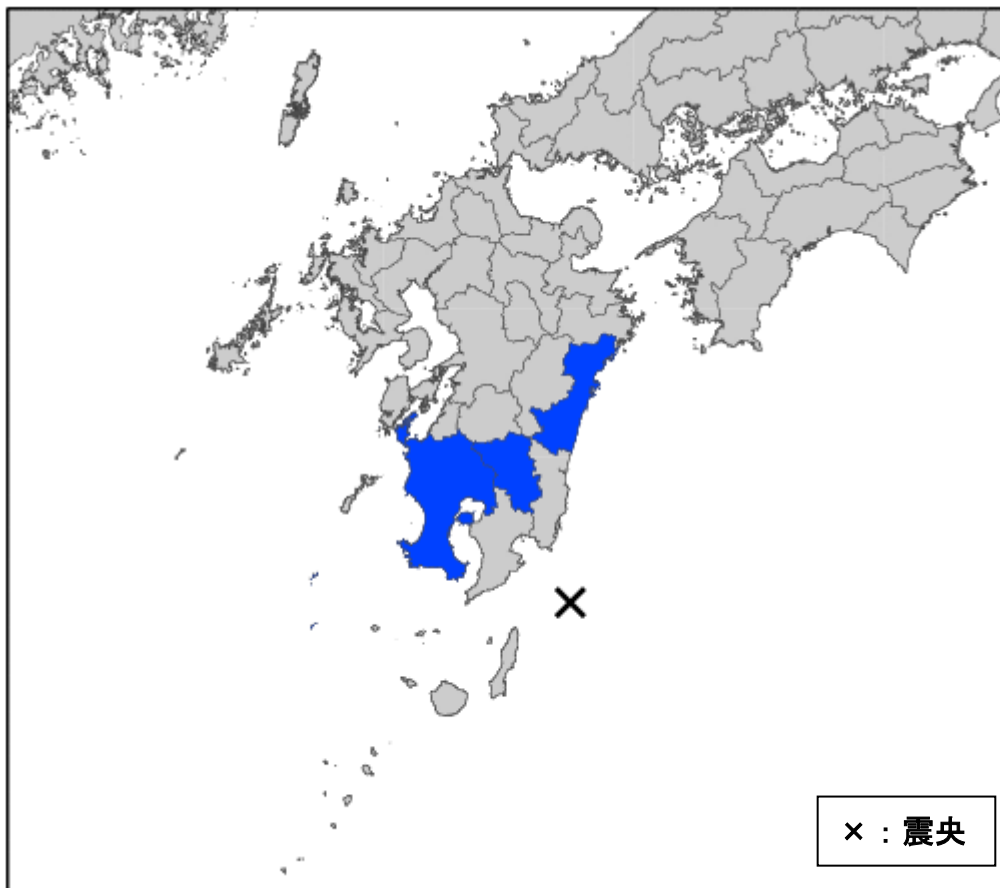
https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202412/202412furoku_10.pdf

1. 令和7年4月2日23時03分 大隅半島東方沖の地震

長周期地震動階級1以上を観測した地域・観測点

2025年4月2日23時03分 大隅半島東方沖 北緯31度02.7分 東経131度31.3分 深さ36km M6.1				
都道府県	長周期地震動階級	地域名称	観測点名称	震度
宮崎県	1	宮崎県北部平野部	新富町上富田	3
		宮崎県南部山沿い	都城市菖蒲原	3
			小林市真方	3
鹿児島県	1	鹿児島県薩摩	鹿児島市東郡元	3
			指宿市山川新生町	3

長周期地震動階級1以上を観測した地域の分布図



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和7年4月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は1回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は71回であった。

令和7年4月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード (M)	最大 震度	最大 長周期 地震動 階級	予測 最大 震度	予測 最大 長周期 地震動 階級	警報発表 までの 経過時間 (秒)
令和7年4月18日20時19分	長野県北部	5.1	5弱	---	5弱	---	6.9

※表中の「予測最大震度」、「予測最大長周期地震動階級」は緊急地震速報（警報）で発表した予測震度の最大値および予測長周期地震動階級の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

平成19年10月～令和7年4月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)	2(81)	0(68)	2(65)	0(62)	0(61)	1(109)	0(63)	33(1215)
令和7年 (2025年)	1(82)	0(54)	1(60)	1(71)									3(267)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和 7 年 4 月 18 日 20 時 19 分 長野県北部の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和 7 年 04 月 18 日 20 時 19 分 28.6 秒	長野県北部	36° 28.1′	137° 54.8′	13km	5.1	5 弱

緊急地震速報の詳細

（緊急地震速報（警報）は背景が灰色[第 2 報]の時に発表）

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度 および 長周期地震動階級
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	20 時 19 分 37.4 秒	6.5	長野県北部	36.4	137.9	10km	4.7	※1
第 2 報	20 時 19 分 37.8 秒	6.9	長野県北部	36.5	137.9	10km	4.9	※2
第 3 報	20 時 19 分 39.3 秒	8.4	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.2	※3
第 4 報	20 時 19 分 40.9 秒	10.0	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.2	※3
第 5 報	20 時 19 分 41.5 秒	10.6	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.2	※3
第 6 報	20 時 19 分 42.2 秒	11.3	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.2	※3
第 7 報	20 時 19 分 58.4 秒	27.5	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.1	※4
第 8 報	20 時 20 分 01.0 秒	30.1	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.1	※4
第 9 報	20 時 20 分 21.0 秒	50.1	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.1	※4
第 10 報	20 時 20 分 29.9 秒	59.0	長野県北部	36.5	137.9	10km	5.1	※4

※1 震度 4 程度 長野県中部、長野県北部

※2 震度 5 弱程度 長野県北部

震度 4 程度 長野県中部

※3 震度 4 から 5 弱程度 長野県北部

震度 4 程度 長野県中部

長周期地震動階級 1 長野県中部

※4 震度 5 弱程度 長野県北部

震度 4 程度 長野県中部

長周期地震動階級 1 長野県中部

警報第1報発表から主要動到達までの時間
及び警報発表対象地域の分布図

 緊急地震速報（警報）を発表した地域

 : 震央

